



発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都中央区八重洲2-4-14
 〒104 ミツヤビル3階
 発行人 鈴木 實
 TEL 03(272)2050
 購読料 年間1200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

新年おめでとうございませう。昭和五十七年の年頭に当たり、機動隊員等に対し、深い御理解と暖かい御激励を賜わっております。「機動隊員等を励ます会」の皆様方に対し、心から敬意と感謝の意を表する次第であります。

昨年は、流動的かつ波乱含みの内外の諸情勢を反映し、治安の面にあきましても、一連の「成田闘争」警備等多くの困難に直面いたしました。皆様方の御理解と御支援を得て所期の目的を遂行することができました。本年も治安の背景となる内外の政治、経済、社会の動きは、

あけましておめでとうございませう。会員の皆様には、御健勝のうちに御越年のこと、心からよろこび申し上げます。

旧年中は機動隊員等のため、その職務の困難性と特殊性に温かい御支援と御激励を賜わり、衷心から深く感謝の意を表する次第であります。

本年もまた情勢は誠に厳しいものがありますが、機動隊は使命感をもって職務に邁進する所存でありますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、我が国をとりまく情勢が激しくゆれ動いた年でありました。このことは治安面にいろいろの影響を及ぼすこととなり、複雑多岐にわたる新しい形

曲折と変化に富んで推移することが予想されます。

また、社会の底流には、きつかけさえあれば治安事象として噴き出しかねない様々な要因が潜在しており、今後の治安情勢の展開は予断を許さぬものがあります。特に、極左暴力集団は「成田闘争」を「八十年代決戦

皆さん、明けましておめでとうございませう。今年もまた情勢は誠に厳しいものがありますが、機動隊は使命感をもって職務に邁進する所存でありますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、我が国をとりまく情勢が激しくゆれ動いた年でありました。このことは治安面にいろいろの影響を及ぼすこととなり、複雑多岐にわたる新しい形

の警備を強いられたのでありますが、皆様方の心あたたまる励ましにより所期の目的を遂行することができました。

新年を迎えて将来を展望致しますとき、一見平穩に推移して行くかに見られませぬ内外の諸情勢も、その底流には、極めて厳しい情勢が潜在しており、予断を許さぬものと思われま

特に極左暴力集団は、民衆の

の突破口」と位置づけ、当面の闘争重点を「二期工事阻止」におき、危機感をのたせたり含む過激な行動に出ることが予想されます。

また、日本赤軍は、依然として従来の「武装闘争」の戦術を堅持し、ハイジャック等の過激

たわれわれ機動隊員等を励ます会の会員は、一万二千名を数えるようになって、社会のなかに定着しつつあります。

新しい年に当たって、今年も愛国心について皆さんともども社会に強く訴えていきたいと思っております。インドの政治家ガンジーは「私にとって愛国心は人間愛と同一である。私は人間であ

支援とは無関係に、自らの目的達成だけを指針とした行動を更に強め、当面は成田空港の第二期工事阻止闘争を最大の闘争目標とし、大量動員による連続闘争を展開する一方、成田空港関連施設や政府要人等に対するテロ、ゲリラと近親憎悪的な内ゲバ闘争を一層強めてゆくものと思われま

一方右翼団体は、北方領土問題、国防論議などに関連して、

な犯罪を敢行するおそれがあり、その動向には、十分警戒を要するところでありませう。

他方、右翼は最近の内外情勢に危機感を強めており、情勢如何によっては、直接行動に出ることが懸念されます。

このように激しい情勢の下にあって、全国の機動隊員等は、

皆さん、今年もまた情勢は誠に厳しいものがありますが、機動隊は使命感をもって職務に邁進する所存でありますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、我が国をとりまく情勢が激しくゆれ動いた年でありました。このことは治安面にいろいろの影響を及ぼすこととなり、複雑多岐にわたる新しい形

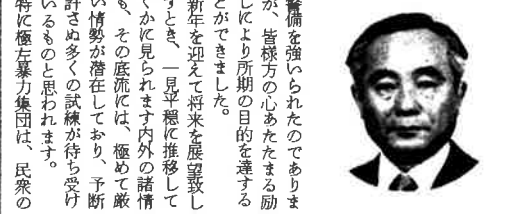
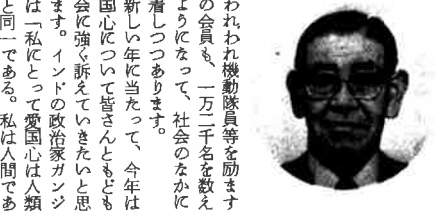
おおいに危機感を深めるとともに、レーガン米大統領、ローマ法王等に対する暴行事件、サダトエジプト大統領暗殺事件などの相次ぐテロ行為に刺激され、「世界的にテロ行時代が到来した」と評価し、不法越境な直接行動に走る危険な兆候を示しているものと思われま

以上のような情勢からみましても、集団警備力の中核である機動隊の役割はますます重要になってゆくとおぼやかせられます。

平和な市民生活を確保するため職責を自覚し、全隊員一体となって部隊の強化錬成に努め、有事に際しては身を命を賭し、一致団結してその責務を全うし、国民の期待に応えてまいる決意であります。

会員の皆様方におかれましては、今後とも国民と機動隊員等を結ぶ「かけ橋」として、また機動隊員等の精神的支柱として、一層の御激励と御叱正を賜わりますようお願い申し上げます。

最後に、貴会の上り下さる御発展と会員皆様方の御健康と御多幸を心からお祈りいたしまして、年頭の御挨拶といたします。



地道な定着を

個人 機動隊員等を励ます会
 理事長 大内俊司

り、人間の愛であるが故に愛国者である」と語っています。

戦後、占領軍による日本人の思想改造の行過ぎの後遺症もあって、愛国心という何か全体主義的、ファシズム的なものによる、勘違いされている向きが少なくないのではないかと思います。

しかし、愛国心というのは、

国民の期待に 応えていく

警視總監 今泉正隆

支援とは無関係に、自らの目的達成だけを指針とした行動を更に強め、当面は成田空港の第二期工事阻止闘争を最大の闘争目標とし、大量動員による連続闘争を展開する一方、成田空港関連施設や政府要人等に対するテロ、ゲリラと近親憎悪的な内ゲバ闘争を一層強めてゆくものと思われま

一方右翼団体は、北方領土問題、国防論議などに関連して、

治安維持の決意も 新たに

警察庁長官 三井 脩

な犯罪を敢行するおそれがあり、その動向には、十分警戒を要するところでありませう。

他方、右翼は最近の内外情勢に危機感を強めており、情勢如何によっては、直接行動に出ることが懸念されます。

このように激しい情勢の下にあって、全国の機動隊員等は、

期待に応える全国機動隊 隊訓を心のなかに

会社には社是があり、家庭には家訓がある。機動隊のあるべき姿、また隊員の自己管理目標として示されたのが隊訓である。集団警察力の中核部隊として敢然と身を挺し、秩序維持の正義の具現者としての機動隊員達は、それぞれの隊訓を胸の中に抱いて、今年も力強くはばたいていく。

北海道警察機動隊



我が北海道警察機動隊の隊訓は、「正義」「融和」「根気」である。

昭和四十四年十一月、新隊舎落成に伴い当時の隊長が、道民の安全と平和を守る北海道警察の実戦部隊として、規律厳正にして精強な機動隊を願ひ制定したものである。その意味するところは、

一、「正義」―警察本来の目的である正義を守るために。
一、「融和」―隊員が一致団結し、集団警察力の威力を発揮するために。
一、「根気」―困難な職務に耐えるために。

この隊訓の下、幾多の治安警備・災害警備に出動し、多大な成果を収め現在に至っているが、なかでも「北海道大学封鎖解除」「伊達火発反対闘争」警備において、厳寒の中で寝食を忘れ任務を全うし、酷暑の中「新東京国際空港警備」の任務を全うする等、士気は極めて旺盛である。また各級昇任試験においては全道一の合格率を誇り、北海道警察のエリート集団という異名をほしいままにしているが、これも隊訓を忠実に守り活動している所以である。今後とも隊員一人一人が隊訓の教えるもの、北海道治安の任務を遂行していく決意である。

東北管区機動隊

管機隊と同時に「融和」

「団結」「根性」の隊三訓が誕生したが、四十九年一月、隊員が必要なる社会情勢の変化に対応して力のみでなく、人徳・智力にもすぐれた資質を養成しなければいけないという意味合いから「自律」「自学」を加えて、隊五訓とした。

昭和五十六年中は、成田空港警備の他は全隊としての出動はなかったが、前期集合訓練には全部隊入校して、東北管機の伝統ある根性は駆け足から合言葉、毎日訓練開始前の三十分間駆け足を実施してきた。この駆け足は帰巣後も継続実施し、後期集合訓練でその成果を確認した。



警備訓練においても基本訓練を反復して技術を体得した後、実戦の応用訓練によりいかなる困難な現場にも対処し得る体力・気力・技術に自信をつけ、須藤大隊長のもと士気はますます高まっている。

青森県警察機動隊



隊訓は「融和・団結」「自律・自学」「体力・気力の練磨」である。全隊員が精強な警備部隊の一員として、更に優秀な社会人として、更に責任を身に付けること。換言すれば、「頭」と「体」を十分に活かす知行合一の勇士を養成することを教示している。

昭和五十六年の隊訓に基づく成果として、度重なる三次米軍基地反対闘争に対する警戒警備、果敢な防犯訓練、暴力団対立抗争に対する不法事案防止のための出動など一糸乱れぬ警備力、機動隊の「融和・団結」を如実に表わした。「自律・自学」で

は、五十六年春の昇任試験で三階級制覇と好成績を示し、「体力・気力の練磨」では、柔剣道の県内外での活躍と合わせて本年度から実施の駅伝大会の主力メンバーを隊員から送り出すなど一隊訓を活かして本年も邁進していく決意を全員が固めて

岩手県警察機動隊



当隊の隊訓は「強く、明るく、頼もしく」である。昭和四十四年四月、当時の阿部隊長の制定によるものであった。折りしも「四十五年安保」を目前にして、岩手の地において、過激派学生労働者等による違法デモや各種の不法行為が連日のように散見されていた。これに対して正面から立ち向って鎮圧検査、市民を守る警備警察の使命がとくに強く求められた時であった。

このような時に、文字通り警備力の中核である機動隊は、しかも強くなければならず、しかも暴徒が使う「弾圧」の言葉をはねのける、明るく姿が求められ心から市民に信頼される頼もしい機動隊が理想であった。この隊訓が現在の社会でも共通するものであり、近年は警備以外にも、柔道管区大会「連覇」アトラクショ部隊の捜査活動、災害救助活動など多くの成果をあげ、「強く明るく頼もしい機動隊」と自負している。

宮城県警察機動隊

「明朗」「団結」「忍耐」。これは、集団警察力の中核としてあらゆる困難をのりこえること、また県警察のかみとして



その存在を確立する為の必須の精神的要素である。昭和三十八年全隊員の総意に基づき決定した。人と接する場合、常にゆとりと明るさを持ち、臥薪嘗胆自らを律し、行く手を阻むものは、枚々の団結でこれを打ち砕くという趣意である。

昭和五十六年を振り返り、隊長以下隊員が一九九となって隊訓を体して治安警備実施、レンジャー、レスキュー等各種機能別活動をほしめ、県内全域に盛り上がった暴排運動、暴走族追放運動にタイアップした諸活動を展開した結果、指弾を受ける些細な不祥事も出さなかった。まさに本県警察運営指針である「県民とともに」歩んだ一年であった。

秋田県警察機動隊



「誠実」―誠意をもって職務に精進し、県の治安維持につくこと。また「融和」―和気あいまいのなかで一致団結、明るい隊生活を送ろう。

「忍耐」―辛抱強い気迫をたくわえ、いかなる困難にも打ち勝とう。

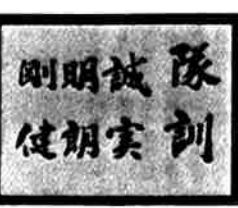
これが我が隊の隊訓である。隊訓制定当時の隊長が、指揮幕僚専科で警視庁第一機動隊に

勤務し、我が秋田県警も一機の警備に追いつく、追い越せと叱咤激励したのである。現在もこの精神が受け継がれ、一人一人の隊員のなかに生き続けている。

五十六年の想い出として七月末、三十五度という猛暑のなかで、恒例の県警合同点検が行なわれた。機動隊は管機・二機隊員と共に中隊の遊撃隊活動要領訓練を実施した。

地熱が警備靴の底を通して立っているのが苦痛のところ、完全装備での約二十分にわたる訓練を一人の落伍者もなくやり遂げ、参加した隊内外の人に頼りがいのある機動隊の印象を強く植えつけることができたのも、隊訓に示された「精神」が生かされたためである。

山形県警察機動隊



当隊の隊訓は「明朗」「誠実」「剛健」の三ヶ条である。

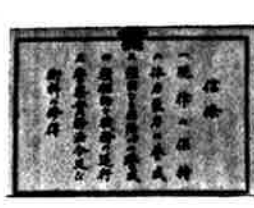
山形県警察で機動隊が始めて独立した所属として認められた昭和四十五年四月一日に定められたもので、現在まで引き継がれ輝かしい伝統を築いてきた。機動隊が、集団警察力の中核部隊としてその力を発揮するためには、隊員が互いに「明朗」を基調として融和団結し、血のかよった組織体として活動しなければならぬ。

また「誠実」は警察官の信条である。いかなる困難に臨んでも、毅然として職務を遂行する誠実と忍耐と情懷を堅持して行動する豊かな教養を身につける隊員が必要視される。

さらに機動隊員は精強でなければならぬ。そのためには「体力」「気力」の充実とともに

に「剛健」が要求される。警備実施の中核部隊として日夜練習に励み、過去幾多の困難な警備現場出動においてもその任務を完遂し、たくましく育ってきたのも伝統ある隊訓の教えを守ってきた賜物と考えている。

福島県警察機動隊



我が隊の五つの信条は、一、規律の保持、二、体力・気力の養成、三、強固なる団結心の養成、四、積極的な職務の遂行、五、警察業務法令及び術科の修得である。この意図するところは、機動隊存立の本質に迫る不可欠の要素であり、強靱な部隊の極致と考える。

我が隊では、精強な部隊を目指して毎朝全隊員で五つの信条を唱和し、日常の警備実施・各種出動および術科訓練に励んでいる。五十六年における信条の成果としては、毎年繰り返される「五色の集い」「県教組大会」等に対する県内外右翼の抗議や妨害行動に対して、「違法行為は看過しない」の警備実施の基本に徹し、万全の警備を期した。一方の術科面では「栃木、茨城、三県警察術科大会」において剣道優勝の成果をあげた。我が隊は信条のもと、伝統ある機動隊として一層強力な部隊となるべく全力をあげている。

警視庁第一機動隊

当隊の隊訓は「誠実」「融和」「忍耐」である。この隊訓は昭和四十五年十二月一日、隊員の総意に基づいて制定されたものであるが、主旨は次のとおりである。



誠実 誠実を以て職務に精進し首都の治安維持に全力をつくそう。

融和 融和は、和気あいのなかにならば一致協力し明るく正しい隊生活をおくろう。

忍耐 忍耐は、辛抱強い氣迫を奮いかなる困難にも打ち勝とう。



警視庁第二機動隊

我が隊の隊訓は「融和・誠実・忍耐」である。

機動隊は集団奮闘力の中心として、その力を十分に発揮するために隊員互いに協力して一致団結、心を通し合うことが大切である。また、いかなる困難にも進んで立ち向う氣迫と実行力が必要である。

この隊の隊訓は、第七方面予備隊(第二機動隊の前身)創設時に、隊員の氣智を集めて定められ、初代隊長・渡邊清樹から発隊式に発表されたものである。

これは、大日向岡先生筆による正面玄関階段踊場にかかげられ、今日まで継承されている。その趣旨は、誠実、融和、忍耐を以て日夜職務に精進し併せて日々生活においても誠を示し範たること、全力をもってつくそう。

融和、我々、統制ある正しい規律の中にも和気あいのあつた明るく楽しい隊生活を送られる。



警視庁第三機動隊

昭和三十六年に九代隊長として着任された嶋坂仁一隊長は、隊員には非共必要なのは精神的結合であると考え、昭和三十七年十一月十九日に、その支柱ともいべき隊訓を、一、誠実、融和、一、奉仕と制定した。

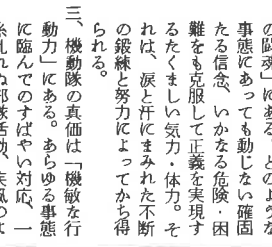
以来、当隊では隊訓のそれぞれの主旨を、

一、機動隊の生命は「鉄壁の団結」にある。何でも話し合える明るくはつらつとした隊風、強い絆で結ばれた真の同志愛、誠実を貫き通す公・私生活、それは、真実のみを愛し、己に対してはあくまでも厳しい平素の言行によって生みだされる。

二、機動隊の本領は「剛毅不屈の闘魂」にある。どのような事態にあつても動じない確固たる信念、いかなる危険・困難をも克服して正義を実現するたくましい氣力・体力。それは、涙と汗にまみれた不屈の鍛練と努力によってから得られる。

三、機動隊の真価は「機敏な行動力」にある。あらゆる事態に臨んでのすばやい対応、一糸乱れぬ部隊活動、疾風のような進退。それは平素における規律正しい隊生活、十眼を惜しむ美観的訓練の反復によって培われると定め、隊内に掲示している。

また隊内規にも隊訓の主旨を織り込んで「第二条」隊員の心得に、隊員は、職務の遂行に当たっては誠実を旨とし、教養訓練に励み、剛健の氣風を養い、融和団結し、行動は常に正確機敏であるよう努めなければならぬと規定している。



警視庁第四機動隊

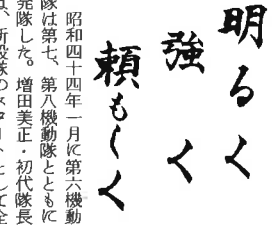
我が四機隊の隊訓は、昭和二十四年三月七日第四機動隊の前身である警視庁予備隊西部区隊の発足にあたり、初代・竹居隊長が

誠実、鉄壁の団結、剛健、不屈の闘魂、機敏、機敏な行動力を

隊訓として定めたのが始まりである。

簡、誠実と忍耐と情操を堅持して行動する豊かな教養を身に付けた警察官たれ。

協和と機動隊が集団奮闘力の中心核としてその力を発揮するに、隊員相互に協力して一致団結しなければならぬ。



警視庁第五機動隊

五機隊の隊訓は「剛健」「優美」「協和」である。

剛健、機動隊は精強でなければならぬ。機動隊の機敏な行動力、優美、文武両道は警察官の要である。

英知 (Intelligence)

と、玉磨かざれば光なし。常に問題意識を持って物を見つめ、秀れた智慧を磨け。

創造 (Creativity) とは、中核としてその力を発揮するに、隊員相互に協力して一致団結しなければならぬ。



警視庁第六機動隊

昭和四十四年一月に第六機動隊は第七、第八機動隊とともに発隊した。増田美正・初代隊長は、新設隊のスタートとして全隊員に希望と意見を求めた。

選出されたのが「明らく、強く、頼もしく」の隊訓であり、今日に至っている。

「明らく」とは、明るい人間関係と環境作りで隊員の士氣は盛り上がる。「強く」とは、この機動隊にも負けない強さを求める。また「頼もしく」とは、国民の信頼と期待を担って、あらゆる困難に打ちかつ頼もしさを持つことである。

警視庁第七機動隊

東大紛争、神田地区騒動等極左暴力集団の武力街頭闘争展開中の昭和四十四年八月二十六日、この機動隊に隊訓を全隊員から募り検討して定められた。

先輩が血と汗と涙で治安確保の任務を遂行し、都民の期待に応えてきた機動隊精神の真髄を受け継ぎ、人間味豊かで精進な第八機動隊員の行動指針を「融和」「積極」「練成」の六文字に託し、これを実践すべく日々努力を重ねている。

「融和」とは、人間味豊かな機動隊、正しく強い機動隊であるために、隊員の一人一人が意志の疎通を図り、理解し協力し合って、隊長を中心に身を賭して任務を遂行していく姿勢、それが融和である。

「積極」とは、静かに待って動いて対峙して、その他他進取、能動的な意を表す言葉で、機動隊員らしく物事に進んで取り組む姿勢、自信に満ちあふれた勇猛果敢な行動、それが積極である。

「練成」とは、厳しい訓練と不屈の精神力、精進な機動隊を目標として日夜研さん努力を重ね、困難な試験を乗り越えてきた先達に学び、技術の錬磨と精神の鍛練、それが練成である。

警視庁第八機動隊

と、玉磨かざれば光なし。常に問題意識を持って物を見つめ、秀れた智慧を磨け。

創造 (Creativity) とは、中核としてその力を発揮するに、隊員相互に協力して一致団結しなければならぬ。

施する機動隊である。昭和四十四年七月一日に発足し、初代・中村克己隊長によって当隊の特殊性と発展の隆盛を祈念して隊訓が定められた。

「融和団結」

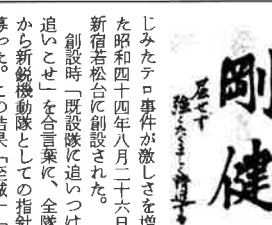
治安の闘士として最も大切なものは、厳正な規律を基盤とした暖かい血の通った堅い団結の絆であること、お互いの人間性を尊重しながら切磋琢磨し、活気と潤いのある明るい環境のことで、団結の輪(和)を強めていくことを目標とした。

「創意識練成」

日進月歩する時代の要請に応えるためには、常に心技をみがき、創意と工夫をこらし、装備車両の開発・改善、技能の向上に努めなければならないことから、創造性と練達の精神を醸成することを目標とした。

「自主積極」

当隊の特殊性として、小規模部隊による分散配備が要請されている。従って、隊員は常に指揮官の感覚をもち、自ら判断し行動することが要求されることから、自主性と積極性を育成することを目標とした。

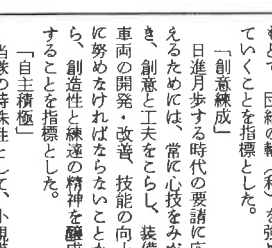


警視庁第九機動隊

当隊は、第一次安保闘争が激烈になり、極左暴力集団の狂気

多数の賛同を得た。さらに文句の配列等を考慮して、東連隊長自ら「自律自守」の四文字を書き添えて隊訓とした。

管区機動隊は、この隊訓の精神に立脚し、先輩隊員の築いた輝かしい成果と良き伝統を引き継いでいくとともに、第七代の小笠原連隊長の下、各指揮官が一致団結し、より精進なる部隊作りを努めている。



警視庁特科車両隊

当隊は、その名の示すように特殊車両等を活用して警備を

我が隊訓はその意味からも、まさに機動隊員の座右の銘であり、現隊員は先輩が制定したこの隊訓を生かすことにより、その任務達成を図っている。



茨城県警察機動隊

当隊の隊訓は「誠・和・剛」である。

誠は、誠実、親切

和は、融和、団結

剛は、身体、精神ともたくましくという意味である。この隊訓は昭和四十二年、隊員の行動指針として制定された。

機動隊は警備実施における中核部隊として、その組織力を大いに発揮し、治安維持にあたる任務を持っているが、それには隊長を中心として一致団結し、個々の隊員が強い身体と不屈の精神のもとに、合法・合理的かつ妥当な警備に努めなければならぬ。

栃木県警察機動隊

我が隊の隊訓は「和・真・勇」である。

和とは団結力であり、真とは真実・信義を重んじることで、勇とは勇氣に非ず正義・大義に対する勇氣である。こうした隊訓のもと、精進な警備部隊を目



標に精進努力している。
昭和五十二年九月に隊訓を制定して以来、数々の警備出動があったが、その中でも特筆すべき事は、五十二年新東京国際空港開港警備の九日延べ百数十回にわたり千葉警察に応援出動し、五月二十日ついに開港した。その治安警備の一翼を担った業績に対し警察庁長官から賞状を賜ったことである。

これからは隊訓「和・真・勇」をモットーに切磋琢磨していくことはいつまでもない。

群馬県警察機動隊

隊訓
融和 団結
創意 練成
有事 即応

群馬県警察機動隊は昭和四十五年四月、所属として独立した。当時の「隊の目標」のもとに学園紛争、連合赤軍事件、日教組定期大会警備等数々の難かしい活動をしてきたが「隊訓」を求めた意欲が高まった。

昭和五十一年八月、第四代隊長・橋本警視を始めて全隊員の総意により「融和団結」「創意練成」「有事即応」の隊訓が制定された。

一方、五十六年七月一日に加山文男部長のもとで制定された本県警察の基本理念・哲学である「警察職員五誓」と合わせ「隊訓」は、我が隊運営の生命であり、全隊員は毎朝点呼時及び出勤時に唱和する。

より強く、より明るく、より

たくましい機動隊作りを日夜邁進している。

埼玉県警察機動隊

隊訓
規律 厳正
融和 団結
敏速 正確
沈着 勇敢

我が隊訓は昭和二十七年八月、国家地方警察埼玉本部機動隊として創設された際、高坂社吾・初代隊長が全隊員にはかつて制定したものである。

「規律厳正、融和団結、敏速正確、沈着勇敢」は、集団警備力の中核となる機動隊のあるべき姿を表わしたものである。

昭和五十二年五月、成田空港防衛警備撤去を巡る反対闘争警備に際しては、火災及び・投石・鉄パイプなどによる極左暴力集団の激しい抵抗を排除し、軽傷者一名以外に受傷者を出さず、八名を拘捕した。これも、隊訓を遵守した成果、つまり、敏速正確、かつ沈着勇敢な部隊行動によるものと自負している。

新東京国際空港警備隊

隊訓
1 融和 団結
2 積極 果敢
3 不屈 不撓

新東京国際空港警備隊は昭和五十三年七月十八日、日本の表玄関である新東京国際空港を守る専門部隊として発足した。

激しい警備情勢の中で、国家の威信をもかけた国際交通ルートの安全を確保するため、隊員ひとりひとりの職責の自覚を基礎に、なにもない

強部隊づくりを目指して、次の隊訓を定め活動の指針としている。

一、融和団結 われらは常に意思の疎通をはかり全隊一致協力して目的の達成に努め、二、積極果敢 われらは積極的任務を遂行し事態に構っては冷静沈着勇猛果敢に行動せん、三、不屈不撓 われらは使命感に徹しかなる困難にもたゆまず不屈せず初志の貫徹に邁進せん。

三、不屈不撓 われらは使命感に徹しかなる困難にもたゆまず不屈せず初志の貫徹に邁進せん。



今後とも隊訓及び信条を、心にしかりと刻んで苦勞を避け、日夜地道を練磨を重ね、強靱な信頼される部隊作りを努力して行きたいと隊員一同で誓っている。

千葉県警察第一機動隊

数多い警備実施活動の中で、千葉県機が最も苦勞してきたのが、十五年余にわたる新東京国際空港建設をめぐる警備である。開港後は、日本の表玄関で警備にあたる空港警備隊が設置されたことであって、主として空港の外周と空港関連の重防警備に従事しながら、野戦型から都市型のソフトでスマートな警備実施が出来る部隊を目標に、訓練に励んでいる。

当隊の隊訓は「融和、団結」であり、「強く、正しく、知性ある明るい千葉一機」を信条としている。

昭和五十六年を顧みれば、一連の成田警備を無事果たしたのを始め、県下の警察科大会においても未道・剣道・けん銃の三種目に優勝した、各級昇任試験では、総数三十六名が合格して知性の一端を示し、まさに活気に満ちた「明るく」一機であった。

千葉県警察第二機動隊

新東京国際空港建設反対の運動が激化するに伴い、昭和四十四年十月千葉県機隊に第三中隊が旧佐倉女子高校跡地に設立されたが、我が第二機動隊の前身である。その後、四中隊の増設等に合せ隊舎も移転、昭和四十九年三月には第一機動隊と改称、独立所属として出発した。

その間、成田に於ける幾多の警備現場では、隊長の指揮の下、一丸となって野戦での戦いを展開、多くの実績をあげたが、発隊後間もない部隊としては、上下一体となつた部隊活動こそが精強部隊を支える柱であること、隊長を中心に融和の輪で鉄の団結を図り、いかに苦難な道でも耐え忍び、崇高な使命の全うを期することを誓い、ここに隊訓を「融和・団結」と定めた。

これは全隊員行動の指針として受け継がれており、今日まで築き上げてきた十年有余の血と汗による輝かしい業績と伝統を更に大きく育てあげべく励んでいる。

神奈川県警察機動隊

隊訓
一 容儀を正し
二 規律を守り
三 責任を自覚し
四 全力を尽くす

神奈川県警察機動隊第一機動隊と、第二機動隊の隊訓は、一、責任を自覚し、規律を守れ、二、責任を自覚し、全力を尽くすである。

この隊訓は、機動隊が二つに分かれる以前の昭和四十二年六月十日に、当時の小野島副官・警備部長の示唆に基づき制定された。

内容は改めて説明するまでもなく、誰にでも理解できる平易なもので、機動隊員として最も

必要を要素を端的に表現したものである。

長からず短ならず、かつ覚えやすく、読むたびに全身に気迫が浸透してくるのを感じ、機動隊にとって誠にふさわしいものと自負している。警備実施のプラトとして、この隊訓の精神を常に念頭に努力を続けている。



長野県警察機動隊

「融和団結」「質実剛健」「自学自律の精神」が当隊の隊訓である。昭和五十一年三月に独立所属となつたのを機会に「県民に信頼される真に強しな機動隊」の確立を目指して作られた。

警備実施を始め、各種訓練で強固なチームワークを確立し、正しく、強く、たくましい機動隊とするため、常に自ら学び、精かんで良識ある隊員となるよう入格の陶冶を図ることを基本方針としている。

この隊訓を守って、隊長以下隊員が強固なチームワークを確

静岡県警察機動隊

我が隊訓は「規律の厳正、行動の迅速、団結の強固」である。昭和二十七年九月一日の隊発足に際し、当時の江口・警備警察隊長が制定されたといふ伝えられている。

その後社会情勢の変化に応じて機動隊の組織・人員・装備も大幅に充実強化され、多目的に対応する隊となってきたが、隊訓だけは現在においていかなる等変更する必要がなく、当時作成されたままの古い額縁に納まり、隊事務室正面に厳然と掲げられている。

現在、隊長を始め各隊員は、三十年間に亘って幾多の先鞭に倣って築かれた伝統の重きをかみしめ、隊訓の実践を合言葉に日夜訓練に励んで精強な機動隊有事即応、国民に頼りにされる機動隊作りを目指して頑張っている。

中部管区機動隊

我が中部管区は「団結・情熱・勇気」を隊訓として定めている。

「団結」は、中部六県警察が一体となって、常に隊員の豊かな人間性を基調とした融和と強固な団結を、

「情熱」は、隊員の治安維持にかける崇高な使命感。また「勇気」は、精強果敢、いかなる困難にも打ち勝つ真の主力部隊としての姿を表わしている。「六花弁の旗」の下に、この中部の桃源郷「志の丘」に拠り、ひたすら玉を汗に明日の治安を思い、更なる躍進を誓い、いよいよ意気軒昂である。

山梨県警察機動隊

当隊には、隊訓として正規に制定されたものはないが、隊創設(昭和二十四年)以来、隊員の創意から伝統ある次のような「機動隊員五誓」がある。

一、われらは、隊員相互の信頼と団結をはかることを信条とする。

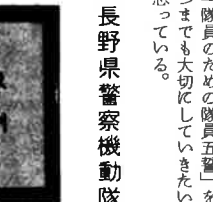
二、われらは、隊員としての自覚をたかめ、使命感に徹する。

三、われらは、隊員として厳正な規律を保持する。

四、われらは、英知をかか養い自己啓発に勉勵する。

五、われらは、隊員としていかなるかん難をも甘受する。

この五誓は、隊員の自己啓発と士気の高揚を図るため、事務室正面に掲げられて、毎朝礼時に一読することになっている。隊員は、隊員のための五誓に強い親しみを持ち、この五誓によって勇気づけられ、過去幾多の苦難を越えて活躍してきた。山梨県機動隊は、先輩から受継いだ「隊員のための隊員五誓」をいっつまでも大切にしていきたいと思っている。



山梨県警察機動隊

我が隊訓は「規律の厳正、行動の迅速、団結の強固」である。昭和二十七年九月一日の隊発足に際し、当時の江口・警備警察隊長が制定されたといふ伝えられている。

その後社会情勢の変化に応じて機動隊の組織・人員・装備も大幅に充実強化され、多目的に対応する隊となってきたが、隊訓だけは現在においていかなる等変更する必要がなく、当時作成されたままの古い額縁に納まり、隊事務室正面に厳然と掲げられている。

現在、隊長を始め各隊員は、三十年間に亘って幾多の先鞭に倣って築かれた伝統の重きをかみしめ、隊訓の実践を合言葉に日夜訓練に励んで精強な機動隊有事即応、国民に頼りにされる機動隊作りを目指して頑張っている。

富山県警察機動隊

我が隊訓は「規律の厳正、行動の迅速、団結の強固」である。昭和二十七年九月一日の隊発足に際し、当時の江口・警備警察隊長が制定されたといふ伝えられている。

その後社会情勢の変化に応じて機動隊の組織・人員・装備も大幅に充実強化され、多目的に対応する隊となってきたが、隊訓だけは現在においていかなる等変更する必要がなく、当時作成されたままの古い額縁に納まり、隊事務室正面に厳然と掲げられている。

現在、隊長を始め各隊員は、三十年間に亘って幾多の先鞭に倣って築かれた伝統の重きをかみしめ、隊訓の実践を合言葉に日夜訓練に励んで精強な機動隊有事即応、国民に頼りにされる機動隊作りを目指して頑張っている。

中部管区機動隊

我が中部管区は「団結・情熱・勇気」を隊訓として定めている。

「団結」は、中部六県警察が一体となって、常に隊員の豊かな人間性を基調とした融和と強固な団結を、

「情熱」は、隊員の治安維持にかける崇高な使命感。また「勇気」は、精強果敢、いかなる困難にも打ち勝つ真の主力部隊としての姿を表わしている。「六花弁の旗」の下に、この中部の桃源郷「志の丘」に拠り、ひたすら玉を汗に明日の治安を思い、更なる躍進を誓い、いよいよ意気軒昂である。

立し、文武両道にすぐれた強い機動隊として、各種出動には警備の万全を期するとともに、各種技術大会でも優秀な成績をあげているほか、毎年の各級昇任試験に多数の合格者を出している。

石川県警察機動隊



加賀百万石という「鷹揚・豪奢」というイメージが強いが、真の姿は「加賀とミ」の火消しの心意気であり、石川県人の真髓である。

石川県警察機動隊は昭和十九年七月に発足以来、一貫して隊訓を「誠実・剛健・機敏」としてきた。そして、現代の加賀とび、即ち治安の火消しを自負している。

福井県警察機動隊



隊訓は隊員に浸透しており各種業務・術科練成の背景となっており、当機動隊の士気は極めて盛んである。

「誠実・融和・忍耐」が我が隊の隊訓である。

昭和四十九年一月に全隊員が募集して制定したもので、これを隊舎玄関・事務室等に掲出して実践している。

五十六年表雪の際、一人暮らしの老婦宅が雪に閉ざされたのを知った青年隊員三名が、休日を利用して除雪奉仕を行った。感謝された事案は何にも誠意をもって処する隊訓を実践した好事例といえる。

また、隊訓の下に隊長杯争奪球技大会、ソフトボールクラブ及び山岳クラブ等の活動を通じて隊員間の融和団結に努めているほか、柔剣道訓練及び警備訓練で、体力・気力の限界に挑戦し、忍耐力の養成に努めていることになる事案に耐える精神を機動隊を目指している。

岐阜県警察機動隊



事務室と教場の二カ所に掲げてある我が隊の隊訓は「誠実」「忍耐」「団結」の三つを柱としている。

これは昭和四十八年当時の機動隊長である平井弥夫、警視(現在退職)の発案で「名実ともに集団警備力の中心として精強な機動隊作りを励もう」という意図から、隊長自身の直筆による額が掲げられ、現在に至っている。

その間幾多の困難を乗り越え、この隊訓の下、全隊員が一致団結し、いかなる困難にも打ちかつ隊風を確立することを基本方針として、日夜勤務に励んでいる。

愛知県警察機動隊

我が隊には「隊訓」として



「責任の自覚 二人格の錬成 融和の精神」

隊員に守り伝えられてきた「機動隊信条」がある。その内容は、隊員として常に実践すべき重要な事項として一、責任の自覚 二人格の錬成 三融和の精神に掲げている。

三重県警察機動隊



我が隊の隊訓は機動隊員七訓として、誠実・熱意・融和・誇り・礼節・潤滑・自律の七訓が制定されている。

昭和五十二年五月当時の第十六大隊長が機動隊員のあるべき姿を示したものである。以後隊員の心の拠りどころとしてよく浸透し、出動訓練、勉学に多大な成果をおさめている。

五十六年一月、長島温泉で発生した被雪額六千万円に上る現金集金車強盗事件では隊舎の中を連日徹夜の徹底した捜索により全遺留品の大半を採し出し、事件解決に多大な成果をおさめ、県民の絶大な信頼を得ることができた。これと並行の激しい訓練を乗り越え、培われた隊員七訓を心に秘め、黙々と困難な作業

に従事した結果である。さらに我が隊では機動隊員三戒として孤独、慢慢、進背が定められ、全隊員が互いに戒め合つて明るく強く正しい機動隊を目指して奮闘中である。

近畿管区機動隊

訓練理念
一、警備技術の習熟
二、体力・気力の錬成

管機は警備部隊の中核であり、治安維持最後の砦であつて管機に敗北は許されぬ。管機の唯一の命題は、いかなる条件の中にあつても、必ずこれを克服し、任務を完遂することにある。そこでわが近畿管区機動隊では訓練の重点を

一、警備技術の習熟
二、体力・気力の錬成
三、強い力の機動隊は国民の期待であり、管機の真髓である。管機隊員はいかにきびしい困難な条件のもとにあつても敢然とこれに立ち向ひ、必ずこれを克服し、任務を完遂していく強靱な体力と使命感に燃えたる不屈の気力の錬成を不可欠の条件とする。

この二点を指向して厳しく鍛え合ひ、汗とほりこりかけ声の中から人間愛を基調とした同志の団結を強めている。

滋賀県警察機動隊

一、融和団結 我等は、一心つにしてことなすめん。

一、積極果敢 我等は、何も恐れず、冷静沈着、勇猛果敢に行動せん。

この隊訓は、前文では隊の伝統に前進を、本文では知情意の三徳目を掲げている。そして大きな特徴は、われらのシンボルマークである隊章を密着していること。隊章の中央にある樹木が知性、外側のエンジツ色が情熱を、桜に京印の黄色が団結を現わしている。

大阪府警察第一機動隊

この計画訓練において各種分隊対抗競技会や教養訓練を通じて、さらに部隊の結束を高めるとともに、一時間余の不動の姿勢、足元、基礎教養等の基本訓練やあらゆる事案を想定して早朝・夜間における応用実践訓練を徹底し、警備実施の万全を期した。

京都府警察機動隊

当隊の隊員心得は、昭和二十四年敗後の荒蕪した社会秩序を回復し、府民の平穏な日常生活を確保するため機動隊が創設された際、隊員のあるべき指標として全隊員総意の下に制定された。

・服装・姿勢・態度は、特に厳粛端正であること。八、物質的意欲を去ること。九、向学心を養ふこと。十、社会情勢に連帯すること。

我々機動隊員の任務は、法と秩序を守り民主主義を擁護することであり、これはいかに時代が推移し、社会事象が変化しようとも不変である。全隊員はこの信念のもとに、隊員心得を朝礼時に唱和し、又機会あるごとに想起し、理想の機動隊員を目指して日夜訓練に勉学に邁進し続けている。

大阪府警察第二機動隊

昭和四十四年四月一日、警備事業の増加に対応して機動隊二隊制が実施され、第一機動隊が創設された。

兵庫縣警察機動隊

我が隊の隊訓は、昭和五十二年十二月二十四日隊創設二十周年記念を契機に、現隊長の提唱により制定された。

一、不撓不屈の闘志 一、厳正な規律と団結の三点からなつておる。即ち我が隊は少数精鋭かつオールマイティーが要求されるため、このような内容となつたのである。

兵庫県警察機動隊は昭和二十七年十月に発足し、以来幾多の変遷を経て現在に至っている。隊訓は昭和三十三年七月、神戸市警察機動隊を併合したのを機に「機動隊」としてあるべき姿勢を示し、世情不安に対処するために設定したものである。

奈良県警察機動隊

我が隊の隊訓は、昭和五十二年十一月二十四日隊創設二十周年記念を契機に、現隊長の提唱により制定された。

兵庫縣警察機動隊

昭和五十六年、八月・九月と猛暑の中で開催された防災並びに震災訓練では、さすがに果敢と多数の観戦者を感嘆させ

和歌山県警察機動隊

また近畿管内警察本部連道大会では、柔剣道(二連統)で優勝を挙げた等、部内外の信頼と期待に応え、隊内の士気はますます盛んである。これも、隊訓の下に、隊員が一致団結した成果である。



当該は集団奮闘力の中核隊としてその精鋭化を図るために、機動隊員としての自己管理目標を明確に示し、これを実践していく必要から「誠実」「融和」「練成」を隊訓と定めている。「誠実」とは、真心をもって行動することであり、真心とは善なる心の働きであり、行動とは真心に裏打ちされた自らの行いである。善なる心に従って行動することが誠実に生きるといふことである。人生の基本である。機動隊員に必要な精神的な働きは、集団としてどんな苦境に立たされてもお互いが信頼し合うことに始まるが、その源泉は一人一人の隊員が平素から誠実に生きることから始まる。

「融和」とは、集団の中に溶け込み集団の成員と仲良くするということである。それは、集団の中において個性を埋没せよというのではない。集団の目的を肯定し、個人の特性をこれに貢献させ、お互いに足らざるを補いつつ同志愛を育ててゆく。「練成」とは、鍛錬によって成長することである。自己の担任する業務に習熟しているものでなければ社会的責任を果たすことができない。部隊として、機敏な行動ができるよう平素から知識と技能を習熟しておく必要がある。

新隊員教育時を始め全隊員会議等を通じて、機会ある毎に隊訓の趣旨説明を行うほか、月間努力目標の制定を行い毎月月末にその実践について反省会を開催し、徹底に努めている。その結果、既に全隊員が上記隊訓を周知理解し、自己の生活目標として行動面に定着する等、着実な成果をあげている。

中国管区機動隊

機敏 融和 忍耐

隊員の隊訓が定められたのは昭和五十年四月、第四代大隊長の時である。七十年代後半を迎えて、困難な時代に即応し得る練度の高い精鋭な集団奮闘力の中核部隊を目指すにあたり、「機敏」「融和」「忍耐」の三訓を定めた。

即ち「機敏」とは、時機に応じて先見性を持って心を働かせ打てば動くこと、動作がすばやいことである。部隊活動においては迅速に適切な活動をする事。「融和」とは、中国五果の隊員が「旗隊」のデザイン五枚の大楯に象徴されるように連帯のきずなで、目的を同じくして一つとなること。

「忍耐」とは、いかに困難で荒れた現場に遭遇しても辛苦、憤怒などを感じず、我慢でき、強い精神力を持つこと、を指針としている。

隊訓は、大隊長室及び入隊訓練中に隊員の起居する際に掲げられ、常に隊員の心中に「責任と自覚」を促している。

隊員は発足当時、県民の期待する「強く正しい警察官の姿」を目指して隊訓に掲げることになり、鳥取市内で由緒ある禅寺の天徳寺に全隊員が参拝し、そ



岡山県警察機動隊

夕警備、交通取締り、行方不明者の潜水捜索等に、全隊員が隊長統率の下、一丸となつてその責務遂行に当たった。



隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。五十六年は水難事故が近年に多く発生したが、悪条件もかえりみず「勇誠和」の隊訓により存分の活躍をし、県民の期待に応えている。

今年も少数精鋭にして士気旺盛、何事も徹底してやり抜く闘志に燃えている。

昭和三十六年四月に発足した機動隊の精神的支柱として定められた隊訓は、厳正な規律と強固な団結を掲げ、もって有事即応の体制確立を目的として定まっていた。

隊員は、いかに困難でも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。五十六年は水難事故が近年に多く発生したが、悪条件もかえりみず「勇誠和」の隊訓により存分の活躍をし、県民の期待に応えている。

鳥根県警察機動隊

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。



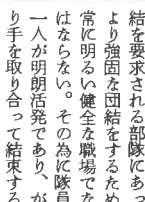
隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

広島県警察機動隊

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。



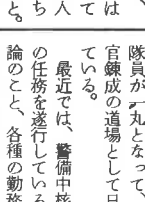
隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

山口県警察機動隊

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。



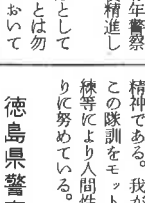
隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

四国管区機動隊

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。



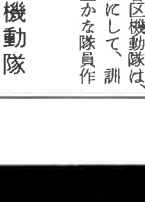
隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

徳島県警察機動隊

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。



隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

香川県警察機動隊

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。



隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

誠根 融和 性実

愛媛県警察機動隊

隊員は、いかに困難にも常に勇気ある行動で臨むこと。「誠」は、県民に対し常に誠の精神で奉仕すること。「和」は、部隊活動に不可欠の団結を表わしている。

強く、たくましい隊員作りを目指すことから昭和四十八年一月、隊員からの応募によって「誠実、根性、融和」を隊訓として定め現在に至っている。

この隊訓の下における昭和五十六年中の主な活動状況は、暴力団抗争事件に伴う張付警戒、伊方原発に伴う警備出動等があげられる。

また術科の面では、四国管内内柔剣道大会において、柔道・剣道ともに優勝、全国大会では剣道が一部で準優勝、柔道は決勝進出には及ばなかったが強豪ぞろいの一部で善戦等の活躍をした。

今後とも文武両道と人格の陶冶に努め、チームワークによる強力な部隊力を発揮できるように、隊員一同頑張っていきたい。

と制定された。我が隊は、この隊訓の実践として、次の点に取り組んでいる。「強く」110のような困難をも克服する精神力の育成と汗と泥にまみれ、血の力にむらうを美徳の訓練を徹底している。「賢く」11実務能力の向上は格闘、吉田隊長の「昇任試験合格三千名」の微一、中隊長をキャップとして計画的な教育を実施し、全隊員目標に向って、真摯な態度で取り組んでいる。「明るく」11明るく活力ある職場環境の醸成と士気の高揚を図るための委員会を新設、隊員の意見を吸収して隊の運営に反映させている。

「端正」は、隊員一人一人が規律厳正にして、「誠」を重んじぬ。不屈の精神力を持つ。迅速は、部隊活動の根幹である敏捷な行動を、ということであり、連隊長以下全隊員が隊訓ののどより訓練で立き実践で笑え、を合言葉に、日夜血の汗にむき訓練に取り組んでいる。

五十六年は、この隊訓の下において、大分県下における第一回豊魚祭に御臨席の皇太子、同妃両陛下の御警衛をはじめ、長崎県下における原子力船「むつ」座船闘争警備に出動し、過去先輩諸氏が築きあげた栄光の九州管区機動隊の名を汚すことなく所期の目的を達することができた。

高知県警察機動隊



「和合、規律の厳正、品性の陶冶、奉仕観念の徹底、行動の敏捷」が当隊の隊訓である。

機動隊の任務は、警備実施の現場において中核部隊としての役割を果たすことである。中核部隊に最も必要なのは、隊員の強い団結心と奉仕観念、練り上げられた技術による迅速な行動力であり、わが「隊訓」もその基本となるべきことを掲げている。

昭和三十一年に当隊発足以来この隊訓がわが隊の歴史と伝統をつづけてきた。激しい現場、厳しい訓練、柔道・剣道、持久走、山岳歩行、分隊対抗によるソフトボール・駅伝、また部内外の講談会・昼食会等により、現在も隊訓の精神は培われている。

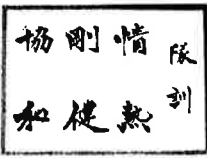
隊訓 端正 根性 迅速

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。



我が隊訓は、昭和五十一年の発足時に旺盛な士気の下、若き「情剛」に「協和」「熱健」を掲げ、また、事に当たっては全隊員が一糸乱れず「協和」する隊風を確立することを目的として制定された。

北九州の暴力団抗争事件警備、佐世保での原子力船「むつ」警備等いずれも激しくかつ多様な任務が課されたが、全隊員が一丸となり、隊訓の「情剛、剛健、協和」の実践によって責務を完遂できた。

なお隊員は明日に向けて、より強くな警備力の練成を図るために警備訓練、柔剣道などの基礎訓練に励むとともに、クラブ活動としてラケット部を発足させたい成果を上げている。とくに、ラケット部は益々の特長となり、僅か一年で県社会入りリーグAクラス入りを果たし、その活躍が部内外から敬意と称賛を受けている。

福岡県警察第二機動隊

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

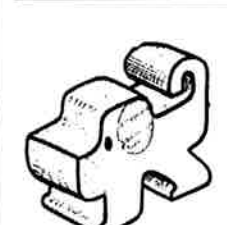
新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。

「融和団結」これが我が隊の隊訓である。この隊訓は、原潜斗争、エンブラ斗争等警備史上名をとどめる幾多の警備活動のなかで培われてきたものであり、「融和」は団結を深め、その団結によって力が生まれることから、伝統的に引継がれている。

我が隊では、全隊員が「融和団結」を合言葉に、有事に際し集団警備力の要として、その力を最大限に発揮できるよう訓練隊員に励んでいる。

五十六年はこの隊訓の下で、二月下旬身も凍る寒波の中でローマ法王警護、昭和五十三年佐世保入港以来延々と続く原潜「むつ」警備等数々の事案に對処してきたが、なほひとつ事故がなく任務を完遂できた。これは、隊訓「融和団結」の賜物と思われ。

新年を迎え、今年も「融和団結」のもとに「融和」の精神を隊員に徹底し、日本西端の治安は磐石である。



東北支部総会

第六回



当回支部総会が十月七日仙台市・ウイディング・パレスで盛大に行なわれた。新たに東北支部代表に就任した佐藤康一氏主催の下で開かれた機動隊員の懇親会は最高に盛りあがった。



支部総会が十月七日仙台市・ウイディング・パレスで盛大に行なわれた。新たに東北支部代表に就任した佐藤康一氏主催の下で開かれた機動隊員の懇親会は最高に盛りあがった。

機動隊員百六十名を迎えての支部総会は、前支部代表・近江八郎氏の後を引き継いだ佐藤康一、世話人代表の挨拶で始まった。

一般市民から当会に入会すると、どういふメリットがあるかの質問を受けることがある。これについては大内後司、理事長の言葉を借りると「自発的に同会の趣旨をよく理解しないと失望する」とのことである。つまり警備活動の中核部隊としての機動隊が、治安維持の役割を果たしてあり、これがわれわれの平和につながっている大層な立脚点であり、純粋な当会の一員として大活躍を期待して努力していただきたい。

来賓祝辞として山本浩雄、東北管区警察局長と原田正敏、宮城県警察署長がそれぞれ「宮城支部は理事長の人格を反映して純粋に、和気あふましい裡に運営されていると聞いている。これが機動隊員にとって精神面でも大きな支えとなっている」と、今後の治安維持に全力投球して

第八回 大阪支部総会



いく決意を語った。

鈴木真、副理事長の乾杯の音頭をきっかけに、隊員と会員の交流が始まり、隊員によるアトラクションが懇親会の雰囲気をつくらせ盛りあげた。岡部亨、東京本部世話人の万歳三唱で幕を閉じたが、心のつながりはいつまでも続いている。

師走八日、大阪商工会議所ビルのニュー国際ホールで第八回大阪支部総会が開催された。機動隊員百五十名と会員三百五十名の合計五百名が出席、和やかな交歓風景が繰りひろげられた。会員の暖かい励ましに対する若

い隊員はそれぞれが責務の重大さを新たにかみしめている。

機動隊員は「当支部も八日目を迎えて、着実に定着してきた。今後ともさらに励ましの輪を広げていく」と語り、これを受けて来賓が謝辞を述べた。

山崎隆司、近畿管区警察局長は「最近の社会は個人の利益と権利ばかりを追求する風潮がある。このなかで機動隊員は法秩序を守り、社会の平和を維持するために身を賭しているが、励ます会の支援が大きな支えとなりつつある」と挨拶した。

続いて杉原正、大阪府警察本部長は「機動隊は一番困難な部署を担当している。このために日夜、誠心、誠意の警備訓練等で切磋琢磨している」と力強く、今後とも国民の期待に応えるべく努力する決意のほどを語った。

鈴木真、副理事長は「機動隊員の音頭で乾杯、懇親会がアトラクションで盛りあがった。このなかで隊員と会員の心の交流は尽きるところを知らなかった。最後に自見眞清、九州支部世話人代表の発声で万歳三唱、名残り尽きぬまま閉会となった。

愛飲家ご用心

石原 幸男

「オレのサカスギが受け入れられないのか」といって、酒の無理強いをするのが宴会によくお目にかかる風景である。サカスギのやりとりが、酒席の大切なクニクニであるのが国では、かいつく三杯」とやたらに勧める人がいる。

こうしたサカスギの現状がどうして起きているのか、という疑問が、酒の席の大切さを、昭和三十六年六月一日に公布された「酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律」の存在をご存知だろうか。

酒の飲み方を規制するこの条文は、規則でもなく、条例でもなく、長たらしい名前だが、まさにレッキとした法律である。これからはいよいよ忘年会・新年会・シンポジウムに入る。このため心構えとしてよく心に定めて置かねばならない。

話のタネに以下、この法律のサワリを紹介しよう。

まず第一、条が目的である。酒に酔って他人の行動を規制し、または保護する等過度の飲酒が個人の及び社会的に及ぼす害悪を防止し、もって公共の福祉に寄与する。

飲酒が他人に迷惑をかけていけないことはよく分かるが、同法でこの「公共の福祉」を保持させないといけないのか、いかに飲酒が過ぎ過ぎて実感が湧かない。

次に第二、条は「すべて国民は、飲酒を強要する等の節度を排除し、飲酒についての節度を保つよう努めなければならない」と飲酒のマナーを規定している。

古今東西、人と酒との交わりはさまざまに調へを織りなしてきた。とくに最近では経済大国ニッポンでの派手な酒席は「Whit's エンカイ」と外国人が好奇の目を向ける。

上司は酒の勢いに乗って部下の本音を察するとし、部下は上司のどこをくすぐったらよいかを思案する。皿をさされたら呑めなくてもきれいに返すのがマナーだし、少々のしじりも酒の席だから、のひと言で片づけられる。若干の問題はあるが、こうしてわが国古来の風習をひと口に悪習と決めつけるわけにもいかない。

現実にはストレスを健康的に解消し、明日への活力を得られるものとして、日本式のエンカイが数々の技術・特許と肩を並べて見直され、外国へも輸出され始めている。

この法律の作成者はきつと、サカスギが嫌いなのか、それとも絡まれた後遺症が強く残っているのか、それにしても酒の飲み方で法律で定めている国は、まず少ないだろう。

第三、条が第七、条までは、警察官の銘盾者に対する保護・罰則、立入り・通報を規定している。これはまずまずだが、時代も大分変わってきた。

先般警察官の苦情、本当に苦痛と申しあげ、通称「トラ箱」の奮闘、泥酔者保護センターは、十一月には入所者が急増した。ピーク時は五十一年度内四万所のトラ箱に詰め込まれた約三万五千人で、五十五年は、約四千人と下降線をたどったが、今年に入ってから増加の傾向にある。

泥酔、精神錯乱の応急保護者は、ひとりの物にならなくなり、嘔吐で飛び出す。第三、条第一項の「警察官は、第百三十五号の指図書と隊員の一体となった訓練を展開し、部隊の士気が大いに上がった。

最後に本部長から、治安の礎としての心構えの訓示を受け、本部長を終了した。

☆名古屋支部総会が二月十日(水)十七時より名古屋市民公会堂にて開催されます。都合により延び延びになりましたがご参加をお待ちしています。

お知らせ

新年の御慶を申上げます

- 大内俊司 石原幸男
- 鈴木 實 辻子丈太郎
- 小川運輸(株) 西野公庸
- 津田鋼材(株) 青山誠剛
- 山本鉄商(株) 宮崎精鋼(株)
- 関東鉄鋼株式会社 広畑海運(株)
- 芝本龍平 豊田通商(株)
- (株)スチールセンター 和田 弘
- 高周波熱錬(株) 丸定産業(株)
- 豊国興産(株) 明鋼材(株)
- 大洋製鋼(株) 大和重工(株)
- (株)周東商会 丸橋正彦
- 谷本隆夫 内外運輸(株)
- 東鋼業(株) 自見産業(株)
- 大野興業(株) 不動鋼板工業(株)
- 大東港運(株) 藤田金属(株)
- 東南貿易(株) (株)辻作次郎商店
- 次郎丸嘉介 中条鋼材(株)
- (株)上野百貨店 (株)佐藤製線所
- 廣慶太郎 北海鋼機(株)
- 市原澤次

今月の言葉

今からちょうど百年前、一八八二年明治十五年の四月六日、自由民権を訴えて遊説中の自由党総理板垣退助が、岐阜で小学校教員の愛知県士族、相原副助に襲われて負傷した。その時の有名な言葉が「板垣死すとも自由は死せず」である。

板垣退助は、その前年一八八一年に自由党を結成したが、その自由党の盟約第一章にはつぎのようにたわれていて「吾輩は自由を拡充し、権利を保全し、幸福を推進し、社会の改良を図るべし」。

板垣退助自身の考える自由とは、

自由のルール

どのような性格のものであったか。思想家としての板垣退助への評価は、各論があるが、何れにせよ、当時の(自由)という言葉は、人ひとりにあつた。つまり「どうぞご自由だ」。

極めて耳新しかったに違いない。さて現代は、自由ということが論議の余地のない社会通念であり、とくに言うまでもなく国民生活

「私の自由です」「あの人の自由です」「わかれは自由だ」……といったように、わがまま勝手な響きになる。しかし、こうなつては

である。さきの自由盟約第一章と同様の意味であるが、すべての特権を左右する貴重な切り札である。従つてその行使には、充分な認識と良識が先立ってしかるべきなのだが、人たちの間に、いかにも多い昨今で

自由のルールとは、同じくカントの言葉を借りればつぎのようである。「互に自由を妨げない範囲において、わが自由を拡張するところ、これ自由の法則である。」

新年に当たって、自由ということをお互いあらためて考えよう。機動隊員等の皆さん、インデントも、究極的には、まことの自由を置かれているだろう。

普女 普男の雑踏警備万全 機動隊が縁の下の力持ち



初詣…史上最高の7,870万人(明治神宮で)

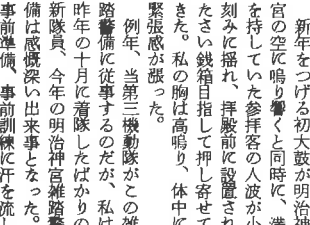
史上最高の初詣客で賑わった正月三日。好天と不景気風で、どっさり出した家族連れである。今年がどんな年かとなつて出てくるのはフタを開けてみないと分からない。しかし、不景気風を頼り込みで吹き飛ばそうと普男普女の願いは、厄除、家内安全、交通安全、開運、商売繁盛からその一端がうかがえる。

警察庁がまとめた今年正月三日の初詣の出は、全国で七千八百七十万人のぼり、昨年を七十七万人も上回る最高の記録となつた。

神宮(東京)の三百六十六万人

はげまし

発行所
社団法人 機動隊員等会 東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
年間1200円(送料共) 購読料(但し会費の中には購読料を含む)



長島 光弘

新年を上げる初太鼓が明治神宮の空に鳴り響くと同時に、満を持して来た参拝客の人波が小刻みに揺れ、拝殿前に設置されたさい銭箱目指して押し寄せた。私の胸は高鳴り、体中に緊張感が漲つた。

例年、当聖一機動隊がこの雑踏警備に従事するのだが、私は昨年の十月に着隊したばかりの新隊員。今年の明治神宮雑踏警備は感慨深い出来事となつた。事前準備、事前訓練に汗を流し、

新年を上げる初太鼓が明治神宮の空に鳴り響くと同時に、満を持して来た参拝客の人波が小刻みに揺れ、拝殿前に設置されたさい銭箱目指して押し寄せた。私の胸は高鳴り、体中に緊張感が漲つた。

例年、当聖一機動隊がこの雑踏警備に従事するのだが、私は昨年の十月に着隊したばかりの新隊員。今年の明治神宮雑踏警備は感慨深い出来事となつた。事前準備、事前訓練に汗を流し、

「参賀にあつたの皆さん、あけましておめでとうございませう。快晴の新春の空の下、うさぎマークの広報車から爽やかな声が皇居前広場に響く。

一月二日、皇室と国民の親和を図る新春恒例皇居一般参賀を行なう。この日のため私達婦人警察官特別機動隊員は、皇居参賀警備のため招集された。婦人警察官の交通課に所属する婦人警察官である私も神田警察署所属で普段は街頭で交通整理や駐車取締りに従事している。しかし、この日私に与えられた使命は、皇室の方々のご身辺の安全と、参賀に伴なう混雑に

「参賀にあつたの皆さん、あけましておめでとうございませう。快晴の新春の空の下、うさぎマークの広報車から爽やかな声が皇居前広場に響く。

一月二日、皇室と国民の親和を図る新春恒例皇居一般参賀を行なう。この日のため私達婦人警察官特別機動隊員は、皇居参賀警備のため招集された。婦人警察官の交通課に所属する婦人警察官である私も神田警察署所属で普段は街頭で交通整理や駐車取締りに従事している。しかし、この日私に与えられた使命は、皇室の方々のご身辺の安全と、参賀に伴なう混雑に

「参賀にあつたの皆さん、あけましておめでとうございませう。快晴の新春の空の下、うさぎマークの広報車から爽やかな声が皇居前広場に響く。

一月二日、皇室と国民の親和を図る新春恒例皇居一般参賀を行なう。この日のため私達婦人警察官特別機動隊員は、皇居参賀警備のため招集された。婦人警察官の交通課に所属する婦人警察官である私も神田警察署所属で普段は街頭で交通整理や駐車取締りに従事している。しかし、この日私に与えられた使命は、皇室の方々のご身辺の安全と、参賀に伴なう混雑に

「参賀にあつたの皆さん、あけましておめでとうございませう。快晴の新春の空の下、うさぎマークの広報車から爽やかな声が皇居前広場に響く。

一月二日、皇室と国民の親和を図る新春恒例皇居一般参賀を行なう。この日のため私達婦人警察官特別機動隊員は、皇居参賀警備のため招集された。婦人警察官の交通課に所属する婦人警察官である私も神田警察署所属で普段は街頭で交通整理や駐車取締りに従事している。しかし、この日私に与えられた使命は、皇室の方々のご身辺の安全と、参賀に伴なう混雑に

「参賀にあつたの皆さん、あけましておめでとうございませう。快晴の新春の空の下、うさぎマークの広報車から爽やかな声が皇居前広場に響く。

一月二日、皇室と国民の親和を図る新春恒例皇居一般参賀を行なう。この日のため私達婦人警察官特別機動隊員は、皇居参賀警備のため招集された。婦人警察官の交通課に所属する婦人警察官である私も神田警察署所属で普段は街頭で交通整理や駐車取締りに従事している。しかし、この日私に与えられた使命は、皇室の方々のご身辺の安全と、参賀に伴なう混雑に

「参賀にあつたの皆さん、あけましておめでとうございませう。快晴の新春の空の下、うさぎマークの広報車から爽やかな声が皇居前広場に響く。

一月二日、皇室と国民の親和を図る新春恒例皇居一般参賀を行なう。この日のため私達婦人警察官特別機動隊員は、皇居参賀警備のため招集された。婦人警察官の交通課に所属する婦人警察官である私も神田警察署所属で普段は街頭で交通整理や駐車取締りに従事している。しかし、この日私に与えられた使命は、皇室の方々のご身辺の安全と、参賀に伴なう混雑に

「参賀にあつたの皆さん、あけましておめでとうございませう。快晴の新春の空の下、うさぎマークの広報車から爽やかな声が皇居前広場に響く。

一月二日、皇室と国民の親和を図る新春恒例皇居一般参賀を行なう。この日のため私達婦人警察官特別機動隊員は、皇居参賀警備のため招集された。婦人警察官の交通課に所属する婦人警察官である私も神田警察署所属で普段は街頭で交通整理や駐車取締りに従事している。しかし、この日私に与えられた使命は、皇室の方々のご身辺の安全と、参賀に伴なう混雑に

「参賀にあつたの皆さん、あけましておめでとうございませう。快晴の新春の空の下、うさぎマークの広報車から爽やかな声が皇居前広場に響く。

一月二日、皇室と国民の親和を図る新春恒例皇居一般参賀を行なう。この日のため私達婦人警察官特別機動隊員は、皇居参賀警備のため招集された。婦人警察官の交通課に所属する婦人警察官である私も神田警察署所属で普段は街頭で交通整理や駐車取締りに従事している。しかし、この日私に与えられた使命は、皇室の方々のご身辺の安全と、参賀に伴なう混雑に

「参賀にあつたの皆さん、あけましておめでとうございませう。快晴の新春の空の下、うさぎマークの広報車から爽やかな声が皇居前広場に響く。

一月二日、皇室と国民の親和を図る新春恒例皇居一般参賀を行なう。この日のため私達婦人警察官特別機動隊員は、皇居参賀警備のため招集された。婦人警察官の交通課に所属する婦人警察官である私も神田警察署所属で普段は街頭で交通整理や駐車取締りに従事している。しかし、この日私に与えられた使命は、皇室の方々のご身辺の安全と、参賀に伴なう混雑に



「参賀にあつたの皆さん、あけましておめでとうございませう。快晴の新春の空の下、うさぎマークの広報車から爽やかな声が皇居前広場に響く。

一月二日、皇室と国民の親和を図る新春恒例皇居一般参賀を行なう。この日のため私達婦人警察官特別機動隊員は、皇居参賀警備のため招集された。婦人警察官の交通課に所属する婦人警察官である私も神田警察署所属で普段は街頭で交通整理や駐車取締りに従事している。しかし、この日私に与えられた使命は、皇室の方々のご身辺の安全と、参賀に伴なう混雑に

6

祭り

警備



天満宮神幸祭

山口県警察機動隊

防府天満宮は菅原道真を祀り、延喜四年(九〇四年)の草創、我が国最古の天満宮で北野・大宰府と共に、日本三天神と称せられている。

社伝によれば延喜元年(九〇一年)菅原道真が筑紫へ配流される途中、防府の勝間浦に着岸し、粗末な漁人の古屋で一夜を明かした。その折り美しいこの地の風景に心を慰め、身は筑紫の地に隠れても、魂ははこの地に帰るといい残したと伝えられている。

十一月七日・八日に行われた神幸祭(裸坊祭)は関西二の大祭として有名で、満月の下で大祭司・小行司と称する神官が供奉する神輿は直径二メートルもある台車に乗り、第一・第二・第三に先導された五千余名の裸坊によって、菅原公上陸の地と伝えられる勝間浦の御旅所に運ばれ、神幸する儀式が盛大に挙行された。

この祭りに国道一号线は三万

二千台余の自動車が出しめき、三千数百台分の駐車場は満杯となり、西日本各地から参集してきた露店五百余店が所狭しと立ち並び、参拝者は五十余万人にふくれ上り、殊に神輿が出る午後六時頃には裸坊五千余名と参拝者で、境内や参道は身動きできなくなりました。

この祭りに伴う各種事件事故を防止するため、県本部保安部長が警備本部長として指揮をとり、地元防府警察署長は連隊長として次の三箇大隊八百余名を統轄指揮し、警備に万全を期した。

第一大隊は、境内等本祭りの

最重要警戒区域を担当し、精強な県機・管機を中心に配置し、機動隊長が陣頭指揮した。

第二大隊は、要点における交通整理を主任務として、本県二機を地元副署長が指揮した。特別大隊は、暴力団の抗争防止等の任務をもって、各署の腕まき刑事を主体に編成し暴力担当官が指揮した。

このほか、警備本部直轄の同道部隊、裸坊部隊等編成し、各隊効果的な連携をもって、それぞれ旺盛な士気をもってスマートな雑踏警備実施を展開し、本祭りに伴う事件事故を皆無に防圧し、祭りを無事終了させた。

唐津くんち祭

佐賀県警察機動隊

「エンヤ、エンヤ」のかけ声も勇ましく、十四台の曳山が街を練り歩く勇壮な祭り、唐津くんちは、約百六十年の伝統をもち、国の重要無形文化財に指定されている。

また、五番山「鯛」は、フランスのニース祭に、十番山「上杉謙信の兜」は、米国デイズニランドの日本祭りに出演する等、世界的にも有名な祭である。

この祭は、唐津神社の秋祭に、火消しがおみこしのお供をして行列の警護供養にあつていたものが起こり、文政二年に刀町から赤獅子が奉納され、それから、明治九年までの間に、十五ヶ町から曳山が奉納されて現在のような祭になった。

和紙を数枚張り重ね、麻布等を張り幾層もの漆で塗り上げ金銀を施して仕上げたもので、各町莫大な費用をつぎ込み、三年がかりで作られたと言われている。

くんちは例年十一月二日の宵山(前夜祭)から三日間行われ祭のクライマックスは、一日目の御旅所神幸で、笛・鐘・太鼓の三ツ噺子によって、豪快に引かれ、御旅所のある西の浜に引込まれ、十四台の曳山が勢揃いするが、重さ二六トンの曳山の轍は、砂浜にめり込み、各町の曳子が力をふりしぼって砂地に挑む様は、勇壮な景観である。

期間中の入出は二十五万人を数え、唐津署では機動隊、交通機動隊の応援を含め、百九十八名を動員して警備本部を設置、雑踏警備に当たった。

機動隊は、主に曳山の沿道における交通整理、雑踏警備に当たったが、事故もなく無事終了した。



鹿児島・おはら祭



香川・こんびら御十日



佐賀・唐津くんち

こんびら御十日

香川県警察機動隊

石松代参で全国的に知られ、また海の神様としても有名な香川県の金刀比羅宮の例大祭は、俗に「御十日」と呼ばれ、例年十月十日夕刻から十一日にかけて厳粛にかつ盛大に行われる。この祭は年に一度、神様(御神体)は崇徳天皇が御旅所の行宮におでましになり、諸種族々の神に賑わいをおみせし、山海の珍味をお供えて神人共にあるの境に浸るといふ祭だといわれている。

とくに、十日午後九時から行われる「渡御」は、奴を先頭に御輿の前後を約一キロにわたる約六百人が馬・駕籠など昔の大名行列をしのげる行列で整え、雅楽の吹奏の中を神事場まで一・五キロの行程を三〜四時間かけて進行する異色の祭礼である。

この大祭には全国各地から約十万人の参拝客が訪れ、相当の賑わいと混雑を呈するが、十日夜のみこしの渡御時には、その沿道両側が約二万人の参拝者により立錫の余地なく埋めつくされ、午後九時以降は歩行者の通行を禁止して、渡御の道筋と奉拝線を確保する。

今回もこの参拝者の安全を確保するため、所轄香川警察署は駅前派出所に警備本部を置き、県下各署の応援を得て、百八十名の部隊により雑踏警備に従事したが、我が機動隊はその中核部隊として、渡御の道中で最も混雑する沿道に配置され、勇男・善女の安全を守るため、秋分・夜空のもと汗だくの警備に奔走し、無事その任務を終了した。

おはら祭

鹿児島県警察機動隊

南国の太陽が輝く夏がすぎ、噴煙をあげる桜島が碧空に映る秋がくると、鹿児島市民が待ちに待ったおはら祭がやってくる。路面電車の走る鹿児島市のメインストリートに約一キロにわたる、市民総出の踊り衆が「小原節」「はんや節」の威勢のいいリズムに乗って、朝から夕方

まで踊り歩く。

桜島を背景に、澄みきった秋の空の下に色とりどりの浴衣・ハッピー姿が踊り舞う風景は、実に壮大である。

昭和二十四年に誕生したこの祭りは、戦後不況に喘いでいた市民に活力と景気を取り戻そうと、市制施行六十周年を記念し

て始まり、毎年、文化の日の十一月三日と前日の二日の二日間に行われてきた。今回は三十一回目を迎えた。あいにく曇天ではあったが、踊り連二百四団体、踊り衆一万余人が繰り出し、四十万人の見物客で賑わった。伝統的な浴衣「ハッピー」に浴衣の北海道限定「ミス流水」の三人娘等が踊り連に加わるなど、アイディアあ

ふれる装いが次々登場して、見物客の目を惹きました。また姉妹都市、オーストラリアのパーズ市長夫妻やタイ、グアムの親善使節団も参加して国際色豊かになり、おはら祭は今や九州最大の祭となっている。おはら祭が今日の盛況をみるに当たっては、鹿児島市民の団結心と祭りに対する情熱であるが、さらに警察もおはら祭の発展に少なからず寄与してきたと

自負している。特に管区機動隊は、発足以来毎年、雑踏警備の中核部隊として出動し、交通規制や見物客の整理、迷子の保護等の諸任務を全うしてきているが、今後も「祭りの和やかなムードをこわさない警備」をモットーに、日頃訓練で培った集団警備力と精神力で、市民の期待にこたえていきたい。

勝利をかちとるために

昇任試験合格者から一言

北海、道警察機動隊

希望、努力

そして克己

警部補 野倉栄悦

洋々たる将来に希望をふくらませ、日夜たゆまぬ努力を重ねている若い隊員。他に劣らぬ器量を持ちながらもまだ武運つたなく苦杯をなめて、その修練を重ね続ける逞しい先鋒隊員。いずれが次期昇任試験を目指す機動隊員としての勇姿である。「頑張れ」と声援を送らずにはいられない。

因らなず、過般実施された警部昇任試験合格した私ではあるが、且下勉強中の皆様の一助になれば幸いと思ひ紙面をお借りした。

昇任試験対策、それは期間の長短こそあれ苦しく重いつな毎日の繰り返してである。「合格」という目標を掲げた以上、後にひけない目の意地もあり、いかに緊張を維持し、その目標に向かつて一日一日を大切にすること

が重要であろう。「明日あり」と思ふ心のあだ候、夜半に風の吹かぬものは長丁場の受験対策、何を心の支えとして取組むか、人それぞれ心の構えがあらうと思ふ。この心構えなくして合格は望み得ないものではないだろうか。目標はあつてもいかにして取組むか、それをどう持続させるかが「心の支え」であると思ふ。

人間は弱いものであり、苦勞を避け楽な方へと走りがちであるが、目標がある以上、いかにしてその目標を実現するために、己自身の欲望をおさえ己れに打ち克つていった努力をすることが大切である。

4 度目にしての合格であつた私、願ひれば、煩悶の日々であつた。「必ずいつの日か」の希望を捨てきれずに自分なりに努力した結果であつた。これも理解のある上司、意気込める同僚、そして何よりも頼りになる同僚等に支えられ、励まされたお陰であり、ここで改めてお礼を申し上げる。

七つの信条

警部補 三上善三雄

私は凡人で、ごく当たり前のことしか言えない。修業中の立場で、他人に意見を述べたり指導するなど大層なことではございません。と自覚しております。経験と語るなど僥倖と思ひ、恥をしのんで私の信条的な項目的に述べ

てみたい。1. 「他人より能力がないと思ふ」自分に対するおごり、みえ、過去の栄光を捨てること。から出発し、人並みの欲望をもつからには人並み以上の努力を覚悟しなければならぬ。条件は皆同じだ、あきらめずに努力しよう。

2. 「まず己に克つべき」紙に裏表があるように、人にも二面性がある。例えば強気な自分と弱気な自分、努力家の自分と冷たい自分等、そんな二面性のある自分に克つべきで、最強の敵は己の中にある。

3. 「可能性への挑戦」自分を生かすことについて他人との差はない。人には欲があり、何ごとにつけても幸福を願ふ。人はいはいはずだ。「あいつはできて俺にはできない」とは思ふと考へ、チャレンジ精神を発揮すべきだ。

4. 「刺激を求めよ」常規現実には満足せず、自問自答すべきである。「人と話さず、笑わさず泣かず、怒らず」いわゆる無表情人間にならないことだ。引つぱらないゴムは伸びないことだ。叫べないボールは飛び上がらないことと同じように、自分を鍛えるための刺激を求めよべきである。

5. 「自分のつくものを大切に」これは、他人を粗末にしていうことではなく、自分の人生・健康・家庭・仲間・仕事を、暇・時間・財産・自らのつくものを甘やかさず、大切にすることを知らなければ、他人を大切にすることはできない。

6. 「全てが我が師」六法や例規、教科書を読むことばかりが勉強ではない。人との交わりや遊びの中にも自分の知らないことの多きを知り、反省させられる。身近に己を素直な心とどん欲と思ふる姿で臨むべきで、見るもの、聞くもの、全て我が師である。

7. 「今やらすして、いつやる」若し「よき健康なとき」に「さしたる暇もなほ」に「やらすして、将来以上上の条件がある」という保障はない。こんな条件のそろつた時やらずしていつやるか。いまを生かすべし。

8. 「自分の計画を立てる」この度の巡査部長試験で合格の末席を得たことは、上司、先輩の御協力の賜物と心から感謝しては、私の受験対策といふことだが、私の参考になると思ひ筆をこつた次第。

私の勉強の中心は、警察教科書、道警察例規集、小六法の三つを計画を立てて消化していき、特に予備試験突破のための例規集、小六法を何回も読んだ。新聞記事にも関心を持ち、警察に關連する記事についてはサブノートにまとめ勉強の参考にした。

また現在道警では、何に重点を向け、何を勉強しているのかを重目、通達を読み勉強の焦点を合わせていた。

以上のようなことを自分自身で消化して計画を立て、あせらず毎日消化できたことが、案外を勝つて一番の要因ではないかと思ふ。これで終つたのではない、これからが始まりだと自分なりに言い聞かせ、さらに限りなく前進を続けているところである。

巡査部長 三宅常雄
今回の巡査部長昇任試験に合格したが、これもひとえに上司同僚の皆様の御指導の賜物と深く感謝している。私の「受験対策」については

1. 警察教科書、六法、例規集を精読し、基本であるその要点的理解に努める。一冊の問題集を決めて精読し、答案の構成、柱をつかみ、その骨子を整理して簡潔明瞭な答案作りの練習をすること。常に物事を考える癖をつける。体調を保持するため、勉強の時間帯を考慮して十分な睡眠時に通過してしまふ。

2. 前回二次試験で落ちた経験から、毎日一ページでも参考書を見るようにしてきたが、本格的にはじめたのは試験前二ヶ月位からである。

勉強方法は執務要、時報、日刊警察等を科目別に分類整理して、同じ問題を何回も読み返して記憶する方法をとった。しかし、単に読むだけではなかなか理解しにくいので、重要項目、関連項目をレポートに書いて頭の中で内付けし、それを眺めて誤った箇所、不十分な点についてさらさら書いて理解し記憶した。それと、新聞・雑誌等をよく読み、時の重点については問題に留意した。

二次試験の答案作成にあつては、小隊幹部からなるべく多く項目づけて書いた方が書きやすく、また見やすい答案になると言われていたのでその点に注意して書いた。

私の勉強をはじめるときは、かつかけとなつたのは、いつかは通らなければならぬ道ならば、早いうちに自力で通過してしまふと考へたからである。自分はまだ若いとか、何歳位になつたら勉強しよう等と考へている人がいたら、それは間違ひである。どうせ、いつかはやらなければならないことなら、今からやってはどうか。どうか、今から一度は通らなければならぬ道ならば、記憶力の良い若いうちに通過してしまふ。

問をとること。以上の点に配慮して、あれもこれもと手をたぎらずに自分の決めた一つの計画、方法に添つてコツコツと継続した勉強をした。また昇任試験合格の一つの節目として、これからが始まりだと胸に刻み、更に研さん努力する決意である。

神奈川県警察 第二機動隊 星原 晃
若いうちに

長女日登美は五歳、山口女子大附幼稚園の年中組の人氣者で、なかなかのチャキチャキ娘である。長男樹樹は三歳、これは娘と違い立派な虫ハッチである。二人とも母乳で育ち、誕生以来軽い風邪をひく程度で、さほど手もかからず育つてくれたが、昨年の八月に肺炎をこじらせて一ヶ月の入院。その後水痘菌と麻疹をお互いがうつし合ひさんさんな月であつた。現在は泥水遊びに熱中し、妻を悩ます二人である。

そして、田中家の中心人物の奥さんである。この人、大学時代まで剣道をやっていてたいやうわりと体も強く頭張屋で気丈夫な人である。あの大変だが、八月も妊娠の身でありながら、弱音一つ吐かず乗り越えたりは、やはりその辺からきているものだろう。「母は強し」である。まあ考へてみれば、この人がいるから、わが田中家がいつているのであろう。

この中家のユニークな一面を紹介してみよう。最近、外で飲む事が少なくなつたのであるが、この奥さんなかなか賢く、私には面と向つて何も言わず、子供に色々知恵を授け、外出の準備をして私の所に来て「お父さん、また飲みに行くん。早く帰つて来てやいけんね。身体こわさんように飲み飲みなよ。色々お説教する。未だ恐ろしい娘である。妻の小言を聞くより何かしら胸をさすものがある。

これからは、この子供達がどういう道を通るかには分らないが、妻と共に静かに見守り、厳しさの中に優しくあるように心掛けていこうと思ふ。

山口県警察機動隊 子供の笑顔
田中雅彦 田中博幸

昭和五十三年四月、初任科を卒業してすぐに結婚し、翌年長男をもうけて現在親子三人の家庭の主である。住まいは公舎で、以前警視公舎だったのが広いが、かなり老朽化しており、雨の降る日は漏りに悩まされ、風の強い日はすき間の多くなったガラス戸が、ガタガタとうるさい。勤務を終えて、たまに書店に寄るくらいで、まっくに帰宅する。玄関を入ると子供がすつとも言えず、仕事の疲れもどこかへふっとなでして、それからほつくりテレビを見ている暇もない。子供が寝るまで相手をしてあげなければならない。

読者の広場



正月に思う

中村 是一

又お正月がきました。時の流れに節をつけて気持ちを新たにすゝる区切りのお正月、一年が何んと早く感じられる事か。正月の仕来り、過ごし方、考え方は歳々変ってきておりました。

その頃、或るものは廃れ、或るものは忘れられつつあるのが昨今の正月儀式ではないでしょうか。私、長崎は島原の寒村に育ちました。春夏秋冬こまやかにけじめをつけてゆく田舎の多彩な年中行事の中で、正月行事は最大のイベントでありました。

その頃の元旦の感激、松の内のお慶賀は、いつでもなかなか忘れられるものではありませんでした。しかし年と共に、それが段々うすれつつある事は否定できません。

正月という日本人にとって何んなのでしょう。正月の由来は、もとは農耕生活の重要な行事が行なわれた月で、毎年、春に耕作をはじめ秋に収穫、夏の農業生活の習慣をはじめ、収穫の終った季節の春のはじめの満月の夜を一年の区切とし、その日に年神を迎えて収穫を感謝すると古く、新しい年の豊作を祈り、占術・呪術の行事が行なわれたのが正月の始めだそうだとします。そして、正月は農耕と云う生産社会を背景に、農耕儀礼によって買われていました。それは今日の工業社会、情報社会に



古い仕来りたり、出来る限り大事にして後の文化に継承してもらいたい。と同時に、古い儀礼にこだわることなく、その時代に合った型にアレンジしていつ

子供に力強さを、夢を

柳本 武一

うさぎ 追いつし かの山
小ぶな つりし かの川

私たちの子どものころには、生活の場の中に、山があり、川があった。

それは、友だちとの毎日の遊び場であり、冒険の場であった。夜遅くまで遊ぶこともあって、よく父母から怒られたものである。また、滑ったり、転んだり、体中傷が絶えなかった。しかし、今生傷が絶えなくなった。しかし、想い出として、心の中にしまし込まれている。

それ比べて、今の子どもたちの生活は、どうなるであろう。私の目には、くすんでしまつて、まったくのびのびしたところが見られないような気がしてならない。広島市の社会教育委員、スポーツ審議会委員、公民館運営協議会委員など、社会教育関係で、公的の仕事を受けても、今の現在に私にとって、それらのことが最近、特に気になって仕方がないのである。

子どもたちの夢や冒険心をもつてする行動は、そのほとんどが、大人から危険であることと理由に禁止されているか、金網などの仕切りで、ポイントされてしまつていっているように思える。そして、その代わりには、子どもたちの心があるのではないでしようか。

でも日本のお正月があつても最大のお祭りの心です。私も古い型の日本人なのか。

「不安定である」という悩みが一番大きなものとなっている。(家庭教育学級参加者の意識調査による)

親や大人は、自分たちが、子どもに、このように育てて欲しいという理想像をもちながら、一方で、そのように育つ場を取りあげてしまつているともいえる。

確かに、現在は昔と違って、危険なことが多くなつた。この危険から子どもを守っていくことは、当然大人の責任であるといえる。しかし、その程度を、見極めていく必要があると思つたのである。コブが出来れば「コブから大きく育っていくのだ」とか、切り傷に対しては「少々おキズで泣くな、ツバをつけておけばおわる」とか、親も少しもあはれてることなく、メソメソする子どもを叱責したのが昔である。私たちは、そこで生きるための強さを学んで来たように思ふ。

大きな危険から子どもを守つてやらなければならぬが、少々の危険はむしろ、子どもの成長のために与えてやるくらいのものである。必要ではないから守るのではなく、いまでも子どもとして保護することはできない。子どもはいつか巣立っていくのである。巣立つためには、危険に對し、果敢と決断していく力が必要ではない。

私たちが、子どもたちをもっと大きく育て、子ども時代の生活にもっと夢をもたせていくことが必要である。そのためには、子どもをもう少し自分の手から離し、それを見守つてやること、

はき違えた自主性

樋浦 忠

警察庁が「少年非行総合対策委員会」を設置した。戦後最悪の記録を更新している少年非行は約十八万七千人にも達したという。この数字は前年より二万一千人前後の増で、戦後最高を三年連続で更新している。

非行の主役は荒れた中学生で、低年齢化しているのもさることながら、最近の特徴はこれが集団化、それが暴力団の予備軍となつていっていることを指摘する向きもある。

現に若頭とか相談役とか呼ぶ暴力団並みの階級が作られている。これはもう気狂いと言われても仕方がない。

一方でまた、校内暴力の収拾に官憲の手を借りねばならぬ学校も出てきている。

大いに賛歌されるようになってから、三十六年余りが過ぎた。それと並行して、現代では民主主義を支える柱の一つである『自主性』の礼讃でも走っているのも事実である。

しかし、この自主性が、流行は低俗化を招き、弊害をもたらすという一般的な原則にしたがふ、今日ではまことに低俗な形で理解され、実行される向きもあるように思われる。

性がない」と言われる。これはまづ「へそまがり」即ち自主性である。

忠告を受け入れない、我を張る異を立てる、自分が間違つていても押し通すというやり方を自主性と勘違いしている風潮がある。その極みであるのが、今問題となつている暴走族、校内暴力である。

自主性、個性にもいろいろある。個性が他から抑圧され、圧殺されるようなことがあつてはならないが、生かされて困るような個性はその人自身が何とか抑制しては行かない。

自主性も個性も手前勝手な口実に使われては行かない。

赤信号を無視して、傍若無人に夜の街を走り回るのは個性ではない。教師を殴ることも決して自主性ではない。自動車には運転のルールがあり、学生には学校生活のルールがある。必要を秩序を守り、必要を手順を尽きた後に自主性もあり、個性がある。

自主性と個性の尊重は民主主義維持の大きな柱である。しかし、暴れる若者よ、自分の自主性を社会の秩序を無視してまでふりまわせば、一方では君がその暴力の口実とし、さんざんその恩恵に浴びてきた民主主義の屋台骨を揺るがせているのだというこゝに自覚を欲し。

が家に居た頃の思い出話などを話して、夕方には、友達の仕事が終ると連絡をとりあい、こたつをこたつで夜がふけるまで学生の頃の事や近況について話した。両親や友人達と遠く離れてこゝうして久しぶりに会つての語りあひは、他愛もない日常の普通の話題であつても新鮮に感じられてついつい夜がふけた。

帰るたびに会う仲で中学生の頃からの友達のみと、地方の就職がむずかしいかを昨年何とか就職して地元で働いています。しかし、同期で東京に働きに行つては友達に比べたら給料は安いし、田舎では必需品になつてはいる自家用車には多額の金がかかるし、家に気持ちよくても入れたりすれば、自分の貯金や小遣いなどは微々たるものになつてしまつてしまつてしまつた。

また、家と職場の往復で休日なども若者が交流して遊ぶような所はほとんどなく、結局は家の仕事をしたりして、学生時代と変わらなかつたことが職場の違ひだけで、面白くもなかつたことないが、それと自分には生れ育つたこの地に骨を埋めたいとの意志は、こんなにも故郷を愛する友達がいることに少々驚く半面、それだけ故郷を愛することを羨ましく思ひ帰つてきました。

東京の日常生活は何かと便利で、冬でも雪はほとんど降らず、雷の人々の苦勞などシンからわかない人がたくさん住んでいます。しかし、私達地方出身者は厳しい冬の生活や田舎の不便さなどの苦勞が少しも分らないのですから、都会の便利さに慣れることなく、物を節約するとか、過度な距離ならば歩くとかいうことを行つて一度歩き直して生活して行くべきではないかと思ひます。

帰省して感じたこと

新潟・Y子

先日久しぶりに新潟の寒村に帰りました。たつた三日間で、私にとって今回の帰省は大変に有意義なものになりました。田舎の朝は早く、休日など好

きただけ寝ている私達とは違って、むしろ普通の日より早起きを始めて一日が始まります。家が自営の高、両親とも出勤しないので私が帰つた時は、昼間はもっぱらお互いの近況報告や私

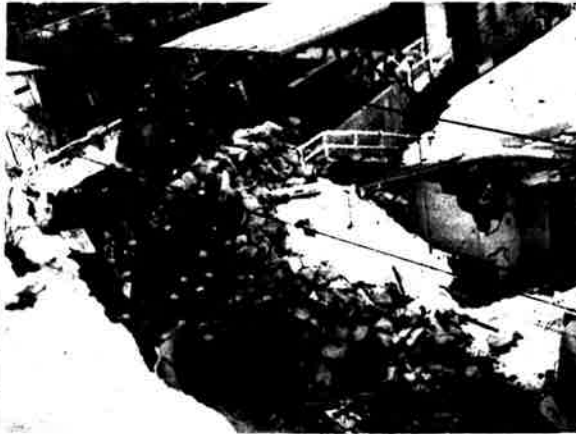
お知らせ

☆名古屋支部総会 二月十日(十七時より)名古屋市民公会堂にて
☆九州支部総会 三月十一日(十七時より)博多駅前住友生命ビルスカイ・ラベスにて。

- 機動隊の皆様
- 本年も宜しく
- 大内俊司
- 東鋼業(株)
- 株式会社三榮商会
- 奥村武正
- 村山文雄
- 高周波熱錬(株)
- 石原幸男
- 木村利秋
- 橋山和正
- 浅田弥三郎
- 東海レラー鋼業(株)
- 中京製線(株)
- 東海鋼材工業(株)
- 森 英二
- 広島シャイリング工業(株)
- 石田工業(株)
- 東海鋼業(株)
- 三星金属工業(株)
- (株)大川鉄工所
- (株)小山田工業所

あさまから十年目

長野県警が慰霊追悼式



機動隊が強行作戦を展開(47年2月)

検察が赤軍 元幹部の極刑を

あさま山荘事件から十年目で、忌まわしい出来事から十年目である。東京地検は連合赤軍の元幹部に死刑の求刑をした。四十七年二月十九日、山岳アジトを追われた赤軍幹部らが長野県・軽井沢の「あさま山荘」

大量殺人事件 も露呈

これに先立って四十六年末から四十七年二月にかけて、赤軍元幹部が脱走の恐れのある同志十二人に「総括」と称するリンチを加え、「アイビックで刺し処刑した大量殺人事件」も露呈された。

大衆の 真実の 声

市民を巻き添えにした非人道的な社会の憎しみを買い取って、当助ます会の発足も、こうした大衆のなかの真実の声を反映したものである。過激派に火災びんや石を浴びせられながらじっと耐えている機動隊員。無法に身命を賭す側が顧みられない、という不条理に憤りを禁じ得ない市民の集いである。

来る二月二十七日、長野県警察は軽井沢町・中央公民館で、あさま山荘事件十周年慰霊追悼式を行なう。当助ます会からも世話人が代表して出席、再び殉職者を出さないことを祈願する。

これに先立って四十六年末から四十七年二月にかけて、赤軍元幹部が脱走の恐れのある同志十二人に「総括」と称するリンチを加え、「アイビックで刺し処刑した大量殺人事件」も露呈された。

市民を巻き添えにした非人道的な社会の憎しみを買い取って、当助ます会の発足も、こうした大衆のなかの真実の声を反映したものである。過激派に火災びんや石を浴びせられながらじっと耐えている機動隊員。無法に身命を賭す側が顧みられない、という不条理に憤りを禁じ得ない市民の集いである。

来る二月二十七日、長野県警察は軽井沢町・中央公民館で、あさま山荘事件十周年慰霊追悼式を行なう。当助ます会からも世話人が代表して出席、再び殉職者を出さないことを祈願する。

来る二月二十七日、長野県警察は軽井沢町・中央公民館で、あさま山荘事件十周年慰霊追悼式を行なう。当助ます会からも世話人が代表して出席、再び殉職者を出さないことを祈願する。

来る二月二十七日、長野県警察は軽井沢町・中央公民館で、あさま山荘事件十周年慰霊追悼式を行なう。当助ます会からも世話人が代表して出席、再び殉職者を出さないことを祈願する。



発行所
社団法人 機動隊員等を助ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

に逃げ込み、管理人の妻を人質にして十日間も立てこもった。十日後の二十八日、警察側が強行作戦を決意して建物を取り壊し、放水、激しい銃撃戦、機動隊の突入、逮捕の様子、テレビの現場中継で一部始終が映し出され、国民の目がこれに釘付となった。

同じ赤軍派で、日航機をハイジャックして朝鮮民主主義人民共和国入りした旧幹部九人は、望郷の念にかられている、という。一方、クアラルンプール事件を起こした連合赤軍の元幹部は、パレスチナ・ゲリラから「サミラの兵士」と呼ばれる日本赤軍入りしたというが、その後のニュースはきかれない。

市民を巻き添えにした非人道的な社会の憎しみを買い取って、当助ます会の発足も、こうした大衆のなかの真実の声を反映したものである。過激派に火災びんや石を浴びせられながらじっと耐えている機動隊員。無法に身命を賭す側が顧みられない、という不条理に憤りを禁じ得ない市民の集いである。

来る二月二十七日、長野県警察は軽井沢町・中央公民館で、あさま山荘事件十周年慰霊追悼式を行なう。当助ます会からも世話人が代表して出席、再び殉職者を出さないことを祈願する。

世界のキドゥータイ

グレシャムの法則というのは、これと似たようなものではまるようである。たとえば「ヤバい」などということば、もとはやくさの隠語であったりしたが、今は単にだけた表現という感じで、日常会話に使われているようにある。悪語が良語を駆逐する例は、教え上げればいくつもあ

る。悪語というのは当たらないうかもしれないが、カタカナことばもたいへんな勢いで増えている。それやこれやで、折あるごとに日本語の乱れというかが問題視されることになる。しかし、何をもちょうとばの乱れとするかの判定は、実はなかなかむずかしい。第一に結論を下すまでに時間がかかる。当初は悪語と目

環境 生活感情 価値観の変化もたらす新しい概念の発生や、従来概念の修正といった要求から、ことばは絶えず変革されていくのである。このような観点からすると、カタカナことばの氾濫も、日本人の単

とばがある。このことば、英和辞書というところにまたコンプレックスを感ずる向きもあるが、逆に日本語の中にしかない概念で、外国に輸出され、そのまま使われていくことばが最近とみに増えているという。曰く「ネンコージョロツ」「シュウ

い概念らしくて、はなはだ意味がつかみにくい。勢い、「日本人のアイデンティティ」などとそのまま使わさるを得なくなるのである。輸入の概念とことばではものを語る

企業用語が多いのは、経済運営にについては今や世界のお手本と仰がれるようになった日本の立場の反映でもあるうか。

われらが「キドゥータイ」もまた、その日本で生まれた国際語の一つである。確かではないが、集団警備という思想自体、日本の警察の創始と聞き及んでおり、その任につく機動隊が国際語にならんとしていることばは、そのこと自体、何より雄弁にその卓越性、信頼性を物語っているようにである。

れられても、時とともに定着し、いつしか正しい日本語として市民権を得るといった生命力の強いことばもある。科学技術の進歩、それともなり

る舶来コンプレックスばかりではなく、かなりの部分で必然性がありそりである。一つの例として、アイデンティティ (Identity) などというこ

い概念らしくて、はなはだ意味がつかみにくい。勢い、「日本人のアイデンティティ」などとそのまま使わさるを得なくなるのである。輸入の概念とことばではものを語る

企業用語が多いのは、経済運営にについては今や世界のお手本と仰がれるようになった日本の立場の反映でもあるうか。

われらが「キドゥータイ」もまた、その日本で生まれた国際語の一つである。確かではないが、集団警備という思想自体、日本の警察の創始と聞き及んでおり、その任につく機動隊が国際語にならんとしていることばは、そのこと自体、何より雄弁にその卓越性、信頼性を物語っているようにである。

われらが「キドゥータイ」もまた、その日本で生まれた国際語の一つである。確かではないが、集団警備という思想自体、日本の警察の創始と聞き及んでおり、その任につく機動隊が国際語にならんとしていることばは、そのこと自体、何より雄弁にその卓越性、信頼性を物語っているようにである。

いくことを力強く語った。来賓として氏平秀夫・中部管区警察局長および山本茂・愛知県警察本部長が「現場には機動隊が先に投入される。このため有事に際して力を発揮できるべく訓練に怠りない。励ます会の深い理解と暖かい支援が、隊員の心の支えとなっていて」とそれぞれ挨拶、引き続き警察最前線の部隊として努力していくことを力強く語った。



年頭部隊出動訓練 整然と力強く



警視庁機動隊の出初め式

警視庁の出初め式ともいわれる年頭部隊出動訓練が、小雪のちらつく一月十六日午前七時から東京・神宮外苑の絵巻館で行なわれた。

立春を過ぎたとは言っても、まだ厳しい寒さが続く。一月十日名古屋支部総会が、名古屋市民公会堂で行われた。婦人警官を含めた機動隊員百数十名を迎え、合計三百五十人の熱気は瞬く間に広い会場をうめつくした。

名古屋支部総会

立春を過ぎたとは言っても、まだ厳しい寒さが続く。一月十日名古屋支部総会が、名古屋市民公会堂で行われた。婦人警官を含めた機動隊員百数十名を迎え、合計三百五十人の熱気は瞬く間に広い会場をうめつくした。

7

祭り

警備



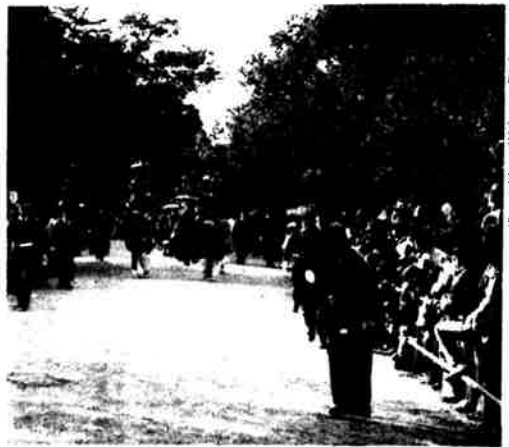
春日若宮おん祭

奈良県警察管区機動隊

年末十一月十七日を中心とする春日若宮おん祭は、大和の年中行事の最後を飾るにふさわしい豪華さで、時代行列・古典芸能の奉納などがあり、国の重要無形民俗文化財に指定され、大和の民間祭礼として全国的にも有名である。

この祭りは平安時代後期(一一三六年)、全国的な大規模に見舞われたことから、時の関白、藤原忠通が一族の氏神である春日大社に奉作祈願した際

式典を起源とする伝えられる。八百年を越える歴史をもつこの祭りであるが、昨年末の行事も奈良市内の目抜き通り(奈良県庁・大宮通り)三条通り(春日大社参道)に、好天も手伝って約十八万人の見物人の中を、キロメートル以上もある豪華な大時代行列が練り歩き、平安朝から鎌倉、室町、江戸、各時代の種々な風俗を展開するさまは、まことに時代絵巻さながらである。



当隊は、機動隊と共に所轄奈良警察署を支援し、市民が育ててきた伝統ある大祭の無事を誓って奔走した。

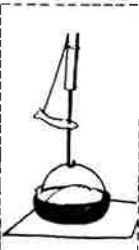
春日若宮おん祭

秩父夜祭り

埼玉県警察機動隊



秩父夜祭り



秩父夜祭りは毎年全県規模で出勤し、最も重要な要素である団子坂を中心とした雑踏整理に当たり、市民から深く感謝されている。

機動隊は毎年全県規模で出勤し、最も重要な要素である団子坂を中心とした雑踏整理に当たり、市民から深く感謝されている。

秩父夜祭りに伴って、秩父市から近郊から二十万人近くの観客が訪れる。その大部分が団子坂を中心とする屋台の曳き廻しコースに集中するため、警備は県下最大の重要な雑踏警備実施となる。

特に十一月三日は京都祇園祭りの山鉾、飛騨高山の屋台と共に、日本三大曳山に数えられている国重要文化財の六台の屋台笠鉾が、無形文化財「秩父屋台ばやし」の勇壮なおはやしを伴奏に街中を曳き廻される。

秩父夜祭りは秩父市作の森に鎮座している総社秩父神社の例大祭で、毎年十二月一日から六日までの五日間にわたって行われる。

奥秩父の山々に初雪が訪れ、色づいた紅葉を木枯らしが一葉二葉散らしてゆくころ、秩父盆地の街をぬって屋台はやしの木鉾の音が山肌にこだましてくる。秩父夜祭りは三百余年の歴史を持つ。山間の秩父地方は昔から養蚕が盛んで、寛永から安永年間にかけて年間四千匹から七千匹の絹が売られており、この絹の糸が対して、屋台の曳き廻しや屋台歌舞伎等を見せたことに始まると言われている。

秩父夜祭りに伴って、秩父市から近郊から二十万人近くの観客が訪れる。その大部分が団子坂を中心とする屋台の曳き廻しコースに集中するため、警備は県下最大の重要な雑踏警備実施となる。

秩父夜祭りに伴って、秩父市から近郊から二十万人近くの観客が訪れる。その大部分が団子坂を中心とする屋台の曳き廻しコースに集中するため、警備は県下最大の重要な雑踏警備実施となる。

秩父夜祭りに伴って、秩父市から近郊から二十万人近くの観客が訪れる。その大部分が団子坂を中心とする屋台の曳き廻しコースに集中するため、警備は県下最大の重要な雑踏警備実施となる。

秩父夜祭りに伴って、秩父市から近郊から二十万人近くの観客が訪れる。その大部分が団子坂を中心とする屋台の曳き廻しコースに集中するため、警備は県下最大の重要な雑踏警備実施となる。

秩父夜祭りに伴って、秩父市から近郊から二十万人近くの観客が訪れる。その大部分が団子坂を中心とする屋台の曳き廻しコースに集中するため、警備は県下最大の重要な雑踏警備実施となる。

秩父夜祭りに伴って、秩父市から近郊から二十万人近くの観客が訪れる。その大部分が団子坂を中心とする屋台の曳き廻しコースに集中するため、警備は県下最大の重要な雑踏警備実施となる。

我がふるさと

二カ月遅れの正月

正月もあつという間に過ぎた。立はこうした世間並みの休暇は望むべからず啓蟄も間近か、若者達は春休くもない。正月休みも返上しての年みを利用してのレジャープランを早くも立てている。

それは任務とはいえず、機動隊員に 正月風景を綴って貰った。

愛媛県出身

五中一小隊 武智 健

私は、夏目漱石の「坊ちゃん」の舞台となった愛媛県松山市から南へ約三十分、車で走ったところにある伊予市で生れ育った。ここは、伊予みかんの産地として有名で我が家が洩れず、みかん農家である。

そんな田舎で育ったものだから故郷の思い出はたくさんあり、その一つに正月がある。

正月と言えば、子供は独楽、羽子板で遊ぶのが普通であるが、私は寒がりなので火爐に入り、お節料理や菓子みかんを食べながら、村で一台しかなかったテレビを近所の人達と見るのが楽しんでいた。

他地方のように、獅子舞いや御輿を担ぐ等の祭りはないが、食べる事の楽しみは多くあり、その中で母親の里が、伊予市から歩いて約三十分、下灘駅から歩いて約一時間の山奥にあり、正月になると、こゝ母親の里でいろいろの食べ物を作る。その好物を食べたがために、母親の里へ連れて行ってくれとせがんだのである。

好物の中には黒砂糖、おはぎ、山菜漬(ぜんまい)があり、また酢味噌よく似たもので、みがかしというのがあり、これを手作りの焼き豆腐、こんにやくなどにつけて食べるので、甘くしかもピリとした舌ざわりで、大変おいしかった思い出がある。そんな思い出も、大阪に出て

石川県出身

五中一小隊 丸野文昭

私の郷里石川県は北陸地方の中央にあって、日本海側最大の半島県である。北陸の冬は厳しく、それ故に有名に雪まつりも数々ある。

加賀平野の水田地帯は加賀米の産地として北陸三穀の帯であり、また、日本一有名な一つ白山は、その名のとおり一年中雪でおおわれ、休火山の現在でも豊富な温泉を、県内各地にたたえている。

交通の便は、国鉄北陸本線と北陸自動車道である。今では北陸自動車道が各幹線道路と台流開通したので便利になったが、正月の帰省時ともなると故郷で正月を迎えようとする帰省客と温泉で年を越そうという家族連れやスキー客等と列車の乗客は二、三倍にふくらみ、北陸自動車道も渋滞、雪でも降るものなら運休、通行止めといった最悪のケースにもなりかねない。

日本海の荒波がたらす「能登の波の花」(荒波によつてできた泡が波風で運ばれ、岩に付着していかにも花が咲いたような様)や、兼六園の「雪つり」(樹木に支柱を立て、枝が折れないように補て、つり上げる作業の便りが届くともう正月だ。

鹿児島県出身

五中二小队 植村 学

私の育った九川市は、鹿児島県の西北部に位置し、川内平野の中央を流れる九州三番目の規模である川内川を中心に開けた

ところである。
ここ川内市でも、年の暮れから新年にかけてはどの地方とも変わりはない、大変に賑わう。私もよく兄や姉と一緒で両親に連れられて賑わう町へ行ってもらう。一年の内ではこの時くらいに忙しないだろう。

正月を迎えるのに、世間一般でやっていることと全く同じだが、まあ田舎ゆえに庭に新しい土をまき、すべてのものを美しくすることくぐらう。

年始のあいさつとして、すべての親せきが本家へ集まり新春を祝う。私の家は本家なので幼いころは、四十人からの親せきが集まったのだが最近ではその数も少なくなってきた。交流が少なくなったからだと思う。私の家でその兄弟が他界し、父が流が少なくなったからだと思う。私の家でその兄弟が他界し、父が流が少なくなったからだと思う。

三日がとも楽しみなものだった。親せきの子供達や近所の友達とよく独楽遊びや、たこ上戸をして遊ぶ楽しさ思い出した。最近では不思議とそういう光景も見なくなったが、やはり時代の流れだろうか。室内のゲームが盛んになった。室内のゲームが盛んになった。室内のゲームが盛んになった。

カルタとりや百人一首をよくやっていたが、最近ではいろいろなゲームが考案され、それらで楽しんでいる。正月も段々と変わっていくが、故郷の楽しかった正月は、いつまでもすばらしい思い出として私の記憶に残っている。

広島県出身
五中三小隊
松浦憲司

私の生れた所は、広島県の南部にある造船の街、呉市から車で十分位東へ行った所である。造船で汚れた海、カキの養殖場が隣り合っていて、後方をまたらかな山並みにかこまれた静かな田舎町である。

故郷で迎える正月は、どこにでもある様子がありふれた正月だが、毎家族で行っている行事もたいなものがある。除夜の鐘が鳴り終った頃、標高八百メートル位の「野呂山」へ登り、初日の出を拝む。この山は瀬戸内海国立公園の中にあり、ここから瀬戸内の島々が一望でき、晴れた日には四国山脈さえ見ることが出来る。

山頂の神社には初日の出を待つ人々であふれ、この時ばかりは全員が家族同然になり、火を囲み酒をよみかわし、話に花を咲かせる。やがて初日が東の空を朱に染めながら現われ、瞬間が私の新年の始まりである。初日の出を拝み終ると初詣。広島と言いつつ安芸の宮島である。また朝早いというのに道路は車で混み合い、一路宮島へ。

橋樑は人の洪水で、船に乗るまで約一時間待たなければならぬ。こんな混むのなら近所のお宮へ行けばいいのと思いが、やはり足を運ぶこととなる。どの船も定員オーバーで、いままにも海に落ちそう、船にへばりついて。

宮島さん、いわゆる厳島神社の御願主一人者で、アベックで行くときも車をやくそうであまり良くないそうだが、しかし私は今年三月に結婚するが、いずれば二人で一緒に行きたいと思っている。

島根県出身
五中四小隊
大村正博

松江から宍道湖畔に沿って出雲路を西に向かうと、宍道湖西南隅に私のふるさとである宍道町がある。宍道町は本社社員の宿場町として栄え、本陣もあつた宍道とは猪路の意味で、大田主命がいのししを追つた古事由来する。この町は山陰本線と木次線の乗換地で、国道山口線と県道広島線の交差する地点であり、人口約一万人。

ふるさとと正月と言え、私自身が思い出すのは餅つきだ。我家の餅つきは、毎年十二月二十九日か三十日頃に近くの親戚が我家に集まり、男が交代で杵をより上げるのだから、賑やか

というか見事というか、それは大変なものである。昼過ぎから餅つき始め、夕方になり餅つきも終わりになってくる。家の中は餅でいっぱいになり座るところもない位だ。餅つきが終わると、みんな夜まで飲む。

元旦になれば車に乗り、家族そろって母親の里にある出雲大社へ参詣する。出雲大社は縁結びの神として全国でも有名な神社で、社の起りは神話にある

大田主命の「国ゆすり」のあとで、大田主命がここにこられたことからはじまっている。又、この本殿はわが国で最古の神社建築の形式をもつ大社造りで、国定指定されているとのこと。参詣が終わると、近くの親戚へ新年の挨拶をし、お酒をくみ交わしてよま話をすることが多い。私のふるさとと正月である。やはり、正月は田舎がいいなあと、つくづく思い出している。社で、社の起りは神話にある

私の健康法と言っても特に変わった事をしてるわけではなく、機動隊に勤務している以上、私はいついかなる時に出勤があっても、最高のコンディションで仕事に対応できる健康状態にしておくことを信念としている。

規則正しい生活を
宮田琢志

健康法の第一はまず睡眠である。幸い、機動隊では仕事の性質上、日勤勤務であるので規則正しい生活ができています。

第二に重要な事は食事である。これも三食規則正しく食事ができ、言いくるとは、一線で勤務していたときは、朝食抜きで一日二食だった。一日の食事で一番重要なのは朝食抜きで、現に私は機動隊に入ってから五キロも体重が増えた。

第三に重要な事は運動である。積極的にスポーツに参加して、毎日必ず汗を出すことである。このことはストレス解消にもなり、健康の為に非常に良い。まだまだ太くさんあるが最後にもう一つ、それは禁煙である。私も以前タバコを吸っていたが、今はまったく吸わない。タバコ有害性はいろいろ言われており「百善あはして一利なし」

私の健康法と言っても特に変わった事をしてるわけではなく、機動隊に勤務している以上、私はいついかなる時に出勤があっても、最高のコンディションで仕事に対応できる健康状態にしておくことを信念としている。

健康法の第一はまず睡眠である。幸い、機動隊では仕事の性質上、日勤勤務であるので規則正しい生活ができています。

私の健康法

山口県警察機動隊

宮田琢志

冷水健康法

山村和典

私の健康法といっても、元来そういうことに関しては無頓着であり、皆さんに公表できるような大したものではない。非常に恥しい限りだが、この紙面を借りて、私が高校時代から続けている健康法を紹介しよう。それは風邪の予防のため、風呂あがりには水を浴から下の部分にかけることである。これは私の祖母から聞いた話で、科学的根拠は全くない。しかし、科学の甲子年の功、祖母はカラフト島という寒い所の生まれであり、流水に乗った白熊を見ながら幼少時代を過ごしたと言っている。冷水が強くたから、信憑性はあろうかと思う。

私は幼い時から体が弱く、風呂をよよくして苦しい。ある日、風呂をよよくして苦しい。ある日、風呂をよよくして苦しい。ある日、風呂をよよくして苦しい。

私は幼い時から体が弱く、風呂をよよくして苦しい。ある日、風呂をよよくして苦しい。ある日、風呂をよよくして苦しい。ある日、風呂をよよくして苦しい。

私は幼い時から体が弱く、風呂をよよくして苦しい。ある日、風呂をよよくして苦しい。ある日、風呂をよよくして苦しい。ある日、風呂をよよくして苦しい。

を際から下にかけない。そうしたら湯まめはしない。カズも風呂が治つてからでええから、それを習慣づけるようにしなさいと教えた。

確かに、そうすると足がホカホカして体が暖かくなるように湯まめをすることがないみたいだ。皆さんも、このカラフト式風邪予防法をだまされたいと思つて、お試しになってはいかかだろうか。

生活のリズムを正しく
富永保夫

私の健康法は第一に、健康に気を配る心構えを持つことである。自分自身を大切にすること、自分自身を大切にすること、自分自身を大切にすること。

第二は、生活のリズムを大切にすることである。夜ふかしや深酒等は生活のリズムを狂わせ、体に良くないことは誰でも承知している。私は、はたして誰か生活のリズムを狂わさないよう用心掛けている。だが、人間は弱いもので、応々にして生活のリズムを狂わすことがあり、私は自分に行き勝ち、生活管理に万全を期したい。

第三として、栄養と睡眠をとることである。スタミナをつけるためには、まず栄養を充分に取ることが活力の原点である。また、食事は三食規則正しく食べ、間食はなるべくしないように努めている。睡眠は体の疲れをいやすのに一番である。昔から早寝早起きは、三文の得と言われているが、私は睡眠時間を最低八時間はとるように努めている。

第四が、スポーツをすることである。人間誰にも共通する健康法は、スポーツだと思つて、私に強じんな体力、精神力を作るべく、今一生涯懸命に頑張っている。現在には警備訓練、術科等で体を鍛えているが、昔ほど病気が（風邪）はしなくなつたように思つた。

私は幼い時から体が弱く、風呂をよよくして苦しい。ある日、風呂をよよくして苦しい。ある日、風呂をよよくして苦しい。ある日、風呂をよよくして苦しい。



冬山遭難事故防止

山形県警機動隊

樹氷で有名な蔵王スキー場には、全国各地からシーズン中百万人のスキー客が訪れるが、列年遭難事故や負傷者が多く出ている。

これらスキー客の安全と事故防止のため、冬山シーズン中には、蔵王山頂警備隊が二名一組の二泊三日のバーターで、蔵冬の山岳警備を行なっている。蔵王山頂警備隊は、海拔一千三百五十メートルのバラダイスゲレンデ(市委備)三名の協力を得て、各種準備・事故の防止とスキー客の安全をはかっている。

派出所は鉄筋コンクリート二階建(一階地下)で、主な装備は、スノーモビル一台、広報拡声装置、スノーボード一台、そのほかロープ、輪かんじき、スキーなど、救急用品等も備えている。

昨年末十二月二十九日、取材へが樹氷原に墜落した事故では、負傷者の救出、情報収集現場保存、臨時ヘリポートの警備、検証など三日間にわたり厳冬の中で活躍した。

今年冬末年始は、関東近郊のスキー場が雪不足のため、連日三万人を越すスキー客が訪れ、蔵王スキー場はまさに樹氷の中の銀座と化し、隊員は文字通り東奔西走の活躍をしている。

自殺企図男を救助
島根県警機動隊

第一分隊は、去る十二月二十一日蔵末特別警戒隊取りのため、浜田署へ応援出動を命ぜられ、副隊長以下十二名で隊舎を後に同日午前十時頃、大田市五十猛町地内、通称逢浜海岸へさし

かかつたところ、国道九号線から約八十メートルの同海岸で、焼身自殺を企図したと思われる炎上中の軽四乗用車と、苦痛のあまり炎上車両から飛び出た衣服の燃えさかから飛んで海辺へ這って行く一人の男を発見した。副隊長の指示命令に従い、急勾配の崖を走り、臨場感あつた折りが全県下で強風浪注意報が発表されている高波の中、海中に飛び込んだため波に揉まれて沖へ流されんとしているところであった。

先着した大田部長以下四隊員は、自己の生命の危険を冒さず、制服着用のまま高波の中へ飛び込み、海岸から約七メートルの地点で無事救助し海岸へ引き揚げた。着用の外と岸を使用して保温等の救護措置を講じ、一命をとりとめることができた。

その間、国道九号線に上りかけて、当隊員による一連の機動本現場措置を見物していた一般通行人および近隣住民等からの拍手と賞賛の声を背にしたが、一路浜田へと車を走らせた。

この間、国道九号線に上りかけて、当隊員による一連の機動本現場措置を見物していた一般通行人および近隣住民等からの拍手と賞賛の声を背にしたが、一路浜田へと車を走らせた。

この間、国道九号線に上りかけて、当隊員による一連の機動本現場措置を見物していた一般通行人および近隣住民等からの拍手と賞賛の声を背にしたが、一路浜田へと車を走らせた。

この間、国道九号線に上りかけて、当隊員による一連の機動本現場措置を見物していた一般通行人および近隣住民等からの拍手と賞賛の声を背にしたが、一路浜田へと車を走らせた。

この間、国道九号線に上りかけて、当隊員による一連の機動本現場措置を見物していた一般通行人および近隣住民等からの拍手と賞賛の声を背にしたが、一路浜田へと車を走らせた。

この間、国道九号線に上りかけて、当隊員による一連の機動本現場措置を見物していた一般通行人および近隣住民等からの拍手と賞賛の声を背にしたが、一路浜田へと車を走らせた。

昨年暮れ「輝け新歳、年忘れ素人芸能合戦」の番組を企画した民放テレビ局から、県内各地で警備活動に精励した我が隊に、是非との強い出場依頼があつた。

大層に完結なら何処でも我先きに飛び出す隊員も、いささか遠慮がちであった。しかし、そこは文武両方に秀でた鬼の隊長、「機動隊は常に精進な部隊であると共に、柔軟な面も兼ね備える。芸の一つも出来ないでどうして警備活動の絶好の機会として努力せよ」との喝けと、早退、熱血ドラマ「親子の詩」の舞台稽古が蔵末警備の間隙をぬって開始された。

本番を迎えた十二月十三日、スタジオ内は県下各地からの出場十三チームが「芸能大賞」を目標して熱気がムンムンした。

出場順位最後とされた我が隊の出場、機動隊の誇るバンドグループ「ブルーインパルス」の軽快なB・G・Mに乗って、剣道三段の阿部隊長がエプロン姿に口紅もあてて演技を繰り広げ、一路浜田へと車を走らせた。

この間、国道九号線に上りかけて、当隊員による一連の機動本現場措置を見物していた一般通行人および近隣住民等からの拍手と賞賛の声を背にしたが、一路浜田へと車を走らせた。

この間、国道九号線に上りかけて、当隊員による一連の機動本現場措置を見物していた一般通行人および近隣住民等からの拍手と賞賛の声を背にしたが、一路浜田へと車を走らせた。

この間、国道九号線に上りかけて、当隊員による一連の機動本現場措置を見物していた一般通行人および近隣住民等からの拍手と賞賛の声を背にしたが、一路浜田へと車を走らせた。

この間、国道九号線に上りかけて、当隊員による一連の機動本現場措置を見物していた一般通行人および近隣住民等からの拍手と賞賛の声を背にしたが、一路浜田へと車を走らせた。

読者の広場



民族心理

滋岡長平

アングロサクソンやゲルマンは狩猟民族で、日本人は農耕民族であることはよく云われる話である。

元元前から十世紀頃までのヨーロッパに於ける民族移動を調べて見ると、余りにも煩瑣、余りにも複雑で、もてあそばせられ、遊牧民が農耕民を征服して行った歴史と云える。

我が国は、行き止まりの島であって、大陸から諸部族が数千年に亘って渡来して、一五〇〇年前に定着し、農耕を主たる生業として発展を遂げたものと云ふ。

従って粗っぽく云うと、我國の歴史は凡て米麦を生産する耕地と、夫に結び着いた農民を如何にして手に入れるかの戦い過ぎなかつたとも云える。

所が今回、実施を予定される土地税制の改正は譲渡取得税の緩和、都市の農業用地の課税緩和など、地価の抑止どころか上昇に拍車をかける時代逆行の改善である。

ゴルフ札法

佐々木一雄

私がその初老の紳士を見かけたのは、あるゴルフ場のロビーである。背が高く影が深く、物腰は品よく堂々として、一見日本人はなれなれ、ゴルフ場の顔であるらしい、ゴルフ場の従業員が、その男に深々と頭をさげて挨拶をした。

「誰だ、あの方は?」私に「ゴルフ場の会長さんです」と、ゴマサツレンの会長さんです。「ゴマサツレン?」

「その会長さんという男と初対面の挨拶を交した。」「今、お会いした、あの人、ゴマサツレンの会長さんとか伺いました。」「会長は両顔にシワを寄せ、感心したように目を輝かせた。

「アウト・コースのスタートで私はその会長という男と初対面の挨拶を交した。」「今、お会いした、あの人、ゴマサツレンの会長さんとか伺いました。」「会長は両顔にシワを寄せ、感心したように目を輝かせた。

「たかが遊びのビギナーが、見知らぬ他人様にシークスなんて失礼なことをしてはならぬ。」「今月のパロディ。」「山の彼方の空高く、辛い誰も見ていない。」

「それがいかにか滑稽なことである。」「それがいかにか滑稽なことである。」「それがいかにか滑稽なことである。」

「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」

「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」

「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」

「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」

「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」

「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」

「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」

「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」「今月の言葉。」

平和日本のカレー

斉藤良太

カレーライスとライスカレーは、どう違うか。前者が戦後派で後者は戦前派のいい方だとする

「ライスの頂を見よ」とある。なんのことはない。しかし、一月二十一日のカレー給食の日を巡ってのカレー論争は大々であった。全国栄養士協議会が設立二十周年を記念し、学校給食の存在意義を訴えたのが発端である。

「ライスカレーは、戦前派のいい方だとする。」「ライスカレーは、戦前派のいい方だとする。」「ライスカレーは、戦前派のいい方だとする。」

「ライスカレーは、戦前派のいい方だとする。」「ライスカレーは、戦前派のいい方だとする。」「ライスカレーは、戦前派のいい方だとする。」

「ライスカレーは、戦前派のいい方だとする。」「ライスカレーは、戦前派のいい方だとする。」「ライスカレーは、戦前派のいい方だとする。」

「ライスカレーは、戦前派のいい方だとする。」「ライスカレーは、戦前派のいい方だとする。」「ライスカレーは、戦前派のいい方だとする。」

- 集団警備の中核 頑張り機動隊
- 鈴木 實
- 大洋製鋼(株)
- 杉尾 栄俊
- 谷本 隆夫
- 大野興業(株)
- 高周波熱錬(株)
- 村上野百貨店
- 木村 政次
- 黒田 一
- 村上 益一
- 川淵 長一
- 丸定産業(株)
- 明鋼材(株)
- 田島鋼材(株)
- 伊勢湾海運(株)
- 中村 是一
- 三和鉄構建設(株)
- 高橋 重廣
- 飯田産業株式会社
- 金廣鋼材(株)
- 三福商事(株)



はげまし

高度文明国の大惨事

身命賭しての救助活動



日航機墜落事故で必死の救助作業

東京羽田沖に墜落し死者二十四人を出した日本航空DC八型機事故。無防備に近い防火設備のため死者三十三人という大火災を起したホテルニュージャパン。この二つの惨事は、高度文明国に危険が満ち溢れていることを教えてくれた。

息災を願う気持は誰もが同じことである。しかし、こうした災害が再び発生しないともいえない。突発事象での唯一の頼りは、機動隊員等の身命を賭した救助活動である。

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し金費の中には購読料を含む)

国民の一人として、また機動隊員等を励ます会の会員として、衷心から隊員に敬意を表したい。今度の惨事でも出動した警視庁の隊員達の生の声を聞いてみた。

第一機動隊

山本敏夫



快晴の二月九日午前八時五十分ごろ「羽田沖で飛行機の墜落事故発生。水難救助隊は全員出動準備」の隊内放送が流れた。

瞬間のうちに緊張感が身体中を走る。水難救助隊の資器材を再点検しているうちに、緊急出動の命令が出た。サイレンの音が響く。狭い車内で自分に「落ちつけ、落ちつけ」と言い聞かせている時にも、額に汗がにじんでくるのが分かった。

無線を持っていく小隊長が「沖合い約三百メートルの地点」と現場の位置を知らせてくる。水深のことが心配になり「どうか浮いていてくれ」と心の中で祈らなければならなかった。日頃の訓練成果を生かすのはこの時だと思い、全員の心は沈んでいった。

その夜、寮の自室に戻り、ジェット燃料とドロロによると思われる全身にできた発疹の手入をしながら、テレビのスイッチを入れる。どこも事故のニュースで、画面に写る私達の姿を見てみると、まるで一日中悪い夢を見ていたような気がした。

不幸にも亡くなられた方の遺族の姿を見ると、もしかたらず今日私の腕の中で、ぐったりとした乗客の家族かも知れない。胸が締めつけられる思いがした。しかし、私達が救助した乗客の中で生命を救った乗客が、災害もなく事故もない。私達の訓練が無駄なものに終わって欲しいと思っている。

待機車両に引きあげ、暖かいコーヒを口にしながら、仕事を成し遂げた充実感と、レスキュー隊員としての誇りを、その暖かさと共に全身で感じた。そして今、恐怖に満ちた生存者の顔、亡くなった乗客の姿を思い浮かべた。二度とあんなに惨事や起らないようにと願うと同時に、レスキュー隊員としての基本をしっかり身につけて、さらなるような突発事案に迅速、的確に対応できるように訓練を重ねる犠牲者一人でも多く救出できるように、技術の向上を図ってゆくことを改めて誓った。

無線を持っていく小隊長が「沖合い約三百メートルの地点」と現場の位置を知らせてくる。水深のことが心配になり「どうか浮いていてくれ」と心の中で祈らなければならなかった。日頃の訓練成果を生かすのはこの時だと思い、全員の心は沈んでいった。

その夜、寮の自室に戻り、ジェット燃料とドロロによると思われる全身にできた発疹の手入をしながら、テレビのスイッチを入れる。どこも事故のニュースで、画面に写る私達の姿を見てみると、まるで一日中悪い夢を見ていたような気がした。

不幸にも亡くなられた方の遺族の姿を見ると、もしかたらず今日私の腕の中で、ぐったりとした乗客の家族かも知れない。胸が締めつけられる思いがした。しかし、私達が救助した乗客の中で生命を救った乗客が、災害もなく事故もない。私達の訓練が無駄なものに終わって欲しいと思っている。

待機車両に引きあげ、暖かいコーヒを口にしながら、仕事を成し遂げた充実感と、レスキュー隊員としての誇りを、その暖かさと共に全身で感じた。そして今、恐怖に満ちた生存者の顔、亡くなった乗客の姿を思い浮かべた。二度とあんなに惨事や起らないようにと願うと同時に、レスキュー隊員としての基本をしっかり身につけて、さらなるような突発事案に迅速、的確に対応できるように訓練を重ねる犠牲者一人でも多く救出できるように、技術の向上を図ってゆくことを改めて誓った。

待機車両に引きあげ、暖かいコーヒを口にしながら、仕事を成し遂げた充実感と、レスキュー隊員としての誇りを、その暖かさと共に全身で感じた。そして今、恐怖に満ちた生存者の顔、亡くなった乗客の姿を思い浮かべた。二度とあんなに惨事や起らないようにと願うと同時に、レスキュー隊員としての基本をしっかり身につけて、さらなるような突発事案に迅速、的確に対応できるように訓練を重ねる犠牲者一人でも多く救出できるように、技術の向上を図ってゆくことを改めて誓った。

今月の言葉

きびしい冬からゆるゆると然し確かな足どりで陽春に移る。季節のエネルギー。歳月の流れの中の、小さい人間の存在。過ぎゆくものへの思慕。来るべきものへの期待。たまには静かに、自分で自分を、見極めて。

他人様の声が聞こえなくなってきた。周囲も遠慮して、本場の事を言わなくなる。又、それを見過ごさなくなり、真実が見えなくなる。ここに破

心の貧しさ

涙の陥穽が口を開けて待ち構えている事を知らねばならぬ。昨年のNHK大河ドラマの『おんな太閤記』、ねねが「お前様、私、倉の財は増す事が出来ようが、心の

みたいものだ。身の貧乏は怖い、心が貧しくなるのは怖ろしいことだ。何故なら、心の豊かさを保ち続けるには、真

ら歩んでいる人もあろうし、又、知りつつも目先の欲にうつつ、正知を失う人も随分いる。心の豊かさを保ち続けるには、真

第八回 九州支部総会

三月十一日、九州博多駅前住友生命ビル多駅前九州支部総会が開催された。機動隊員百名を招き、会員も計四百名の大盛況であった。

自見真清・九州支部代表世話人が「経済大国として平和な生活が享受できるのは機動隊員の労苦に負うところが大きい。同会をさらに拡大、支援を続けていく」と挨拶。

来賓代表として亀井晃・福岡県知事が「紳士の国である英国では、幼児時代から法秩序の維持が重要であり、そのために警察力が必要である」と教えた。九州管区警察局長と酒井敬夫・県警本部長がそれぞれ「機動隊員は任務達成の使命感に燃えている。日夜厳しい訓練に耐えているが、心の支えとなっているのが、本会と国民の支援である」と謝辞、合わせて今後より一層精進する決意のほどを語った。

鈴木實・副理事長の乾杯の音頭をきっかけに懇親会へ移り、最後に熱情溢れる嘉悦廉人・世話人による万歳三唱、また病をわしにかけてくれた森山治治・世話人の閉会挨拶で幕を閉じた。心の交流はいつまでも続く。

(第三面下段へ続く)

8

祭り

警備



成田山節分会

千葉県警察機動隊

成田山新勝寺は、遡ること約一千年前の西暦九四〇年、真言宗「弘法大師」の教えによって現在の場所に開山された。

日本の最初の「豆まき」は、西暦七〇六年(文武天皇の時代)に行われたといわれている。

この年、各地で疫病が流行し、多くの人が死亡したことから、これら疫病を振り払うため始めた行事ともいう。

節分会で厄除け等を祈願するわけだが、豆まきの風習は、一

般的には江戸時代に神社・仏閣等で行なわれたのが最初である。

新勝寺では、昭和四十三年に現在の大本堂が完成するまでは、夜間一回のみであったのを、完成後の翌四十四年から特別参加年男として、大相撲の力士と芸能人等を招待し、昼間にも二回実施することになり、現在に至っている。また同寺の節分会は「不動明王の慈悲の前に鬼はいない」との考えから、「鬼は外」は使わず、「福は内」と唱

える習わしである。

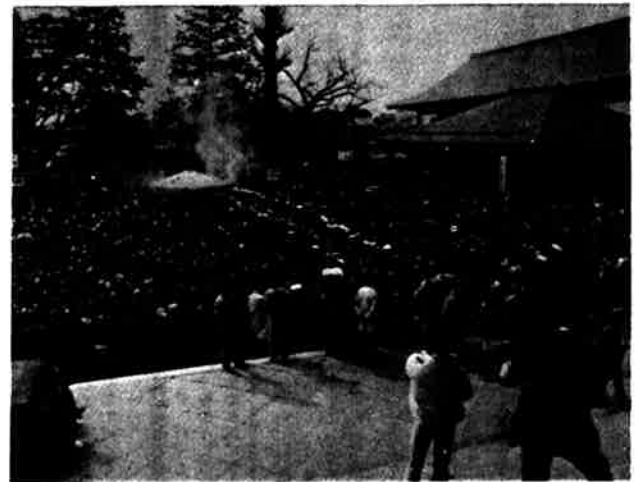
本年は、折からの好天に恵まれたことから昨年を上回る人出となったが、とくに新勝寺では、力士やNHK大河テレビドラマに出演中のタレント等が顔を揃えたことから、本堂正面の境内に、大勢の人が詰めかけ、三回の豆まきでは、延べ六万人の人出で賑わった。

新勝寺の節分会警備には、機動隊三箇中隊を動員し、節分会の警備方針として

- ① 豆まき時の雑踏による圧迫事故及び階段における転落事故の防止
- ② 千葉県警察の顔として親切的な警備に徹する
- ③ 雑踏に乗じて発生する各種犯罪の予防検挙

を基本に雑踏警備活動に従事した。なかでも豆まき時の圧迫事故を防止するため、境内における現場広報を積極的に実施するとともに、本堂前庭における部隊配置を正面及び右側、左側の三ブロックに区分し、各ブロック毎に部隊を三編隊形で投入し、事故防止の万全を期した。

年男の上堂・下堂時については、出発地である境内下の光線から仁王門、正面階段本堂までの間に全部隊を配置し、二線隊形による通路の確保を図り、転倒・圧迫事故防止にあたった結果、心配された雑踏事故等の発生もなく、無事節分会警備を終了した。



日本では一番早い春のたより、名護城跡の緋寒桜、毎年一月末から二月にかけて、名護湾を一望に収める名護城跡は、うす紅色の花でうめつくされる。

これが日本で最も早く咲く桜、緋寒桜である。暖かい南国の冬に鮮やかな色彩を添える鐘状の花、眼の前の花の間を小鳥が舞い、城跡の静かなたたずまいが沖繩の風情を強く印象づけてくれる。

この桜は昭和二年、当時の城村地区の青年団が名護城跡の拜所周辺に憩いの場として、四百本の緋寒桜を植えたのが始まりで、それから参道にも植えられ、十数年の月日が立つて数万本となり、やがてその桜がうす紅色の花弁をつけ咲きはじめた。

みごとな桜花並木参道を沖繩の北部中心市街地名護の名所として昭和三十八年当時の名護町観光協会が、名護桜まつり実行委員会を結成し、第一回名護桜まつりがスタートした。

名護桜まつり

沖繩県警察機動隊

種犯罪の予防検挙を基本に雑踏警備活動に従事した。なかでも豆まき時の圧迫事故を防止するため、境内における現場広報を積極的に実施するとともに、本堂前庭における部隊配置を正面及び右側、左側の三ブロックに区分し、各ブロック毎に部隊を三編隊形で投入し、事故防止の万全を期した。

年男の上堂・下堂時については、出発地である境内下の光線から仁王門、正面階段本堂までの間に全部隊を配置し、二線隊形による通路の確保を図り、転倒・圧迫事故防止にあたった結果、心配された雑踏事故等の発生もなく、無事節分会警備を終了した。

猛者達が汗流す

集団警備の中核部隊として機動隊員の責務は重い。平和な市民生活を守るため、全隊員一体となつて力を発揮すべく強化錬成に怠りない。

厳寒酷暑をものとせず、常日頃

からの訓練が要求されるが、今年も冬場の基礎体力づくりによってそれが取組んだ。

猛者ぞろいの隊員達の汗ばむ冬季訓練、その一端を垣間見よう。

千磨必死の稽古成果

警視庁機動隊



一月三十日、隊道場において警務部長、警備部長をはじめ例年になく多数の来賓を迎えて、昭和五十七年度武道道式演武大会が盛大に実施された。

来賓や観客の熱い視線に応えるかのように、好試合が次々と展開された。

柔道部では、まさかと思われた一三三分隊の星・池田二段がいつにない技の切れとスピードで四人を抜いて堂々の優勝。当の本人も「夢みたいやで」。

一位は三八抜きの一小隊重量級ホープ藤原三段。表賞の後「力も技のうち」と豪語。三位には一小隊佐原祐四段が入賞した。

なお、末吉茂隊員は入隊三年目にして、初の一勝を上げて皆の祝福を受けた。

剣道の部では、一瀬二段がのびのびと剣さばり、並みいる三段を次々と倒して六人抜き、あわや優勝かと思われたが二位。優勝は一小隊の若手小松四段。その剣の研はずはすばらしく息も乱さぬ七人抜き。

三位には、一小隊若手松尾四段が、三人を抜いて入賞した。



治安の戦士である機動隊員は、いずれも柔道と剣道の有段者揃いである。有事に備えて体力と気力の充実が欠かせない。

選抜された猛者連による警視庁警備部の武道始が二月十七日、東京中野の警察学校で実施された。

この日の機道隊対抗戦に備えて各人とも「必勝の信念は、千磨必死の訓練に生ずる」を座右の銘としての猛者古ぶり。その成果は、実力伯仲で熱戦を繰り広げて「優勝」の栄冠は柔道、剣道ともに第八機動隊の頭上に輝きやいた。

福井県警機動隊

福井県地方は例年一・二月中積雪と悪天候のため屋外での警備実地訓練が、その他体力訓練が思うようにならず、各隊員の訓練不足が懸念されていた。このため訓練不足を解消すると共に、なお一層の基礎体力向上を狙い、今年から水泳訓練を導入した。

果機動隊、長谷康彦小隊長以下三十三名の隊員は、水点下五度Cと今シーズンで最も低温であった一月廿八日、地域サービスの一環として団体へのプール無料開放を行っている福井市

大分県警機動隊

一月二十一日午後一時から警備部長出席のもと、機道隊恒例の武道始め式が開催された。年頭にあたり隊員の「気力、体力

福井県警機動隊

福井県地方は例年一・二月中積雪と悪天候のため屋外での警備実地訓練が、その他体力訓練が思うようにならず、各隊員の訓練不足が懸念されていた。このため訓練不足を解消すると共に、なお一層の基礎体力向上を狙い、今年から水泳訓練を導入した。

果機動隊、長谷康彦小隊長以下三十三名の隊員は、水点下五度Cと今シーズンで最も低温であった一月廿八日、地域サービスの一環として団体へのプール無料開放を行っている福井市

大分県警機動隊

一月二十一日午後一時から警備部長出席のもと、機道隊恒例の武道始め式が開催された。年頭にあたり隊員の「気力、体力

内の新田塚スイングスクールの室内プールを利用して水泳、水中駆け足等の訓練を実施した。四十五分間で約三千メートルの泳ぎ込み、水中での駆け足や柔道の足投げ、と水泳の抵抗の中でハードトレーニングであった。

隊員は初日でもあり、いつもの訓練とは趣が違って最初は戸迷いが多かったが、同スイングスクールコーチの指導や助言のもとに、熱心にスケジュールを消化した。

この訓練は全身の筋肉を使うため、隊員の基礎体力増強に相応の効果があり、今後の警備実施活動や武道の訓練のためにも有効であるとの認識をもち、週一回のペースで三月末まで行うと意欲的である。

水難救助班 初訓練

愛媛県警機動隊

愛媛県警機動隊で、初めての水難救助訓練が行われた。厳冬の月中旬、水難救助班員十一人は機動隊長に引率されて護国神社に参拝、安全祈願の神事を受け、松山市の三津浜港外港壁で本部長を始め機動隊全員の立ち合ひの下で初訓練を実施した。

班員は全員潜水服で整列、本部長が「水難救助班は、人命救助はもちろん交通・刑事の捜査面でも出番が増えて期待されている。一層訓練に励んで安全に配意し、任務を全うしてほしい」と訓示した。

次々と海中に飛び込んで訓練を開始。海軍軍医は訓練の船上と岸壁に集まった人の見守る冬の湾内で、潜水・浮上・海底捜索、さらに人形を使った溺者救助などの訓練を見事に演じて喝采を受け、訓練を無事に終えた。

また、当日は全隊出動でキッペンカーも活躍。副隊長の味加減による熱い始末が一同に配られ、水中の寒さを忘れ去るひと時を過ごすなど有意義な初訓練であった。

ハイジャック 訓練

熊本県警機動隊

大分県警機動隊は、一月二十九日夕方から三十日の早朝にかけて往復六十キロメートルの夜間歩行訓練を実施した。隊員二十六名は二十九日午後五時三十分、隊長以下救助班の激励を背に、由布山・芦川ダム・旧杉市の三コースに分かれて寒波の中、目的地を目指して出発した。

踏破予定時間は十五時間、一時間平均四キロを歩くペースだが、山あり谷ありと起伏に富み、山間部は零下六度と困難を極めるコースである。

難コースを 夜間踏破

大分県警機動隊

大分県警機動隊は、一月二十九日夕方から三十日の早朝にかけて往復六十キロメートルの夜間歩行訓練を実施した。隊員二十六名は二十九日午後五時三十分、隊長以下救助班の激励を背に、由布山・芦川ダム・旧杉市の三コースに分かれて寒波の中、目的地を目指して出発した。

踏破予定時間は十五時間、一時間平均四キロを歩くペースだが、山あり谷ありと起伏に富み、山間部は零下六度と困難を極めるコースである。

二人で楽しむ テニス

警視庁家族

「羽田発熊本行きのジャンボ旅客機が二人組の男にハイジャックされた」——ものものしい警備の熊本空港。二月十五日、本物の全日空ジャンボ機を使って本県警のハイジャック訓練である。

二人で楽しむ テニス (七機 森田 一成の妻) 森田 智恵子



私と主人との出会い、私の友達と主人の友達とが知りあいて、その人たちの紹介によりつ

広谷千城・県警本部長の指揮のもと約四百人の県警機動隊員や空港保安委員が参加して、本番さながらの訓練が行なわれた。名古屋上空に差しかけたジャンボ機からハイジャック信号が入った。この想定で始められ、空港では無線を使って犯人への説得、空港周辺の交通規制訓練などが展開された。

着陸から二十五分後、犯人が要求した一億円の現金を刑事が航空会社職員になりすまして運んだ際、トラップに出てきた「犯人」を逮捕して幕がおりた。なお定期便の飛行機を使ってのハイジャック訓練は新しい試みで、九州管区警察局長島岡公安部長や佐賀、大分、宮崎、鹿児島、沖縄県警からも視察に来て参考にしていった。

花の新婿

警視庁家族

「花の新婿」——ものものしい警備の熊本空港。二月十五日、本物の全日空ジャンボ機を使って本県警のハイジャック訓練である。

二人で楽しむ テニス (七機 森田 一成の妻) 森田 智恵子



私と主人との出会い、私の友達と主人の友達とが知りあいて、その人たちの紹介によりつ

て会った時の印象とは全然ちがって、さっぱりしていて、一緒にいてとても楽しい人でした。交際中は休みが一緒にこならなしかけるという事もありませんでしたが、仕事が終わってからの話したり、休日が同じになったときなどは同じになりました。楽しい思い出がたくさんあります。

私も、以前友人とテニススクールに通っていたらしく自分の腕を自慢していました。私の方は中学から始めて現在まで、年のキャリアがあります。とうとう主人と相手になるうはずがありません。案の定、私の方が数段上です。

長崎皿うどん

宮崎洋美

たれ今、新婚四月目。私達の出会いは、小・中学校の同級生です。まていの方ではなかつたので、その当時は、全く意識の中にありませんでした。一年半ぐらいたった時に会ったのがきっかけで、二人とも、もう若くはないし、そろそろ結婚してもいいころかなあと思っていた矢先のこと、全くよい機会の出会いだったのです。

結婚までは、千葉と長崎、離れ離れで手紙と電話だけで、物足りない結婚時代でした。彼は仕事のことばかりがはつきりするまでには……といって、全く聞き入れてくれませんでした。強気な私もその時だけ、素直に従う以外ありませんでした。

彼は過去のことは記憶にうすいみえです。昔のことをいつまでも懐かしがっているよりも、常に先のことを見つめていこうという精神のようです。

「花の新婿」——ものものしい警備の熊本空港。二月十五日、本物の全日空ジャンボ機を使って本県警のハイジャック訓練である。

「ガチャ」とドアの閉まる音の何とむなしいこと、寂しそうな主人の後姿が浮かび、私も一日中、罪悪感のようなものを感ぜて、いつまでも、身も心も健康であり続けてほしい。そして、今の優しさを忘れないでいてね。

午前十一時十分、空港へ滑走路先端部に到着。直ちにポートを組み立て、沖合い三百メートルの墜落地点に向かった。

第七機動隊

佐々木京二

二月九日、一月にしては日ざしの強い朝やが朝であった。久しぶりの週休、独身寮の自室でひびりとつろむながらラビのスイッチを入れるなど、「羽田沖に日機墜落」のニュース速報が目に入った。

「なに？なに？」と無意識のうちにかんてしまった。昨日は午前四時に「ホテル・ニュージャンパン」火災に緊急出動し、消火活動で流れ落ちる水とガラスの破片に身の危険を感じながら救助活動を行い、地獄絵を見らるような災害は二度と起こしてはならないと胸深く感じていた矢先のことである。

間もなく「水難救助隊員は直ちに出勤せよ」の案内一斉放送で昨日のホテル火災救助活動で疲れている体になら打つようにいち早く隊へ向かった。

「花の新婿」——ものものしい警備の熊本空港。二月十五日、本物の全日空ジャンボ機を使って本県警のハイジャック訓練である。

午前十一時十分、空港へ滑走路先端部に到着。直ちにポートを組み立て、沖合い三百メートルの墜落地点に向かった。

現場は水深約五十センチで、ポートから降りると、ドロドロが足首の上まであり、海面は事故機から流出した油で黒光りし、悪臭が鼻をツンツン。

笑顔を迎えることと決心したの

主人が宿直のとき、一人で送る夜の淋しさ

笑顔を迎えることと決心したの。主人が宿直のとき、一人で送る夜の淋しさ。いつまでも、身も心も健康であり続けてほしい。そして、今の優しさを忘れないでいてね。

午前十一時十分、空港へ滑走路先端部に到着。直ちにポートを組み立て、沖合い三百メートルの墜落地点に向かった。

「花の新婿」——ものものしい警備の熊本空港。二月十五日、本物の全日空ジャンボ機を使って本県警のハイジャック訓練である。



読者の広場

随想

高橋重廣

海外から帰国した日本人のすべてが、口を揃えて、日本を平和で素晴らしい国であると賞賛する。四六時中混雑に気を配り、且つ身の安全に注意してきたのだから、帰国してホッと一息つくのも無理からぬことである。

事実、重要犯人が一夜にして忽然と刑務所から消えたり、華々しく喧伝された政治的なスキヤンダルが、何時の間にか、抹み消されてしまつたりすること

が日常茶飯事となつた諸外国に較べて、なんと日本は、法秩序が美事に維持され、国民は平和な日々を享受していることであらうか。

現在は過去の、未来は現在の延長線上にあるものとすれば、この稀有の平和は、社会秩序が完璧に保たれているからであつて、それは伝統を引継ぎ、黙々と血と汗と泥の努力を地道に続けている機動隊の諸君の努力の賜物であると言つても決して過言ではあるまい。

便宜上、社会を善と悪の二つの社会に區別して考えるならば、機動隊は悪の社会に対する防波堤となつていて、もしも機動隊

が無力となつてこの防波堤が破られたり、自壊したりすると暴力和不正によつて、平和な国民生活は一挙に汚染され、国民の不幸は計り知り得ないものとなる。

法秩序の根幹となつていよう力、それこそ平和時にあつては警察力であり、その中心となつていのが機動隊である。

機動隊員は、この世を花にする為、任務に向つて日夜精励努力しており、一旦事ある時は一身を犠牲にし、身を挺してその任にあたつていよう。

平和な国民生活はこのような献身の働きの支えられているが、任務遂行中に死亡し、或いは不具となつた若し機動隊員もいるといふことには思いをいせば、何人といへども感謝の心が湧き起つてこない人はいないと思ふ。

三月十一日に、九州に於ける機動隊員等を励ます会が催された。私共は、この機会に改めて感謝の念をあたため、更に一層機動隊員等を励ます会の仲長をはかりたいと願つものである。

カラオケ公害の対策

岩崎友明

欧米婦りの人の話では、夜を歩いていると酒場できれいな合唱を聞くことがあるという。日本のうたごえ酒場のように、中途半端な司会者がわざとらしくリードするのではなく、歌好きの客たちがごく自然にピアノの回りに集まって声を合わせている。気の置けない、明るい、それでいてしっとりとした雰囲気、古い民謡など曲によつては素晴らしい、ハーモニーを聞かせてくれる。

歌の好きなことにかかはらず、日本人もひげをとらない。何人か集まって一杯入れば、すぐ歌が飛び出す。マイクのない、この頃ではワンセット五万円位で家庭用のカラオケがある。自動車をカストゥレオつきだから、練習にも事欠かない。従つて技術水準も高くなつた。

しかし、欧米の人たちが明るく合唱して楽しんでいるのに、日本のカラオケが殺人事件まで起こさなければならぬ原因は何なのだろうか。

基本的には、カラオケが個人プレイであり、また、その楽しみが個人にあるのでなく、歌う一人の人にある……というところである。マイクを使い、大きな音で強制的に人に聞かせるのがカラオケの本質なのである。

つまり聞き手は犠牲者である。しかし犠牲者も黙つてはいない。大勢の人が集まる結婚式や歓送迎会などは、そのため歌う人が孤立する場面がある。

酒が入り、宴をたぐやるとなる。歌などという誰しも聞かない。司会者が一生懸命に歌い手に会場内の注意を向けようとすると、徒勞に終わることが多い。

私は心やさしい人物であるから、宴会の席で、下手くそでも頭張つて歌っている人を見ると、どうも自分勝手に酒を飲んだり、周囲の人と談笑したりするのにながとがしてしまふ。

勢いがとまらぬ歌でも神妙に耳を傾け、まばらな拍手の中で、精いっぱい手をたたいてあげないと、どうも落ち着かない。



数(学)の遊び

赤木 郷八郎

(その二)

いつも、私の専門外のことを嫌な顔ひつせずに御指導いただいた先輩からいただいた数字をいまして、そろそろおしまひたい。私は判らなくて、よみ方を教えていただきました。

八万三千八百九十三四九一八二四五三三二四六四四四四

(注) 十番目の九が七になつていふものもあります。信州碓氷峠で詠んだといふよみ人知らずの歌のことです。(笑いとユーモア 織田正吉著より)

(その三)

この数は千になると判ると、小学校二年生でもすぐ解答をみつけます。世の中のことそんなものかと感じます。

(その四)

前問と同種のもので、私は瀬戸物屋です。お客が来て五百円のドンプリを買つて、千円札をくれました。またまた五百円のおつりがなかつたので、お客からもらった千円札を隣の菓子屋へ持って行き、五百円札二枚ととりかえ、お客に五百円のおつりを渡しました。お客は帰りました。

しばらくすると隣の菓子屋が、「お前はひで野郎だ。これは、せいでいいか」といって、さきに私がもつて行った千円札を千円札を持って来て、ほん物の千円札を私からとって帰りました。

私ドンプリ屋は何田損したか。ドンプリは五百円と計算して下さる。

(その五)

最後に、大学の入学試験問題の中でも難しいといふものを。



高きメートルの「いきま黒べい」がある。カタツムリは夜が明けてから日が暮れるまでに二メートルのぼるが、夜に成るとおむね居眠りして夜が明けたらまた二メートルぼる。また夜が明けたらまた二メートルぼる。また夜が明けたらまた二メートルぼる。また夜が明けたらまた二メートルぼる。

(その四)

前問と同種のもので、私は瀬戸物屋です。お客が来て五百円のドンプリを買つて、千円札をくれました。またまた五百円のおつりがなかつたので、お客からもらった千円札を隣の菓子屋へ持って行き、五百円札二枚ととりかえ、お客に五百円のおつりを渡しました。お客は帰りました。

しばらくすると隣の菓子屋が、「お前はひで野郎だ。これは、せいでいいか」といって、さきに私がもつて行った千円札を千円札を持って来て、ほん物の千円札を私からとって帰りました。

私ドンプリ屋は何田損したか。ドンプリは五百円と計算して下さる。

(その五)

最後に、大学の入学試験問題の中でも難しいといふものを。

山荘事件 十周年 記念行事

鈴木副理長が献花

長野県警主催によるあさま山荘事件十周年記念行事が二月十七日、軽井沢町で行なわれた。入賞救出作戦中に殉職された警察視察内田尚孝署長、故郷見繁光署長正の遺徳を偲び、治安維持への決意を新たにするべく開かれたのである。

遺族、警察庁関係者、警察視察内田尚孝署長、吉村県知事など関係者二百十名とともに、当務委員会からも鈴木副理事長等が代表して出席、霊前に菊花を捧げ、事件当時を偲んで挨拶した。

十年前の貴重な体験と教訓を絶対に風化させるにはならないとの決意が関係者から披露され、現在おなりハピリ中の警察視察員紹介も進められた。

お知らせ

空清水建設株式会社より当務委員会に、三月十日付で五十万円、又匿名氏より三月十日付で五十万円のご寄付がありました。厚く御礼申し上げるとともに、会の運営に有効に使わせて頂きます。

- 燃える若き生命 創れ明日の歴史
- サーゴー引越
- 株式会社 周東商会
- (学) 嘉悦学園
- 岡部 (株)
- 光洋商事 (株)
- 次郎丸嘉介
- 高周波熱錬 (株)
- 市原澤次
- 西戸栄一
- 高島浩一
- 加納鉄鋼 (株)
- 松田鉄鋼 (株)
- 三菱商事 (株) 名古屋支店
- 大和重工 (株)
- 堀口海運 (株)
- 豊鋼材工業 (株)
- 藤田金属 (株)
- 近藤与助工業 (株)
- 仙台運送 (株)
- 北海鋼機 (株)



発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都中央区八重洲2-4-14
 〒104 ミツヤビル3階
 発行人 鈴木 實
 TEL 03(272)2050
 購読料 年間1200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

集会警備とゲリラ対策

万全の厳戒体制

強乱のなかで治安維持に活動するのが機動隊である。大規模なデモや集会で暴れまわる過激派、その鎮圧に備えての警備訓練や出動訓練は、日頃から鋭く行われている。

成田空港二期工事反対派の全国集會に、今年も空港本隊、関東警備隊、防衛隊の警備に、千葉県警察から四千人、県外警察から五千五百人、計九千五百人の機動隊員が出動した。

成田空港二期工事反対派の全国集會に、今年も空港本隊、関東警備隊、防衛隊の警備に、千葉県警察から四千人、県外警察から五千五百人、計九千五百人の機動隊員が出動した。

成田空港二期工事反対派の全国集會に、今年も空港本隊、関東警備隊、防衛隊の警備に、千葉県警察から四千人、県外警察から五千五百人、計九千五百人の機動隊員が出動した。



九千五百人が出動
 重要警備とゲリラ対策の第一

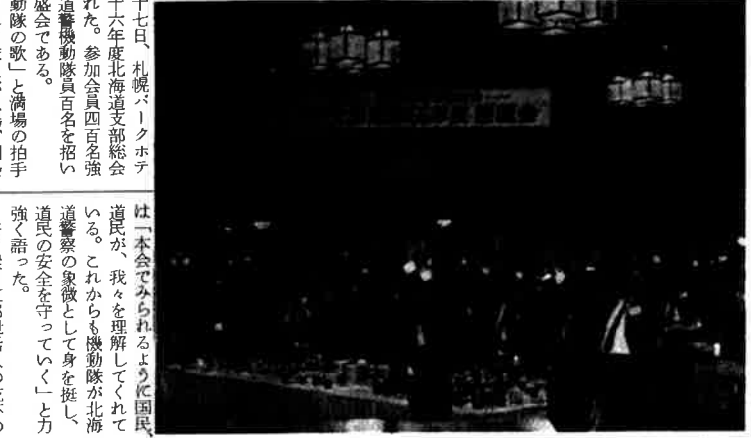
線身を擬するのが機動隊員である。千葉県警は県警機動隊四千八、県外機動隊および管区機動隊の応援で計九千五百人の機動隊員を動員、厳重な警備体制を敷いた。

空港反対派の参加者たちは集会后、空港南側周辺で約四キロのコースをデモ行進。古タイヤを燃やし、火花を打上げたり、枯れ草に火をつけるなど氣勢をあげた。

今年初のゲリラ攻撃
 また、同日午後六時頃、空港近くの千葉県山武郡芝山町岩山のプレハブ作業小屋(無人)にヘルメット姿の十数人の集団が火炎瓶を投げつけ、小屋と燃料ドリーパー二台が全焼したが、これは過激派によるゲリラ行動とみられる。

機動隊を軸とする千葉県警、それ以北海道、九州、四国を除く全国からの応援部隊で、機先を制した警備体制の結果、大きな混乱はなかったものの、この集會を利用した過激ゲリラ集団に対する善良市民の怒りの声は高まっている。

第5回 北海道支部総会



三月十七日、札幌パークホテルで五十六年度北海道支部総会が開かれた。参加会員四百名強、それに道警機動隊員百名を招いての大盛況である。

今月の言葉

父親としての意識

最近わが国の家庭における父親の弱さが、指摘されることが多くなってきた。このことは思春期の子供をもつ家庭内や文学校内の暴力行為のすさまじさによって、一般社会の注目をあびる様になってきた事であるが、その事を率直に責める人々の多くなってきた事もよくふき事である。

しかし反面、強い父親たれという事が違った認識の方向へと曲げられてゆくような危険性もみうけられる。ある新聞に、家庭内で暴力をふるう思春期の息子の暴力に耐えかねて、息子を殺してしまつた父親の記事が出ていた。そして評論家の先生は家庭内における父親の父親としての父親性の弱さを論評していた。

この指摘する所は間違っていないだろうが、最愛のわが子を殺さざるを得ないところ迄追い詰められた父親の心境や、そこまで親を追い詰めたければならぬ思春期の息子の心情的なものを考えてみると、父親は毅然として息子に對して「お父さんと一般に考えられている父親性よ

りほかに次元を異にするものである、というきちんとした認識が必要であると感じる。

子供の家族関係の否定がこの様なレベルまでできてしまうと、それは両親にとつては耐えがたいものであつたらうし、この解決がいかに困難な事であるか、当面しない人には理解出来ない事であると思ふ。

又最近の中学校等における学校内での暴力事件の増加は、新聞にも大きく取り上げられていふる。ことに生徒達が先生に對してふるう暴力がますます、ために学校に出たがらない先生さへ出る始末であるという。ここでも又学校内における父親性の弱さが問題にされる。

そして学校や家庭においては父親性の弱さを反省し、なんとかしてはと考える人は、戦後の教育の甘さ

を強く批判する事になる。戦後日本人が教えられた「民主主義」は権力の否定といふことで、それまで日本の家庭内の権力者として威張っていた父親の価値は急落してしまつた。

育児書を本屋で買えば、父親が厳しく、権威的になる事は害ばかりと説き、子供に對しては、理解ある父として友達の子供に接しなさいとすすめ、戦後三十年代の傾向が効活用しようとする動きである。父の復権を強調する人達は戦後の日本の「民主的教育」を「行きすぎ」「自由のはき違え」又は「失敗と考へ、昔の父権をよしとするだけでなく、父親の強さ結びつくと同時に、父親の復活にまで短絡ジャンプさせる動きも出て来ており、軍備費の拡大、憲法の改正、徴兵制の復活などが最近になってとくに声高

く論議される様になって来た。

徴兵制を考へる人々の気持の中には端的に「これを、これに依つて現代の若者たちを「きたえたい」という教育面からのつよい願望が強くある」と思ふ。しかしこの漠然とした一般の人々の期待に便せ、徴兵制の復活を囀るうとする動きも確かに見うけられる。

われわれは「北方があぶない」ととりわけ三月十三日、千葉県内七カ所、茨城県一カ所の国鉄通信ケーブルに仕掛けられた同時多発のゲリラ攻撃は、今年初めてのゲリラ事件だったが、これによる影響は首都圏への「足がストップした」のみならず、一部高校、小中校も休校措置をとらざるを得なかった。

中核派と名乗るわけの分からないゲリラ戦を遂行した。総武線、成田線、鹿島線の通信ケーブルを高麗科学技術隊員を駆使して切断し、ジェット燃料運送を完全にストップした。政府よ、お前たちに残された道は成田空港の完全廃港か内乱かの二つに一つしかない。

しかしこれに對する一般市民の反応は「ストには慣れているが、ゲリラのためにこんなならぬ目に遭うとは!」と、迷惑の上上い」と、様々に怒りの表情に燃えている。

今後とも予想される過激派の「武闘宣言」、このなかでわが機動隊員は、きょうも黙々と重事に備へての出動準備を積み重ねている。

「機動隊の歌」と満場の拍手に迎へられて隊員が人場、閉会の辞に続いて、励ます会・佐藤健一北海道支部代表世話人が挨拶に述べた。

北海道支部も結成以来五年経過した。秩序ある社会の維持は警察だけでなく、国民の責任であり義務でもある。機動隊に對する深い理解が必要であり、今後さらに本会の趣旨を幅広く訴へ、機動隊の活動を支持していきなさい。

来賓祝辞として堂内尚弘・北海道知事は「治安維持の第一線で危険や困難に負けず活動している隊員に感謝する。合わせてこれを支援する励ます会の熱意に敬意を表する。官民一体となつて秩序維持に努力して欲しい」とのメッセージである。

板垣武・札幌市長も「市民の幸福の原点は生命および財産の維持である。機動隊に支えられての平和、また励ます会が年々盛大になつていふことはよろこばしい限りだ」と激励。

室伏増男・北海道警察本部長は「本会でみられるように国民道民が、我々を理解してくれている。これからは機動隊が北海道警察の象徴として身を挺し、道民の安全を守っていく」と力強く語つた。

六戸環・支部世話人の乾杯の音頭で懇親会に入ったが、熱気溢れる会場は「ご苦労さん」「ありがとう」と心の交歓、大きく盛り上がった。

高田準之助・機動隊長の謝辞、広崎勇・支部世話人の万歳三唱で幕を閉じたが、この「かけ橋」は来年もさらに大きく大きくなっていくことである。

9

祭りと

警備



北海道警察機動隊

札幌雪まつり

北国の風物詩として、白いメルヘンの愛称をもつ「札幌雪まつり」は、白の主役であるさまざまな氷雪群像等によって荘厳華麗そのものである。

雪と氷の芸術を堪能する夢街道は、多彩な協賛行事とともに、毎年豪華さを増して、今年には百八十三万人もの観光客で賑わう盛大なものとなった。

昭和二十五年、札幌市が冬ももりがらなる生活改善と大通公園に中・高生作の雪像六基

でスタートしたが、昭和三十年から陸上自衛隊による大規模雪像の参加によって観光化した。さらに昭和四十九年からは諸外国の参加で国際色を強め、今年世界の行事として有名になった。

今年で回を重ねること第三十三回目、各国との親善行事、ミス札幌等各種コンテスト、郷土芸能、ジャンジャン馬せり、カールリング大会等々楽しい催しが豊富に企画されて、二月三日華

々しく開幕した。

観客がどっと繰り出して、巨大にして勇壮な大雪像「ヘルシンキ大聖堂」「カメレオンヘ大王」や「天満宮狛犬」などの迫力に感嘆するばかり。これらをバックにした人気歌手歌唱歌謡祭、雪のステージでのTV番組、各種アトラクションとも超満員である。

周辺の「恐竜王国」「アラレちゃん」「ペンギン村」や漫画の主人公公衆浴の市民広場などは子供達で超満員、雪の滑り台は給なりで家族連れが歓喜する大盛況。昆布・イヨカン・甘酒・コーヒール等々のサービスマンがまた祭り気分を拍車をかけるものだ。

夜ともなればライトに浮かぶ会場は、光と夢の国に変身、さながら桃源境を思い浮かべる不夜城に似て最高潮の出入りとなる。

こうしたなかで本警備の特徴は、(1)国際色を深めて外人観光

客が多い、(2)最も多雪・酷寒時に開催される、(3)期間が六日間(前夜祭含む)と長い、こと等で、市内各署から大量の警察官が動員される。

機動隊はその中核部隊として、会場内九箇所の臨時派出所の交通維持警備と会場周辺道路の交通整理など最重要警戒区域を担当すること、を肝に銘じ、期間中二箇中隊が出動した。

吹雪様様の悪天候時にもめげず、スター機の活用と各種の即製警告板を手中高く掲示するなど混雑緩和に奔走、加えて夜は零下十三度の寒気に凍結路の顧客転倒防止の砂散布や迷子の保護等、額に汗しての献身的活動であった。

旺盛な士気をもって各々互えられた任務に最善尽くし、観客の安全確保に万全を期して「白い祭典」を安全とあり汚すことなく、今年も無事終了させることができた。



椿まつり

愛媛県警察機動隊

境内は低い自然の丘をまよふ。これを船山とも稱する。祭神は、伊予豆比古命、伊予主命、伊予豆比売命、愛日売命と云う。

例祭は、毎年旧正月の七、九日の三日間、「縁起の神様椿さん」として信仰が厚く、西日本全盛からの参詣者は三十五万人に達する。

椿さんについては面白い話がある。この宮は昔は参詣者も少ない淋しい社であった。時は明らかではないが、江戸時代神官某が松山藩士の某に対し「参拝者を増す方策はないのか」と愚問をばし、相談を受けたこの侍、なかなか策士と見えず「俺にまかせ」と、旧正八日に藩の若侍を動員し「勝軍八幡(椿さんの境内にある武運長久の守護神)」に何回となく遠乗り参拝をくり返した。百姓町人はいこれを見て、城下のお侍達があれほど尊敬し参拝するのだからと見習って参拝するようになり、市がたつほど盛んになったといふ。

郷土色豊かな慶であんだ宝船や縁起笠、名物の「かた福船」



この世を花にするために

近藤亮一

塩がふいて真白の防炎服、軍手がはちきれんばかりにふやけきつた両手、泥にまみれるコンパットシューズ、髪の中から足の指先までとどこおりなくいきわたったあせも、ヘルメットから滴のように流れる汗、背中をつたり汗、汗、汗、

どとどめをさすようにふりかかると、真夏の太陽、苦しいノゾライノ誰のため? 何のため?

大地が波と揺れ、あいつが棒のように倒れ、こいつがヘドを吐いた、だれもいたわりのことばなんぞかけてくれない、その拳が「馬鹿野郎/死んじろ、まえ!!」という叱声と同時に臀部に鈍痛が走る、コンパットシューズが今日も俺を追い越してゆく、除隊した二百余名の先輩達も、今日の隊員と同様に激しい訓練に打勝ってきたのだ。今は苦しいかも知れない。辛い訓練かも知れないけど、どうか誰一人怪我することなく、管区機動隊員としての任務を果たされんことを祈っている。

ひと粒の汗こそが、この世を花にするための「力」なのだ。そして、体中にくたあせもこそ、君達管区機動隊員の職責なのだ。頭張ってくれ。

俺は元管機隊員

藤岡保夫

管区機動隊の諸君、連日の勤務御苦労さん。十年一昔と云うが、管区機動隊が発足して早や十三年。発足したころは、第一次安保闘争を中心に、学園紛争の全盛期であり、まさに激動の時代であった。

生まれればかりの奈良管機は、奈良署、高田署それに自動車庫ら隊と、それぞれに一分隊ずつ配置された外勤業務の寄せ集

め小隊だった。発足したばかりだから、今とは比べものにならないほどに貧弱な装備で右も左もかたないまま各地に応援派遣され、数百数千に及ぶデモ隊、ギャング、ゲリラそして爆弾に対処していたのだ。色々々な面において不十分な寄せ集め小隊であったが、「慣損」と「団結」、そして「鍛練」により、僅か三十五名の力が数千倍にも発揮されることを、身をもって知った。

こうした精神は、先輩から後輩へと受け継がれ、生き続いていることを信じて疑いない。管機の熱い経験は、私の青春の輝く一ページなのである。

今、管区機動隊のすばらしい成長ぶりを見るにつけ、管区機動隊の一員であったことを誇りに思ふ。厳しく、苦しい勤務の連日だが、決して甘えることなく前進してはほしい。管区機動隊の経験は必ず血となり、肉となる。管機は力かたつた、これは除隊員の真の声だ。

至誠、融和、剛健の隊訓の下、伐折羅大将の心を忘れず、更なる成長を心から祈る。「俺は元管機隊員」と胸を張って言えるように。

警備訓練の重要性

上辻正則

管区機動隊といえは、警備部隊の中核として警備業務の警戒警備が任務である。その警戒警備を無事に成し遂げるためには日頃の訓練が非常に大切である。よく「訓練で立って実戦で笑う」という言葉を耳にするが、この言葉の意味をよくかみしめて、隊員は訓練に励まなければならぬと思う。訓練と言葉で表わすのは簡単だが、実際に装備を着けての訓練は確かに苦痛である。しかし、その苦痛を乗り越えることなくしては、強い忍耐力も気力も養われるはずがない。

部隊活動における一人の落伍者が、その部隊全体を破綻に追い立てることを隊員は十分認識しなければならぬ。

奈良県警察 管区機動隊

管区機動隊の諸君、連日の勤務御苦労さん。十年一昔と云うが、管区機動隊が発足して早や十三年。発足したころは、第一次安保闘争を中心に、学園紛争の全盛期であり、まさに激動の時代であった。

生まれればかりの奈良管機は、奈良署、高田署それに自動車庫ら隊と、それぞれに一分隊ずつ配置された外勤業務の寄せ集



読者の 広場

日本病 木村政次

国や民族、政治が違い、更に歴史や文化、言語、生活環境迄異なる者どうしが相互に深く理解し合う事は勿論、意志の疎通すらは容易ではない。

外敵に侵された事の跡に単一民族が、狭いこの国土に何千年も同じ生活をしていたり、多少の方言や慣習の相違はあってもお互い何代前からの縁縁を知り合っている仲だから、価値観も殆ど変わらず、偶々紛争はあっても「以心伝心、腹玉」式で十分解決出来る。

隊訓と社是

馬場 鋼太郎

「はげまし」の新年号紙上に全国の各地区警区、警視庁、各府県警察管内の機動隊六十七の隊訓が紹介掲載されたのを、極めて感動深く拝見した。

いう事を述べるに止めたい。もう一つ誤解を与える言葉の例として「貿易立国論」がある。資源のない我が国の生きる道は之しかならず私共は子供の頃から教へられ、一億皆兵を当然とし不動の国是となっていた。

島根県警機動隊

隊長心得十ヶ条 副隊長 平井達夫

「はげまし」の新年号紙上に全国の各地区警区、警視庁、各府県警察管内の機動隊六十七の隊訓が紹介掲載されたのを、極めて感動深く拝見した。

明日を創るため 頑張り機動隊

- 小川運輸(株)
- 津田鋼材(株)
- 芝本龍平
- 山大鉄商(株)
- 関東鉄鋼株式会社
- 大野興業(株)
- 高周波熱錬(株)
- 廣一慶太郎
- 辻子丈太郎
- 西野公庸
- 竹之上誠剛
- 宮崎精鋼(株)
- 広畑海運(株)
- 豊田通商(株)
- 和田弘
- 丸橋正彦
- 内外運輸(株)
- 自見産業(株)
- 新瀉鋼機(株)
- 株大川鉄工所
- 三福商事(株)

今月の言葉

六月下旬にフランスで開かれる先進国首脳会議は、俗にベルサイユ・サミットと呼ばれる。パリ郊外のベルサイユで、会議が行なわれるからである。

そのベルサイユは、パリの中心から南西約二十キロ、ハイウエイバスで三十分のところにある人口十二万人の小都市である。

一六二四年、ルイ十三世がこの地に狩猟小屋を建てた当時は、一寒村に過ぎなかったが、ルイ十四世がこの地に政府を移し、一六六一年に大宮殿を造営してから飛躍的に発展し、その後三代百余年の間、政治・経済の中心地として繁栄したのである。

ベルサイユ宮殿は、フランスの富と二十年の歳月をかけて築かれ、世

ベルサイユのばら

界一豪華な宮殿として誕生した。ベルサイユをかくむ四方の丘の一つを削り、セーヌ河の水をひいて、千四百の噴水や延長七キロに及ぶ大水路を設け、花木あふれる庭園には一万の灯がともされた。欧州の真珠ブル

ボン王朝の栄華は、ルイ十六世とマリアアントワネット王妃の頃が絶頂であった。宮殿で毎夜のうちに催される晩さん舞踏会には、国内に催される欧州各国から王侯貴族がことごとく集まり、挙つてその研を競い合っ

たのである。その後ベルサイユ工事の出版と、度重なる戦争のため国家財政は窮乏をきたし、急速に王朝の破局へと進んで行く。一七八九年バスチユンに端を発した革命で、ルイ十六世はバ

りて、パリを包囲したプロシヤ軍はここに大本営をおき、普仏条約はここで調印された。

一九一九年第一次世界大戦後のベルサイユ条約は、この宮殿の一鏡の間に調印され、ドイツの長い雌伏

晩春六月のベルサイユ、ばらの花は優しく各国首脳に芳香を投げかけている。しかしながら鈴木首相からは、ゆるゆるこれを楽しむ暇はあるまい。米田が、ECが、経済摩擦の元凶日本に対し、かまへの意志を押しつけようとするにまかしているからである。

鈴木首相の成田出発は、機動隊の諸君の万全の警備で、安心して見ておられる。それに比べてベルサイユでの外交対応は、いかにも心もとなない。首相自身の健斗と、随員補佐の適切とを、ただただ祈るばかりはない。首相自身も、ばらのとげに刺されぬよう、無難な収束を望んでやまな

プロの本領を発揮 警備出動

重要防護対象に対する張りつめの警備。瞬時も油断のならない内外要人警護。心ない悪口罵倒に耐えるデモ警備。とくに現在、在は守りの警備。静の警備が多め、攻めの警備と違った難しさがある。

機動隊に課せられたのがこの警備活動であり、一日事ある時は爆発的な力を発揮しなければならぬ。攻めと守りとを巧みに組み合わせられたプロ部隊は、きょうも胸を張って警備に専念している。

派手な行事の下で黒衣(へくろ)として活躍している隊員の存在を忘れてはならない。



フランスから初の国賓としてミッテラン大統領は、夫人のほか閣僚を含む百八十一名の随員を伴って四月十四日(来日)、十八日まで滞在した。

この間、天皇陛下と会見。鈴木首相との会談では、日仏両国の友好促進、とくに科学技術協力の拡大や文化交流の推進と合意した。続いて与野党幹部との意見交換、国会で記念講演。日

本記者クラブでの会見。また茨城県筑波研究学園都市を訪れるなど精力的な活動ぶりをみせた。こうして華やかな行事の影でテロ指向の不逞分子が牙をきき空港や大使館への抗議宣言や接近を図ったが、これも機動隊員等延べ一万八千人の厳重な警備態勢で、大統領一行の行事は滞りなく終ることができた。

天皇誕生日の四月二十九日、皇居で恒例の一般参賀が行なわれた。

八十一歳になられた天皇陛下は、皇后さま、皇太子ご夫妻、浩宮さま、常陸宮ご夫妻を伴われて午前中四回、宮殿東庭に於ける長和殿のベランダに立られて、参賀者に手を振ってこたえられた。

この日はあいにくの曇り空だったが、午後三時過ぎに約六万一千九百人が参賀のため皇居を訪れた。



新緑鮮やかな中央集会での参加者は主催者発表三万人(警視庁調べ十八万五千人)で、思

今年もまた、新隊員を迎える季節がやってきた。幹部を含めて五百六十名が警視庁のそれぞれ機動隊へ入隊、緊張した面持ちの中に、選ばれて入隊できた喜びと警察署勤務によって培われた信念がみなぎっている。

早速待ち受けるのが厳しい訓練である。その訓練の思い出話には先輩から受け継がれ、エピソードは枚挙にいとまがないが、これを越えて始めて逞しい機動隊員の誕生となる。

訓練には新隊員のほか各県機動隊ならびに千葉空港機動隊からも分隊長クラスが参加、四月末の七日間にわたって行なわれた。この成果は四月二十六日の査閲で披露されたが、栄えある機動隊の伝統はこれからも新隊員へ継承されていく。

先鋒隊員が、みんな力を合せて新入隊員を正しく処遇し、指導育成してゆかねばならぬ。以下、体験や座談会を通じた、新入隊員の処遇や指導育成にあたって感じていることについて述べてみたい。

その一つは、新入隊員の立場を十分理解するということである。自分が入隊した時に想いをはずせ、やってみたらよかったこと、やってみたらよかったことなどを先輩の立場で率先して実行してやるのが大切である。

特に、「己れの欲せざることを人に入らぬなれ」を心して温かく処遇するのと、激励の言葉をお忘れないうちにしたいものだ。そのことが新入隊員を勇気づけ、本心に機動隊にきてよかった、よし頑張るぞ、と心の支えになるだろう。

その二つは、先輩隊員として率先垂範して正しい行動をとることである。

先輩の日常における服装、態度、行動をみて後輩はよくも悪くもマネて育つ。

特に、機動隊は人格形成の場でもあり、将来の警視庁を背負って立つ幹部を養成する役割りを果たしてきた。立派な先輩の後姿に学ぶという無言の指導の大切さを忘れてはならない。

その三つ目は、友情の絆を育み、融和団結に努めるということである。

今更述べるまでもなく、融和団結の必要性は、機動隊が有事において集団奮闘力を十分に発揮できるかどうかは、全隊員が隊長を中心とした心をつなぐ集まり、かつ行動するかどうかといふことである。

そのために普段から日常生活の場で、先輩隊員が進んでそれぞれ集団の中に溶け込み、集団として建設的に行動するとともに、不思議なことに糸に結ばれることによる新入隊員の性格や能力を早く理解し合い、お互いの長所を認め、人格を尊重し、困ったこと、悩みごとの心で寄り添い、喜びや悲しみをお互いに分かち合っていくことが必要だ。

はげまし

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
千104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
但し会費の中には購読料を含む

五十二回目的の労働者の祭典メーデーが五月一日、東京・代々木公園の中央会場をはじめ全国約千五百カ所で行なわれ、主催者発表で約四百万人(警察庁調べでは四百八十八万、九十五万三千七百人)が参加した。



新緑鮮やかな中央集会での参加者は主催者発表三万人(警視庁調べ十八万五千人)で、思

今年もまた、新隊員を迎える季節がやってきた。幹部を含めて五百六十名が警視庁のそれぞれ機動隊へ入隊、緊張した面持ちの中に、選ばれて入隊できた喜びと警察署勤務によって培われた信念がみなぎっている。

早速待ち受けるのが厳しい訓練である。その訓練の思い出話には先輩から受け継がれ、エピソードは枚挙にいとまがないが、これを越えて始めて逞しい機動隊員の誕生となる。

先鋒隊員が、みんな力を合せて新入隊員を正しく処遇し、指導育成してゆかねばならぬ。以下、体験や座談会を通じた、新入隊員の処遇や指導育成にあたって感じていることについて述べてみたい。

警視庁 ようこそ 機動隊へ

新隊員の警備訓練

新入隊員を迎えて 警視庁・第五方面 本部管理官 柿内堅三郎 (前二機副隊長)

今日、警視庁機動隊は国の内外から高く評価されていると聞く。私も機動隊員として、まことに喜ばしく、光栄なことであり、誇りに思っています。

これは、私どもの先輩が過去幾多の困難を克服し直しながらも、常に血と汗のしむる努力を、有事において立派にその使命を果たしてきた輝かしい伝統と歴史に基づいてのことである。私にこれを忘れさせるものはない、これを正しく継承し、より輝かしいものにしてゆく使命を感じる。

ところで、長い間精励し貢献した先輩ベテラン隊員を涙して送り出し、貴重な人材を失う一方、希望に燃え情熱と若さ溢れる異動の時期が近づいてきた。私も、新しく仲間入りして来る後輩を快く温かく迎え、一日も早く機動隊員として一人前に活動できるように育てて、より強化して有事に備えねばならないが、そのためには私ども

息子に何を求めるか 親が職場に

北海道警察機動隊



地方都市に郷里をもつ单身機動隊員の両親にアンケート調査をした。「親は千里に行くとも子を忘れず」というが、息子に対する心配事や期待、また職場に寄せる希望など率直な意見を頂いた。

親の意見と息子の花は千にひとつの仇はないの職えどあり、社会人として、そして組織人として若き隊員達の精進努力が結果していくことを祈っている。

一、息子さんに、将来期待するものは、どの様なことですか？

- 立派な警察官に育ってほしい。
- 一歩前進、一歩前進、まずは警察大学に入ること。
- 誰からも好かれる人間になること。
- 常に勉学に励み、人の上に立つ人間になること。
- 住民に親しまれる人材となつてほしい。
- 自分の体に充分注意し、体を鍛えて自分の実力を付けて出世を願うのみ。

○警察官になった以上、やはり組織があるので、まわりから期待される人物になつてもらいたい。

○責任感の強い人、好かれる人間になつてほしい。

○警察官として人格ある人間になつてほしい。

○長い警察官人生の中で健康に留意してほしい。

○幸せな家庭をもつて欲しい。

○誠実な人になつてくれることを望む。

○昇格はもちろんの事だが、いつでも機動隊にいられる事はないと思うので、派出所勤務する場合も人に好かれる警察官になつてほしい。

二、機動隊に入隊し、息子さんに何か変化がありましたか？

- 意志が強くなり、体力が増強した。
- 総てについて警察学校入校時と変わらぬ。(一年間に一緒に生活するのは二三日である)
- 第一には、酒が非常に強くなった事。次に体格が一段とたくましくなつたのと団体生活の中で自分の置かれてる位置をふまえるように思う。
- 人との対話、ものに対する考え方、その他も成長したように思える。

三、息子さんの事で一番心配していることは何ですか？

- 機動隊は危険な場所での勤務が多いので、体のことが心配である。
- 親としては少し酒が飲けるようになって、酒が飲めなくなると心配だ。
- また、年ほるとはお嫁さんがもらえないのかと気がかりである。
- 体を資本にしている仕事だけに、健康に注意しているかが一番心配である。
- 結婚資金をためて親に迷惑をかけないようにしてほしい。
- 昇格と職業柄事故に合う事。

四、職場で息子さんを、どの様に育ててほしいですか？

- 質実剛健な人間に育ってほしい。
- 警察官としての課の職場にふさわしく、まわりから期待される人間に育ってほしい。
- 仕事には誠実であつてほしいが、血も涙もないような四角四面の警察官には育つてほしくない。
- 責任が果たせる人間教育をしてほしい。また、警察官としての職業は大変にきびしい職だが、そのきびしさに負けることなく粘りのある教育をしてほしい。
- 自分の職業に自信を持って明るく、やさしく、住民に喜んでもらえるように、人のために働ける警察官になつてほしい。
- 与えられた職務を二〇〇%達成すると言ふ心構えと、職場での和を大切にす人間になつてほしい。
- 性格的には節度ある態度は苦

五、息子さんに独身時代には是非してもらいたい事はありますか？

- 結婚資金として二〇〇万円位は貯金をしてもらいたい。
- 飲んではかりのない、貯蓄をしてほしい。また、運動をしてほしい。
- 身心を鍛えて立派な体となり、職場を担つて立つよう人間になつてほしい。それには勉強。
- 小さい頃から剣道、筋力やってきただけに、無理のきく若くは独身時代に一杯頑張る、立派な成績を上げてもらいたい。
- 昇任試験に向け勉強をしてほしい。
- 仕事を通じて色々な経験をふ



六、その他何か意見がありましたらお書き下さい

- 時代の流れの歪みが現れているせいか、突発的な事件が多くなると、大変な事になる。一層の努力で二一〇解決してほしい。
- 指導と奮闘と毎日大変な苦勞さん。苦勞を苦勞と思わず若い隊員の皆さんの活躍を期待している。
- 一年に二回帰郷してくるが、電話ひとつしてこない。男の子だと思つて、たまには電話するようになってほしい。
- 機動隊の勤務内容がはつきり分らないので、勤務内容を具体的に知りた。
- 長い間には挫折感が多々ある事と思うが、職場のあたたかみ御指導をお願いしたい。

健康で明るく、信頼される人間になる様に、出世しなくても自分の選んだ道なので一生懸命に生きてほしい。

○住民の皆さんから親しまれる、そして職場の皆さんに愛される警察官になつてほしい。

○退職までは部長になれることを期待する。

○社会に適性のある人物になつてほしい。又は道警のひとつの光になるような警察官になつてほしい。

○警察官としての高い地位はあまり期待しないが、一般市民から気軽に言葉をかけてもらえる様な心でいてほしい。また、若し「悪」に対しては厳しい目を向けていく態度でいてほしい。

○初心忘れず、真面目にやつてほしい。

○信頼される警察官になる事である。

△コメント

警察官としての子供を持つている親の目から見ると警察官のやるべき姿は、やはり厳しく、強く、思いやりのある警察官を希望しているようである。

そして、個人的にはやはり子供には出世してもらい道警の柱となることを望んでいる。

△コメント

体力及び酒量の増強?には機動隊ほど適した職場はないと確信することが出来る。(実家帰省の際のサービスが足りない人もあるが、考えあけてほしい。)

○規律、生活態度が良くなった。言葉使いが大変良くなった。また、他人を見る目がおおらかに変わった。

○体力的に向上しているようである。酒の量が増えた。

○節度ある生活態度が見られる。

△コメント

やはり何と云っても体が資本の職業である。親の心配を察する気持があり出てくる。また、結婚を切実に願う御意見もあり、該当者は早く親に安心を...

○何事にも積極的職務を遂行してほしい。

○明るくたくましい人間になつてほしい。

○一歩一歩前進するように願う。

△コメント

第一には昇任試験合格の栄光。第二には結婚とその他の貯蓄と、現実的要素が多いようである。

○最初は復讐が多かつたが、今では個性あふれた独創的なものが多くなり、キャンパスも三十号、五十号など大きなものに挑戦するようになってきている。

○各種出動、重防備などの勤務の疲れをいやすには、格好のこの場所となっている。

サツカー部を結成

岐阜県警機動隊では、隊員の士気高揚及び体力、気力と強固な団結を図るため、本年度よりサツカー部を結成した。

毎年冬期になると、隊員の体力増強のため訓練にサツカーを取り入れてきたが、サツカーに心得がある者はもちろんのこと、未経験者も日増しに上達し、部外チームとの試合を望む声が高まってきた。

そして、地元消防本部との練習試合をはじめ、去る四月四日には岐阜市を中心とした社会人のミニサツカー大会(参加三十三チーム)に出場し、強豪を次々

△コメント

男の職場で、女の友達と会う機会が少なく、早くお嫁さんかと思つて。また、めつたに電話もかけてこないで元気がどうかと健康のことを気づかっている。

○私(父)が病弱なため速くの職場に勤める事(転勤)を心配している。できれば札幌を中心として五〇〇km位の職場だと大変力強く思う。息子は長男のため頼りにしている。

○何事にも屈せず、ただ前進あるのみを精神を持って人間に成長してほしい。

○爆処理の仕事での身の危険を心配している。

○結婚/上司の方々お世話願う。

△コメント

にもならないと思うが、警察官も人の子、たまには一般の人の心にもなつて物事に接してほしい。

○職場で和を作つていく人になつてほしい。

○社会人として、信念を持った男に育つてほしい。

○きびしく、甘やかさないで育ててもらいたい。

○物事に對して的確に判断し、処理できるように。

○肉体的にも、精神的にもどんなに苦しい事でも乗り越えて行ける強い人間に育つてほしい。

○私は大正生れの人間なので、いつも規律ある職場で、何事にも耐える身体に育つてほしい。身心共に強力な体力作りを努めて欲しい。

△コメント

第八回神奈川県警察職員作品展がこのほど横浜郵便貯金会館ギャラリーで開催され、機動隊からは絵画の部に三十九点を出品、このうち銀賞一、銅賞四、佳作五の賞を獲得した。見学者も審査員からも、「機動隊の作品が多い」「二機は年々上達している」と好評を得た。

第一機動隊では、五年前から情操教育の一環として絵画を取り入れており、全隊員が入隊時に油絵道具一式を買い揃え、余暇を利用して写生に励んできた。隊内では年一回の全隊員による作品展を開催し、優秀作品を先ずの作品展に出した。

△コメント

最近では、五年前から情操教育の一環として絵画を取り入れており、全隊員が入隊時に油絵道具一式を買い揃え、余暇を利用して写生に励んできた。隊内では年一回の全隊員による作品展を開催し、優秀作品を先ずの作品展に出した。

最初は復讐が多かつたが、今では個性あふれた独創的なものが多くなり、キャンパスも三十号、五十号など大きなものに挑戦するようになってきている。

○各種出動、重防備などの勤務の疲れをいやすには、格好のこの場所となっている。

△コメント

第八回神奈川県警察職員作品展がこのほど横浜郵便貯金会館ギャラリーで開催され、機動隊からは絵画の部に三十九点を出品、このうち銀賞一、銅賞四、佳作五の賞を獲得した。見学者も審査員からも、「機動隊の作品が多い」「二機は年々上達している」と好評を得た。

第一機動隊では、五年前から情操教育の一環として絵画を取り入れており、全隊員が入隊時に油絵道具一式を買い揃え、余暇を利用して写生に励んできた。隊内では年一回の全隊員による作品展を開催し、優秀作品を先ずの作品展に出した。

情操教育に
絵画を
神奈川県警
第二機動隊

県警便り

と破って第三位となるなど自信を深めた。

日頃鍛えられた機動隊精神と体力は、一般参加の人々に機動隊に対する認識を深めさせたのはもちろんのこと、治安を維持する我々機動隊に対し熱い信頼の目を向けさせた。

疾風のロードレース

島根県警 機動隊

島根県警機動隊(隊長長岡部英治警視)は、強靱な機動隊確立の一環として、この春のある一日、午前五時二十分頃隊庭に爆発物らしき不審物がセットされているのを、当直隊員が巡回中に発見したとの想定のもとに、個人完全装備を装着のうえ、隊舎に集集せよとの訓練非常召集を発令した。

応召のための所要時間の平均は約八分。完装、交通事情等諸般の状況から判断しても、疾風の島根県機にふさわしいすばらしい立ち上がりであった。

六時から爆発処理基本訓練を実施した後、全隊員を大型輸送車で島根半島部の八束郡鹿島町まで搬送し、出動服、警備靴着用の上水筒を携行、同七時三十分第一分隊が先行出発し、十分間隔で一分隊と小隊長・特務のペアで順次出発、ゴール地点である島根町野坂までの全行程二十六回の分隊対抗ロードレースを実施した。

コースは島根半島の日本海に沿った起伏の激しい幹線道路で、地理や道路の状況等についても精通している隊員は少なく、中間での距離感覚も分らず、しかも強風を雨の洗いをうける等の悪条件下でのロードレースであったが、時折り沿道で農作業に汗を流している人、通行人からの激励や声援は、隊員の士気を鼓舞するに十分であった。

記録は、小隊長・特務チームが一時間四十九分、一分隊は三時間四十二分、二分隊は三時間二十五分の記録であったが、全行程二十六回を各分隊単位で一人の落伍者が一人もなく、気が



力、体力の向上増進と忍耐力の養成並びに団結力の強化と士気の高揚等を図るうえでも大いに役立ち、非常に有意義なロードレースであった。

今後同じ訓練を定期的に行実施して、より一層の成果を挙るとともに、内容も充実していく方針である。

九州管区駅伝 大会優勝

佐賀県警 機動隊

この春、九州管区内八県で行なわれた第一回九州管区内通信駅伝大会において、佐賀県警機動隊が二位の沖繩県チームに六十秒の大差をつけて初優勝した。大会は、各県A・B二チームを編成し、各県の公認陸上競技場において午後二時に同時スタートし、選手一人四回を走り、二チームの合計タイムで順位を決める方式で実施された。

この大会に機動隊からは渡辺義高、古賀浩二、山口直行の三名が選手として参加し、優勝に大きく貢献した。

あれから一年 第一線で 頑張っています

大阪府警察第一機動隊

柏原警察署 (元一中隊)

大川 進

昨年の四月一日付で、柏原署(体練係)に転勤し、一年が過ぎました。

第一機動隊に在隊中は、柔道中心の生活で、あまり机に向って仕事をするという事はありませんでした。

ところが、転勤してすぐ所属対抗剣道大会があり、この行事に剣道に関する書類の作成で大変苦労しました。

また、その行事が終るとすぐに逮捕術大会、署中稽古、水泳大会、寒稽古等の行事が続く。これらの行事に関する書類を起草して決裁をもらい、行事が終了れば、結果報告と書類をやつきばやに作成しなければなりません。

事務的な仕事、特に書類作成等の机上の仕事があまり得意でない私は、上司の印をもらい忘れる等の失敗も多々ありましたが、最近では一応無難にやりこなしております。

これから、色々な仕事を覚えて乗り越えていかなければなりません。体練係として恥づかしくないように頑張っていきたいと思っています。

最後に、一中隊の皆様にあつては、これから色んな試合を控えています。全国制覇を目指して、身体を大切にしてください。

病気をしないように切磋琢磨し、稽古に励んで下さい。



寝屋川警察署 (元二中隊)

千田 広美

第一機動隊の風格が変わりませんが、この時期は、治安総合警備訓練、所属対抗駅伝の練習等で忙しい毎日だと思います。

私も第一機動隊から寝屋川警察に転勤して、もうすぐ一年になります。転勤当初は、事実処理も覚えていないようでも忘れることが多く、要領よくできず、不安な毎日でした。

ある時、受持管内で「し」を持った男が暴れているとの一〇番が入り、相動の巡査と現場に赴き、その男を逮捕したまはは良かったのですが、被害者の確保を忘れ本署に被害者を連行していき、当直の刑事から「被害者は」と聞かれて、慌てて現場に戻り被害者を連れて来た。幸い身近に機動隊出身の先輩がいて、いろいろと指導していただき、今日まで何とかやって

機動捜査隊 (元三中隊)

浜上 亨

機動隊での二年間、ことあるごとに心底から自分自身に言い聞かすように叫んだ言葉「なにこれ」である。

歯をくいしばり、発奮し、ある時は震える拳を握りしめ、自分自身の弱さを怒りに変え、その「怒り」を一種の起爆剤として仕事、訓練に励み、ひいては二代後半の人生を大きく支えにくれた価値ある二年間であった。

まさに機動隊は「我以外皆師なし」の誇りとあり、一切破綻を許さずすべしという環境でもあった。

あれから一年経過した現在、大阪府警刑事警察の先兵として出動服が私服と化し、機動隊がエンジ色のネクタイとフルに発揮する車両と化し、全てがイメージチェンジしたものの、変化してないものは、機動隊で培われた「なにこれ」という強い精神力の一端を担うエネルギー源内に秘めたる闘志ではないかと思う。

御承知のとおり、機動捜査隊の任務は、

一、重要事件発生時における初動捜査

二、各種事件のよう捜査等であるが、任務遂行にあって未熟な私が、朝夕にたててきけるものではなく、毎日苦勞が絶えないが、こと事件が発生すれば、力を惜むことなく被害者へのいたわり、犯人への怒りというものを感し、機動隊で培われた「なにこれ」という自分への叱咤が身を奮い立たせてくれる今日のこの頃である。

そんな一夜明け、寒風吹きすさぶ長居競技場での出来事。所属対抗駅伝大会を控え、各署員も必死の練習風景。その中一際目立つ機動隊の勇姿、W隊員、私を見て一言、「主任、走りますか」

「あたり前よ、機動隊のエースよ」

と威勢よく啖呵を切ったものの、膝のサポートが痛々しく、「無理するな」と警告するかのよう純粋を感じた。しかし、「なにこれ」と歯をくいしばり頑張ってみよう。

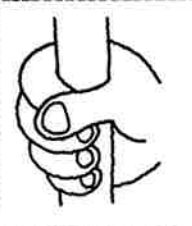
その姿が、また威勢よきことこそが、機動隊二年で培われた生涯忘れられない私の財産なのである。

この財産を、年老いても仕事に、我が人生に大きく役立てていきたい。最後に「なにこれ」

光陰矢の如しとか、月日の経つのはまことに早いものです。昨年四月、三十男の涙を流し、まる十年に及ぶ機動隊生活に別れを告げ、旭署に転勤したのがつい昨日のような気がします。

ところで、「あれから一年、一線でご頑張っています」という題で投稿を依頼され、率直に言っ困りました。というのも、私自身、精一杯頑張っているつもりではあるが、何分ドジばかり踏んで、果たして他の目にはどのように映っていることやら、ともあれ、何人もに自慢する

この一年、旭署において、出身の先輩方から、いろいろとアドバイスを頂き、本心に届いて思いで勤務してまいりました。このドジを教訓にして、新しい職場で若い直轄署に隊員のため、これまで培ってきた精神をもっと磨き鍛え、ときに励まされ、隊員に負けぬ隊員つくり、力をそぐと共に、私自身、機動隊を忘れることなく頑張っていくつもりです。



「紹介」

警視庁 婦人警察官 特別機動隊

初めて婦人警察官による警備部隊を編成したのは昭和三十九年で、オリンピック東京大会の代々木選手村の警戒警備に当たった。

その後、昭和四十七年九月十九日、婦人警察官警備部隊を発足させ、皇居一般警備警備、メーデー警備、その他外国人来日に伴う警備等に従事した。

最近、従来の警備対象のほか、老人、婦人および身体障害者に対する各種要請行動が増加するなど多様化し、婦人警察官の特性を生かした警備活動の場が広がっている。

また、こうした事態に対処するため昭和五十二年四月十三日、婦人警察官特別機動隊を発足させた。

大震災発生時に、いかにこれに対処するかは警察、とりわけ機動隊にとって重大な任務である。このため昭和五十三年五月二十六日、婦人警察官特別機動隊に災害救助服を配分し、震災発生時における広報活動・避難誘導訓練等に従事している。

「主任、走りますか」

「あたり前よ、機動隊のエースよ」

と威勢よく啖呵を切ったものの、膝のサポートが痛々しく、「無理するな」と警告するかのよう純粋を感じた。しかし、「なにこれ」と歯をくいしばり頑張ってみよう。

その姿が、また威勢よきことこそが、機動隊二年で培われた生涯忘れられない私の財産なのである。

この財産を、年老いても仕事に、我が人生に大きく役立てていきたい。最後に「なにこれ」

光陰矢の如しとか、月日の経つのはまことに早いものです。昨年四月、三十男の涙を流し、まる十年に及ぶ機動隊生活に別れを告げ、旭署に転勤したのがつい昨日のような気がします。

ところで、「あれから一年、一線でご頑張っています」という題で投稿を依頼され、率直に言っ困りました。というのも、私自身、精一杯頑張っているつもりではあるが、何分ドジばかり踏んで、果たして他の目にはどのように映っていることやら、ともあれ、何人もに自慢する

この一年、旭署において、出身の先輩方から、いろいろとアドバイスを頂き、本心に届いて思いで勤務してまいりました。このドジを教訓にして、新しい職場で若い直轄署に隊員のため、これまで培ってきた精神をもっと磨き鍛え、ときに励まされ、隊員に負けぬ隊員つくり、力をそぐと共に、私自身、機動隊を忘れることなく頑張っていくつもりです。

光陰矢の如しとか、月日の経つのはまことに早いものです。昨年四月、三十男の涙を流し、まる十年に及ぶ機動隊生活に別れを告げ、旭署に転勤したのがつい昨日のような気がします。

ところで、「あれから一年、一線でご頑張っています」という題で投稿を依頼され、率直に言っ困りました。というのも、私自身、精一杯頑張っているつもりではあるが、何分ドジばかり踏んで、果たして他の目にはどのように映っていることやら、ともあれ、何人もに自慢する

光陰矢の如しとか、月日の経つのはまことに早いものです。昨年四月、三十男の涙を流し、まる十年に及ぶ機動隊生活に別れを告げ、旭署に転勤したのがつい昨日のような気がします。

ところで、「あれから一年、一線でご頑張っています」という題で投稿を依頼され、率直に言っ困りました。というのも、私自身、精一杯頑張っているつもりではあるが、何分ドジばかり踏んで、果たして他の目にはどのように映っていることやら、ともあれ、何人もに自慢する

光陰矢の如しとか、月日の経つのはまことに早いものです。昨年四月、三十男の涙を流し、まる十年に及ぶ機動隊生活に別れを告げ、旭署に転勤したのがつい昨日のような気がします。

ところで、「あれから一年、一線でご頑張っています」という題で投稿を依頼され、率直に言っ困りました。というのも、私自身、精一杯頑張っているつもりではあるが、何分ドジばかり踏んで、果たして他の目にはどのように映っていることやら、ともあれ、何人もに自慢する

光陰矢の如しとか、月日の経つのはまことに早いものです。昨年四月、三十男の涙を流し、まる十年に及ぶ機動隊生活に別れを告げ、旭署に転勤したのがつい昨日のような気がします。

ところで、「あれから一年、一線でご頑張っています」という題で投稿を依頼され、率直に言っ困りました。というのも、私自身、精一杯頑張っているつもりではあるが、何分ドジばかり踏んで、果たして他の目にはどのように映っていることやら、ともあれ、何人もに自慢する

光陰矢の如しとか、月日の経つのはまことに早いものです。昨年四月、三十男の涙を流し、まる十年に及ぶ機動隊生活に別れを告げ、旭署に転勤したのがつい昨日のような気がします。

ところで、「あれから一年、一線でご頑張っています」という題で投稿を依頼され、率直に言っ困りました。というのも、私自身、精一杯頑張っているつもりではあるが、何分ドジばかり踏んで、果たして他の目にはどのように映っていることやら、ともあれ、何人もに自慢する

光陰矢の如しとか、月日の経つのはまことに早いものです。昨年四月、三十男の涙を流し、まる十年に及ぶ機動隊生活に別れを告げ、旭署に転勤したのがつい昨日のような気がします。

ところで、「あれから一年、一線でご頑張っています」という題で投稿を依頼され、率直に言っ困りました。というのも、私自身、精一杯頑張っているつもりではあるが、何分ドジばかり踏んで、果たして他の目にはどのように映っていることやら、ともあれ、何人もに自慢する



地をはうのは得意だが…… (震災訓練)



大震災発生時に、いかにこれに対処するかは警察、とりわけ機動隊にとって重大な任務である。このため昭和五十三年五月二十六日、婦人警察官特別機動隊に災害救助服を配分し、震災発生時における広報活動・避難誘導訓練等に従事している。

読者の広場



対岸の火事

石井 栄

世界中の注目を集めている「アークランド紛争」—日本から見て丁度地球の裏側で起った紛争。アルゼンチン固有の領土が、イギリスの植民地か……すんなりまとまるのであろうか。「アークランド」といえば「蜂は一度刺して」の名セリフを残して行った人が住んで居る処とか、「アークランド」と云う地名を私は今度の事件で知った一人だ。

昔から、スペイン・フランス・イギリスなどで領土権争いが続き、七つの海を制覇していた大英帝国が百五十年前に植民地として統治して来た土地とか。それが突然、紛争を起したその原因に二つあると云えられて居る。その一つはアルゼンチンの内政問題であり、もう一つは石油資源の確保と云われて居る。「アークランド」に莫大な石油が埋蔵されて居るかも知れないと、数年前から報道されて



日本人の欧米志向

高島 浩一

日本人の白人に対するあこがれは明治以来のこと、僅かに第二次大戦中、洋風とか鬼畜米英とかいって蔑視を強制された時代もあったが、戦後また一貫してホワイト崇拜が続いてる。

日本もいまや、世界中で注目の的となっている経済大国。自由諸国の中で第一位のGNPをあげ、南アでは名譽白人の称号まで頂戴している。平均寿命は長く、国内の治安はよく、衣食は満ち足りている。平均寿命は長く、国内の治安はよく、衣食は満ち足りている。平均寿命は長く、国内の治安はよく、衣食は満ち足りている。

日本人が、日本人よりも白人が好きだという分には、別に害はない。問題は、その反動として外国の有色人種を蔑視することである。

アメリカでは、白人と黒人とを劇染させるために、随分苦労している。数十年間、学区を相互乗り入れして、小学校で出来るだけ白人と黒人を組み合わせることを始めた。そのために全体の学力が一年下がってしまったのを得ないという決意までしたらしい。

日本は幸か不幸か単一人種である。アメリカのように多くの人種が雑居しているわけではなく、同級生や隣組や親戚に毛色の変わった人は極く少ない。だからアメリカのような融合の努力が知らない。そういうことが、さきのベン・フレンドの思いやりにも欠けた現象をもたらしているとも見えるだろう。

しかし、いまやアメリカを凌ぐ経済・技術の先進国となった日本は、世界の指導的地位にある。これにあつたがれを持ち、追いつこうとするの意、いかにかうまく手をつないでいくかが大きな課題となつてきている。

旧軍隊から学ぶ統率

米倉 國輔

戦争中、潜水艦の指揮官として活躍した歴戦の元海軍将校の話を聞いた。

この方は、現在ある大会社のトップ・マネージメントとして実業界に御活躍中だが、旧海軍内における「責任と権限」あるには「権限委譲」についての考え方、現代企業にあてはめてユニークに解説された。

多分、大方の皆様の御参考にされるだろうと、私より先に述べたところを、思ひとりに御紹介申しあげた次第である。多少私事なりの解釈も入っていることと申すので、その点は御容赦頂きたい。

責任と権限

責任を持たずならそれに応じた権限を与えないならならぬ。責任だけを付せておけば、責任と権限を与えないければならぬ。責任と権限を与えないければならぬ。責任と権限を与えないければならぬ。

然しこれは民間会社にも多い。これが統率を乱し不平、不満の根元になっている。例えば軍隊では上役の方が下位の者に何か指示して、若しその結果が悪かった場合に、指示した上役の方が全責任を負い、部下は指示通りやっただけかということのみに責任がある。

海軍では例え上位の者でもライン以外の者は口を出さない。出したとしてもそれはアドバイスであり、命令権はない。その代り、ラインの上役がいつた場合はその上役が責任を負う。

民間会社の不平の多くは、口を出さず上位の者が多くいて、実際に責任を取る者が少ない事である。これが不平不満のもととなり、命令の不徹底や統制を乱す大きな原因となつて居る。

命令が無くとも上長の意図に合すること

演習の時は、想定通りに敵は出てくるが、実際はなかなか予定通りに敵は出てこない。その時、今ここに司令官がいれば如何なる命令を出すか、それかと思つて、作戦行動をしなければならぬ。そして、その結果が司令官の意図に合しなければならぬ。

艦長は司令の、司令は司令官の、司令官は長官の命令がなくて判断し行つた結果が丁度命令を受けて行動したと等しい。上長の意図に合っていないければならぬ。これが最高の統率である。



こうしたイギリス流とドイツ流の統率は、一見非常に異なるようにだが結局は一致するものがあり、両者を身に付けることまでいかなないと、本道の統率に於かない。

以上、耳の痛い点もあるだろうが、旧軍隊の良いところは良いところとして、現代社会に大いに役立てたいものである。

機動隊の重防勤務 (常装・編上靴)

常装に編上靴は機動隊の正装である。左様に被マークの隊章右様に所屬章を輝かせ、編上靴で機動隊である。

常装に編上靴で従事する勤務は、主に重要防護対象の警備勤務である。酷暑の星夜の下、灼熱の太陽のもとと見えない敵の出没、出勤衣で都心を駆け巡るデモ規制警備のような国民の注目を引かないが、治安維持のための重要な勤務である。

お知らせ

昭和五十七年度年会費の払い込みは済みましたが、まだ納入されていない方はお早目にお願いたします。

☆第六回通常総会を六月七日(月)午後三時から東京都千代田区幸町一ノ二半蔵門会館にて開催します。総会に続いて警察庁長官、警視總監を始め来賓多数をお招きして功績者を表彰、警視庁機動隊員の方々の懇親を行ないます。会員の会費がお誘い合わせのうえ多数のご出席をお待ちしております。

☆千葉支部総会を六月十七日(水)午前十一時から千葉港ニューパークホテルにて

☆中国支部総会を六月十八日(金)午後五時三十分より広島市・社会福祉会館にて

☆東北管区機動隊・黒黒宗一巡査が四月二十六日訓練中に心不全で殉職されました。当励ます会から弔慰金と花輪を靈前に捧げ、ご冥福をお祈りしました。

固い結束で
期待の機動隊

東鋼業(株)
株式会社三榮商会
奥村武正
村山文雄
大洋製鋼(株)
高周波熱錬(株)
村上野百貨店
石原幸男
木村利秋
橋山和正
浅田弥三郎
東海レーラー鋼業(株)
中京製線(株)
東海鋼材工業(株)
森 英二
広島シャーリング工業(株)
石田工業(株)
東海鋼業(株)
金森藤平商事(株)
早達運送(株)
柴田鉄店

今月の言葉

私の家にはひとつの古い家具がある。祖父が使い、父から受け継いだ手あかのついた家具である。今様のものに比べれば多少便利さに欠けるところがあるかもしれない。最近の家具のようにあか抜けていたとも言えない。しかし、どっしりとした重みを持ち、今なお葉ひとつ、引出しひとつの狂いもない。

そこそこ作つた人の真心が感じられ、使うたびに良い品だと思ふ。以前と違って、最近はやたらと品物が豊富になり買物をする時に、どの品が良いかと迷うことが多い。カタログを見ても、デパートで品定めをするにしてもあれこれ目移り

良い品

「安いものでもあったら」というような、ついでに買物はしないという心がけている。

そんな買い方はせつかく買った意味ではない。たとえそれが質素で

あつても、いかにも隅々まで作つた人の心くばりと誠実さが感じられ、使つていてもなにもひとつ不安な使えるような品物である。

家庭用品でも電気製品でも衣類でも品質が良く、便利で使い勝手の良い長く使える「良い品」を選べば結局は買得なのだ。それが安く手に入ればなお結構なことだ。

私自身「製造業の責任者として「安く」とばかりは言つておられないにしても、消費者の皆さんからこの会社のものは「良い品」であること信頼され、喜ばれる製品を作ることが大きな使命だといふ肝に銘じている次第である。

国民と機動隊のかけ橋

第六回通常総会および懇親会



新理事二氏を選出

会員総数二万七〇九名のうち、定款に定められた過半数の六三八五名(委任状等)の出席を得たことで、鈴木實、副理事長が総会の成立を報告、大内俊司理事長を議長として二議案を審議した。

第一号議案 昭和五十六年度事業報告並びに収支決算報告書承認の件

第二号議案 昭和五十七年度事業計画案並びに収支予算案承認の件

第三号議案 理事選任に関する件

第一号および第二号議案はいずれも満場一致で承認され、第三号議案については、日本港運協会会長の高嶋四郎雄氏および中山馬主協会会長の菅浦一氏を新理事として選出、その他の理事・監事は全員留任となった。

八周年記念楯を贈呈

総会のおと、来賓と機動隊員約百五十名を招いて懇親会に移った。ねぎらいと感謝の言葉に包まれた会場は、まさに心の交流である。

鈴木、副理事長の閉会宣言でまず当協会の活動に功績のあった有賀隆雄氏、木村政雄氏、桑山修助氏、首根貞雄氏および南川義宣氏の五氏に、表彰状と記念品がそれぞれ理事長より贈呈された。

続いて八周年記念楯が全国各機動隊へ贈られた。理事長の題字による「祈健闘」が刻まれている。治安維持に対する国民の感謝の意味を込めている。

長官と総監が祝辞

来賓の三井物産・警察庁長官、下稻葉・警視庁総監は招待の礼を述べ、励ます会に対する感謝の挨拶をした。

三井長官は「励ます会は逐年発展しており、これが隊員連を精神的に支援している。定例的な成田闘争に加えて、外国に多くなるとも散発しているが、外因に多発している過激な国際化がどういった形で、わが国へ波及してくるかも重要な警戒テーマとなっている。治にして乱を忘れずが警察の姿であり、引続き支援して頂きたい」と語った。

下稲葉総監も「励ます会の物心両面にわたる協力を力強く感謝する」と述べた。

表彰された功績者

目下の治安情勢は一見早急に見えるが、五月下旬の皇居前広場での火炎ゲリラ、右翼の抗議行動など、テロは一瞬のうちに発生する。忍の警備に当たっている隊員の心の支えとなつていて、励ます会の発展を祈る」と呼びかけた。

これに対して大内理事長は「四十九年に三百八十五名で発足した当会は、いま心ある有志の積極的な加入で会員数は一万二千余名、東京本部と八支部にまで拡大されてきた。機動隊はげましも号を追うにつれて充実してきている。わが国が世界に誇れる平和な民主国家であるよう隊員諸兄と会員が一心同体となつて努力していきたい」と励ました。

馬場彌太郎・本部世話人の音頭による乾杯で、懇親会となったが歌手と隊員のデュエット、ブラスバンドの演奏にのった喉自慢の登場と和気あいあいななか、会場は熱気に包まれた。

木村政雄・大阪支部世話人の万歳三唱で幕を閉じたが、この国民と機動隊のかけ橋は、さらに鞏固なものになつていこう。

はげまし

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

機動隊員等を励ます会が、発足してから満八年、社団法人の認可を受けてから第六回目の通常総会および懇親会を六月七日、東京千代田区・半蔵門会館で盛大に開催した。

全国に東京本部と八つの支部を擁し、会員数二万二千名を越えるまでに充実してきている。これからも機動隊員等の心の支えとなり、また隊員と国民のかけ橋になるべく、励ます会の輪はさらに大きく引継がれていこう。

警視庁 機動隊創設三十四周年 記念観閲式

昭和二十三年に誕生した警視庁機動隊が、今年で創設三十四周年を迎える。

この日を記念するとともに、激しい警備情勢に対する機動隊の訓練成果と充実した警備力の国民に示し、理解と信頼を深め、さらに隊員の士気高揚と融和団結を図ることを目的とした記念観閲式が五月二十五日、東京明治神宮公園前で行われた。

五月二十日に警視庁第七十三代総監に就任した下稲葉耕吉・新総監を顧問としした式典は、東京都公安委員長ならびに委員当協会の世話人、各関係官庁報道関係者等も招いて盛大に繰り広げられた。

警備部長を総指揮官とした一般部隊、特機治安警備部隊、これにレンジャー、水難救助、機動救助、災害対策、婦警災害対策、爆発物処理、特殊警備、特別警備、警備犬など特科部隊を含めた総人員三千名、車輛八十台の車輦部隊



台、警備犬十二頭の像である。国旗掲揚、部隊斉唱、分列行進と約一時間行われた。このなかで隊員の一糸乱れぬ行動、気迫溢れる勇姿に接した参観者一同は、首都・東京の治安維持にかける機動隊に心から惜しまぬ声援を送つたものだった。

查閲後、下稲葉総監は「警視庁の中核部隊として、その任務を完遂せんばやまず、の信念を持って欲しい」と大要次のとおり訓示した。

訓示する下稲葉総監

「昭和二十三年五月二十五日に警視庁予備隊として創設されて以来、機動隊は常に身を挺して首都治安の重責を全うしてきた。

昨今の情勢は内外ともに、治安に直接間接に影響する重要な課題が山積している。とりわけ当面最も警戒を要するのが、極左極右のテロ・ゲリラ指向の動きである。

極左暴力集団は、三里塚・反戦・反核・反差別を年間闘争テーマとして、手段を選ばぬ陰謀な内ゲバを反復敢行する危険性を強めている。また右翼の一部には、現状を打開するためにはテロ以外にないという不穏な言動が見られる。

こうしたなかで、集団警備力の中核となる機動隊に寄せられる国民の期待は極めて大きい。隊員諸君はこれからも、忍耐を必要とする警備に、あるいは突発的な各種事案に迅速的確に対処されたい。」

春がわ

大阪府警察第一機動隊

易に滅んでしまうものではない。これは人生の花盛りにある隊員達が綴った思い出の叙情詩である。

幼き日、淡き初恋、ほのかな夢、出会いそして別離、挫折苦悩に人生を語ったこともある。そしていまや選んだ機動隊の道、魂のこもった青春はそう容

入学式

第二中隊
第三小隊
内納義成

私の故郷は福岡県の中間市というところだが、筑豊炭鉱といえど皆さんにお分りいただけに思ふ。最近の映画で「青春の門、筑豊編」というのがあったが、この舞台となったところが私の故郷であり、炭鉱で栄えた町である。

周囲の環境は、遠賀川をはさんで数多くのボタ山が連なり、幼いころには近所の友達とよくこのボタ山で一日中遊びまわったものだ。

私が中間東小学校へ入学したのは、もう二十年前のことになるが、入学式当時のことを懐かしく思い出す。

私は一つ年上の姉がいるが、この姉がいつも楽しそうに小学校へ通っている姿を見て、「小学校ってそんなにおもしろい所なのかなあ、早く姉さんと一緒に小学校へ行きたいなあ」と子供心に思っていたのだ。

入学式の当日、朝早くから学校の制服を母に着せてもらっていた。母が「この服は大切な服だから汚さないように」と何度も繰り返して言っていたが、私はこれから小学校へ行くという事、学校の制服を着せてもらったという嬉しさと、姉と一緒に家の中をばきまわったものだ。



当時は交通の便が悪く、小学校までの約三キロもの道を、母に手をとられながら春の田舎道を歩いて行ったが、歩きながら母は私に「今日から一年生だから、自分のことは自分でちゃんとするんだよ、先生の言うことをよく聞いて立派な人になるように努力するんだよ」といふようなことを言っていた。

木造の講堂には、母親に連れられた見知らぬ仲間がわいわい騒いでいたが、私は知っている友達が一人居ないのが急に不安になり、母にくっついていったことをいまでも覚えている。

式が始まってしばらくすると、周囲に居た二三人の女の子が緊張したのか、不安になったのか泣いており、後で母の言っている、沢山の女の子が泣いていた。

式が終って家路へ向う途中、母が「先生の方をじっと見つけて、よくお話を聞いて、よい一年生で来た」と言っていて、嬉しかったことを覚えておる。

今は昔のことであるが、それでいて当時のことを思い浮べるような、あの春の田舎町の若草を優しく撫でて通り過ぎた風のように、そんな気持ちになる。久しぶりに故郷の小学校を訪ねてみたい。

初恋

訓練指導係
相原 進

何故か覚えて、初恋の思い出は美しく忘れがたいものである。初恋という言葉を聞くと、何故か胸の高鳴りを覚えるもの、遠き日に目を輝かせて、恋愛論を語り、友誼論に花咲かせるかのような時代を思い出にほかならないものだ。

私も例外もせず、人並みに胸の高鳴りを感じた事が幾たびかあった。二十数年前の中学生の時、京都市内のキリスト教会の日曜学校に通っていた時のことである。

「モンロー」というニックネームで呼ばれていた年上の少女に憧れたのを覚えている。大人の雰囲気を持ったその少女は、



女優のマリン・モンローに似て、すりと伸びたおらかな姿容にショートカットが良く似合っていた美しい少女であった。初対面の時から、言葉に表わせないものが胸をよぎり、彼女の前では自然に「良い子、ぶりっ子」になっていたようである。数ヶ月した頃、彼女から誕生日祝いに「大地」(パールバック著)にメッセージを書いた贈らされた。感激した事をはつきり記憶している。

その後、どんな理由であったのか忘れてしまったが、彼女は教会に姿を見せなくなり、再び会うこともなくなった。何年かして、彼女の同級生に会う機会があったので、それとなく聞いてみると、結婚したとの事であった。

年をとるごとに、物事にあまり感動することが少なくなってきたが、男のロマンの原点はやはり「恋」することではないだろうか。

人生に「恋」をして、仕事に「恋」をする。そんな真摯な心をいつまでも失わないで人生を歩いて行きたいものである。美しい花を見て、素直に美しいと思える心で……

初恋

第二中隊
第二小隊
米盛耕太郎

初恋、それは期待、不安、いろいろものが混り合って夢見るようなものだ。

私の初恋は高校一年生の時であった。入学して半年、紅葉の燃える季節、当時ラグビー部に在籍していた私は、市内で最も弱いといわれていた我がクラブだけに、練習よりも他のクラブ員との雑談を楽しみにしている毎日を過ごしていた。

チヨコロロト



「初恋と音楽」はよく結びつき、巷で話題になったが、チヨコロロトに想いをよせたものがチヨコロロトにチヨコロロトがうらやましかった訳ではないが、もし彼女が私に口づけするのなら、折騰のようになりたげたい。折騰の真白な陶磁器をながめては飽きもせず、かといって触れもせず、そんな風に君のまわりで僕の一日が過ぎていく……という感じの恋であった。

やがて彼女は親の都合で転校するのだが、それまでの間、私は必ず彼女とデートできると信じて、「神戸食歩き」といふ本まで買って読んでいた……ああ初恋、

出会い

第三中隊
第三小隊
岡本弘三

「友との出会い」それは今から七年前に遡る。高校へ入學するとすぐに、硬式テニスクラブへ入った。

その頃は今の様なテニスブームといえるのはなく、本当にテニスを好む者は少く、一生懸命練習に汗を流していた。

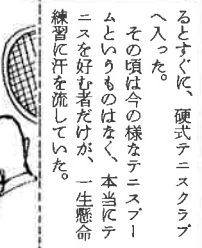
クラブというものは、野球やラグビー等に代表されるようにトレーニングは厳しく、先輩は本当に怖いものであった。その中で我がテニスクラブも例外ではなく、新人部員十四名が四月間で夏休みに入ること、ダブスのペアを決める時期となる。その相手を先輩が決定するのだが、私と君とは、入部時から「ペア」を組もうと、約束していた。私と君とは、中学校は別だったがクラスは同じで、何とか気が合っていた。練習も励まさないが、頑張ることが希望通りペアを組むことができた。

夏休みから秋にかけてコンテスト、放課後の練習と合わせて一日四時間、それと満足足のいくコンビネーションは、二、三位しかできない。二人とも頭の中では「ボールが飛んで来る方向によってどう動くのか」ということは分かっていたのだが、実際に飛んで来るボールがショートであったり、ロングであったり、又、変化球であったりすると、全く、変化球の動きになる。

その事で試合前に悩んだり、暗礁をしたり、でも何回か試合を重ねるうちに、勝てるようになって、高校生活最後の近畿大会予戦においては、京都でも上位に入賞することができた。

コンビを組んだ君は、京都市銀行員である。私は自宅へ帰る度に彼と会い、会話は「もう、以前のようなコンビネーションはできないな」と言っていて、学生時代の一言を懐かしく思い出す。

今後は、テニスではなく長い人生の良き相談相手として、コンビを組んでいきたいと思う。



卒業式。それは、その時まで教員を授けていただいた恩師へ、感謝し、友との友情を確かなものとして「誓い」を新たにすること、というものである。私は、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、そして少し肌合いは違っても知らずに、警察学校と卒業式なるものを六度経験してきたが、最も印象に残っているのはやはり、警察学校の卒業式、以下小学校、中学校、幼稚園、高校、そして大学の順である。

何故、大学の卒業式が印象に残っているか(云々、薄いと云うよりも無いと言った方がよい)だが、それは卒業式の途中、四年間の大学生活を思い起して、いつか大学へ入試に合格してから卒業間際まで、家の近くのドーナツ屋でアルバイトをしていた。勿論、大学の講義には出席して夕方から午後十時の閉店まで、家へ大学へアルバイト家の帰り、返しを四年間続けた。

四年間のそのような生活は、私にとって決して無駄なものではなく、むしろ自分にとって大きな自信となって心に残っている。アルバイトの傍で、授業者、教科書その他の参考書、資料、教材等全てを、常に、客に應對することで、人と話をすることに慣れ、それが警察に入ってから交通取締りや巡回連絡等で大きく役立つこととなった。

何よりも女房と知り合えたこと、人が、人の不思議さと言ふか、そういうことを教えられたように、今でも女房と「あのバイトをしていなかったら」などと話している。

最初に、卒業式とはこういうものだから仕事を貰ったが、この学校に通っている間、自分にはあんなに事をしきたらんと回想する時間、それも重要な卒業式の意義だと思ふ、特に大学時代に思い起せるものがあるといふことが大切なことだと思ふ。そういう意味では、私の大学時代の卒業式は、私自身にとって有意義なものだった。

卒業式

第二中隊
第四小隊
若杉幸彦



これが私の果立ちであった。「ジョン・ジョン」出発時刻を知らせるベルの音、目に一杯涙を浮かべ、私の門出をじっと見守っている母。その母の姿にのみ上げてくその手を握り、言ひようのない淋しさに顔をクランヤクシヤにしたのを覚えている。そして、この時ほど、このベルの音を懐かしう思ったことはなかった。

駅では、高校時代に音楽を共にした同級生、柔道部員達が、私の門出を祝って私を囲むように田陣を組み、一人一つはなむけの言葉を投げかけてくれた。最初は笑顔で応じていた私も、

昭和四十七年三月三十日、生まれ育った郷里の高崎に別れを告げ、立派な社会人になるべく十八年間育てられた両親の元を離れ、大阪へと旅立つことになったのである。



第四中隊
第三小隊
森 博文

昭和四十七年三月三十日、生まれ育った郷里の高崎に別れを告げ、立派な社会人になるべく十八年間育てられた両親の元を離れ、大阪へと旅立つことになったのである。

四人目、五人目となるにつれ、目頭が熱くなるのを隠すことはできなかった。「このまま動かないでくれ、皆と別れたくない、郷里を離れたい。」

私は、神に祈るような気持ちで心の中で叫び続けた。しかし、列車は、私の気持ちを無視するかのようになんとも出発しようとしていた。

列車の窓から皆を見る私の目に飛び込んで来たのは、ホームの隅から、じっと私を見つめていた母と弟の姿であった。私は、ありつきの気持ちを視線を送った。母もわかってたのか、頭を下に小さく振り笑みを浮かべてくれた。

ゆっゆと動き出す列車の窓から身体を乗り出し、私は必死で、「さよなら、さよなら」と連呼していった。

今まではなんとも思わなかった山、海、川までが、私の門出を祝ってくれるかのように鮮やかに目に映った。

これで郷里とも別れか、そう思うと居ても立ってもおられず、この景色を目に焼き付けておこうと時が過ぎたのを忘れて見つけた。

「郷里よ、さよなら」
「友よ、さよなら」
生まれて初めて果立つ私の淋しさは裏腹に、列車の汽笛は音色で鳴り響いて、すばらしい音で鳴り響いてくれた。

回り道

第四中隊 第一小隊

井関 徹

「まいど、社長、もうかりますか」
これが、十年前私の仕事の合言葉のようだった。大学を卒業して飛び込んだ会社は「○○ふそう」というトラックの販売会社である。
全国で採用されたのは何名だったかおぼろげだが、大阪支社に配属されたのは二十三名であった。
現在もセールスとして活躍している同期生は五人位だそうである。
三年間の経験であったが



「招かれざる客(セールス)の悲哀を十分に味わわされた。いわゆる、とびこみで「まいど○○会社です」と訪問しても「うちは○○はいらん、帰ってんか」とすげなく追い帰されたことは数知れず、「どうぞお入り」と言っておきながら「どうぞお入り」と言っていない。これがセールスの宿命といえ、何か情けないような気がして、一台も注文の取れない月にセールスに回るのが嫌で、同僚と朝から麻雀、夜にはビールと生活も荒放れだったように記憶している。

考えてみれば、いい客はずで先に先輩が受けており、我々新人は残りの落ちこぼれ。ダンブの二台持ち、白トウ、篠道の経営する会社等不良ユーザーばかり。このような状態で売れと言われてもどうしようもない。たまたま注文が取れれば不渡りをつかまされ、口から出るのは愚痴ばかりであった。

しかし、我々新人もようやく仕事に慣れ、二ヶ月に一回のユザーとゴルフコンペに参加させてもらえるようになり、他の先輩セールスが受けているのを見かねて、私達も受ける機会があり、「私達も今は社長と呼べば、保有車両も二十台程になったが、○○の方が来られた当初は、トラック一台の個人営業だった。それが私も必死に働いてきたが○○の方にもよく世話してもらって、これまで成長できたと思っている」という言葉をよく耳にするようになった。

「セールス」とは品物を買ってあげる。人間、信用を売って立っ人間を知らしめること。それが「セールス」の原点である。テリトリーが悪い、経済情勢が悪化する、自己の未熟さ勉強不足を棚にあげ、責任転嫁して自分の自分を情けなく思ったもので

結局、セールスの経験は三年だけ、足を踏み入れたという程度で、警察社会に方向転換したのだが、この経験は、私自身にとり、回り道だったとは思われない。大学を卒業するまで何の苦勞もなく過ごしてきた私自身への警鐘であり、試験であったように思っている。

前職の想い出

隊本部警備係 新延雄二郎

私が、前職である愛知県豊田市のトヨタ自動車工業(就職した動機は至って単純で、好きなサッカーができたから)にたまたまそれだけであった。男が一生を賭ける職業を選択する際に重視すべき無風、将来性等については、一切無心であった。

勿論、フォア・ザ・カンパニーといった職業倫理などとは、およそ無縁のスポーツ馬鹿社員であったと思う。その証拠に、入社面接の際、「趣味は何か」と聞かれ、即座に「マージャンです」と答えたほどである。

トヨタは、経済大国日本の旗頭として自他とも認められた大企業であり、本社従業員だけで府警降下の豊田市は、下請会社を含め市民のほとんどがトヨタと何らかの関わりをもっている典型的な企業城下町である。

私の仕事は、警察における厚生課のような部署で、主に社員福利厚生を担当していた。学生気分が延長であった私にとって、車を乗り回し(勿論トヨタ車)、トヨタ車以外だと通動のガンソングを支配された。いささかツカレを思わせる存分、職場では多くの女子社員に囲まれ、当

「おまえ一人でも仕事をやっていたら、いざ第一線。屋の顔と夜の顔を合わせ持つ南警察署、それが私の赴任先だった。」



初は、こたつの中の猫のように幸せを満喫していた。
しかし、強い保守的地方にありがちな、奇矯な大樹の陰の下の考えを持った多くの人の干渉し、「自分とどうしようもない生を終るのか」と思うようになり、何か自分の力を試せるやりのある職業はないかと悩みに悩んだ末、現在の警察官という全く知らない職業を選んだのである。

転職して一度も自分の選択が間違っていたことはいと自負していたが、現在では、なぜ初めから警察官にならなかったのかと悔い、後悔はなのだから。
ええい、緊要一番ここであり、何もわからず右往左往。しかし御安心あれ、鬼のようだがとても情が厚い諸先輩の手取り足取り教えてもらって、毎日が緊張のうちに過ぎていった。他署では味わえない機動隊ならではの醍醐味を経験させてもらい、苦しくも楽しい、男らしく若者らしい波乱万丈の日々である。

この道を求めて

第三中隊 第一小隊 和田 晃

幼い頃より警察官である父を見てきて、その辛い事ばかりが目につき、時折父の同僚から「警察官になるか」という冗談とも真面目にもつかない質問に即座に「いやだ」と答えていた。青春時代を迎えて人生の岐路に立った時、自分なりに生き方を考えた末、父親の正義感に燃えたあの記憶は、結局はした眼が忘れられず、結局はこの道を選んだ。

昭和五十四年四月一日、私は桜舞い散る大阪府警察学校への道を開き、この道への第一歩である不安な期待に満ちた一年間、だが徐々に蓄積されていった使命感と誇りが、この道を選んだことが決して過らなかつたことを確信したのである。様々な

な苦しみを涙に流して、晴れて卒業。いざ第一線。屋の顔と夜の顔を合わせ持つ南警察署、それが私の赴任先だった。

毎日毎日失敗の繰り返し、これを毎日叱咤激励された。コ長。昨日叱咤激励された。コ長。昨日叱咤激励された。コ長。昨日叱咤激励された。

青天の霹靂、「巡查 和田晃、第一機動隊勤務を命ず」嗚呼、第一機動隊勤務を命ず。嗚呼、第一機動隊勤務を命ず。

現在にはまだ暗中模索というラトルを放ちながら。昨日より今日の、今日より明日の自分を求めて努力している。この道を求めて、この道は自分自身で、明日は精になる。

この春の異動で、九州管区機動隊の連隊長を命ぜられた。伝統ある九州管区機動隊の仲間入りをしたことに大きな誇りを感じている。



県警便り

機動隊独立発隊式

山梨県警察

山梨県警察機動隊は四月末日、県警本部より約七、八両方の山梨県中巨摩郡市町の新隊舎において、庁舎落成式と併せて機動隊独立発隊式を行った。

山梨県警察機動隊は、昭和四十四年に専任隊員が配置され、警備第一課の附置機関として存在してきたが、隊舎はなく、甲府警察署の四階を借借していた。それがこの度の県警組織規則の改正により、新たに所屬として独立することになり、これを契機に隊舎も上記地に新築された。

当日は警察庁、岡村警備課長、関東管区警察局長、鹿島警備課長、園東管区警察局長、米賀を招いて盛大に庁舎落成式と発隊式が行われ、菊岡・県警本部長の式辞、米賀の祝辞のあと、岩瀬俊雄・機動隊長が「治に居て乱を拒否し、日々訓練に励み、国民の信頼と期待に応えていく」と力強く誓いの言葉を述べ、全員が機動隊歌を斉唱して無事終了した。

なお建物は鉄筋コンクリート二階建て、菊岡・本部長命の「疾風突」が設置されている。

この春の異動で、九州管区機動隊の連隊長を命ぜられた。伝統ある九州管区機動隊の仲間入りをしたことに大きな誇りを感じている。

レンジャー訓練塔が完成

福岡県警 第一機動隊

福岡県警第一機動隊で、昭和三十七年に建設されたレンジャー訓練塔の念願であったレンジャー訓練塔が昨年十二月二十五日に完成した。

今年春の訓練開始式には、隊長以下幹部幹部参列のものと、設計担当者である本多隊長のセーラー渡橋に始まり、懸垂降下、リベリング降下など、約一時間に行われ、妙技を披露し訓練塔の完成を祝った。

この訓練塔は訓練経験に基づいた設計で、渡橋、懸垂降下、リベリング降下、フットロップ、突入降下等、総合かつ効果的に訓練ができるよう設計されている。

当隊レンジャー部隊は、隊長以下二十六名、治安維持機動隊以下、山岳救助、空中機動隊、都市災害救助、水難救助、爆発物処理、対銃器活動の特殊任務を担当しているため、隊員には厳密さと迅速な行動力が要求される。各隊員は、それぞれを機動隊の強化に努めている。

この春の異動で、九州管区機動隊の連隊長を命ぜられた。伝統ある九州管区機動隊の仲間入りをしたことに大きな誇りを感じている。

職責の重大さに身の引きまがる思いである。過去少なからずいわゆる警備実施を体験してきたが、その中でも昨日のことがよに思い出される。昭和五十五年の三池争議の警備である。九州管区学校の高等部正科に侵入中だったが、正科部隊として現地に争議終了時まで投入された。

現時では警備器材も完全でなく、現在のように大層なものがたいて、緊迫した夜投石の現場に赴くときは、防護衣がわりに胴巻についた週刊紙をまきつけて警備にしていたのである。また、出勤初期の段階では、宿泊施設が完備されなく、コンクリートの上にかさを敷いて星空を眺めながら仮眠をとったのである。

さて、連隊長に就任するや直ちに広島県警に応援出動した。九州の各県警隊は、北九州市門司区のと布川パーキングエリアに集結、九州管区警察局長の田島、公安部長の辻村視察を受け、私機動隊を行つたわけだが、私気軒昂、精気みなぎる平均年齢二十三年の若い集団に、頼もしくかつ力強さを感じた。

現在、新隊員百六十八人を迎えて合同訓練を実施中であるが、各級指揮官の指導よろしく、各県警隊は頼もしく、放課後も駆け足や自主訓練を行うなど、新緑に映える三万坪の広大な九州管区学校は活気に満ち溢れている。私がここ十年を続けてきた毎朝五キロのジョギングも最近では、若い隊員に負けずと思わず力が入っている次第だ。

この春の異動で、九州管区機動隊の連隊長を命ぜられた。伝統ある九州管区機動隊の仲間入りをしたことに大きな誇りを感じている。

この春の異動で、九州管区機動隊の連隊長を命ぜられた。伝統ある九州管区機動隊の仲間入りをしたことに大きな誇りを感じている。

読者の広場



経営者の質

反町勝 晤

世界中の各国が、昭和初期以来の同時進行型不況に入っているというところで、われわれの周囲も御他聞に洩れず誰に聞いても景気の見通し真つ暗である。倒産の件数もここ数年、急速に増えて、一千万以上の負債で全国倒産が月間千五百件といわれ、いわゆる危機ラインを連続オーバーしている。倒産原因としては、営業不振、連鎖、融手といった不況型が多い。

不況には倒産がつきものといはれるが、倒産の話はまよく度々、いつも考えさせられることがある。それは、事業主の責任感の欠如であり見通しの安易さである。

事業には元手が要る。失敗すれば元手がなくなる。一といふたうちは、どうなるかと勝手なのだが、自分の元手だけでなく他人にまで損失をかけることになるから問題なのである。どの日本人は、とかく貸し借りでイージーである。飲食店でもツケがきかないといふ敬遠されてしまふ。アメリカのパーで現金引換えに飲み物を出しているのを見て驚く日本人が多いが驚く日本人の何かが、神経が麻痺しているわけである。

よくいへば日本は企業間信用が進んでいるといふことなのだが、供与された信用を自分の元手と混同してしまふから、事業運営に対する責任感が薄れるのだから。

西ドイツでは、債務超過会社に対して政府に解散命令権がある



「トコトンまで生き抜こう」

高橋 悠紀夫

「トコトンまで生き抜こう」

高橋 悠紀夫

「トコトンまで生き抜こう」

高橋 悠紀夫

「トコトンまで生き抜こう」

高橋 悠紀夫

「トコトンまで生き抜こう」

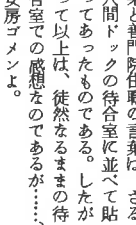
高橋 悠紀夫

「トコトンまで生き抜こう」

高橋 悠紀夫

「トコトンまで生き抜こう」

高橋 悠紀夫



「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

「現代病」

芥川 準

- 平和に尽くす
- はばたく機動隊
- 大内俊司
- 鈴木 實
- 杉尾栄俊
- 谷本隆夫
- スチールセンター
- 大東港運(株)
- 高周波熱錬(株)
- 木村政次
- 黒田 一
- 村上益一
- 川淵長一
- 丸定産業(株)
- 明鋼材(株)
- 田島鋼材(株)
- 伊勢湾海運(株)
- 中村 一
- 三和鉄構建設(株)
- 不動鋼板工業(株)
- 飯田産業(株)
- 北越メタル(株)
- 佐藤製線所

今月の言葉

名古屋駅から名鉄電車で四十五分、知多半島を南下した処に、美浜町和という三河湾に面した古い海水浴場と漁港がある。ここに沖繩海浴記念、サンフランシスコ沖繩間単独ヨットレースで優勝した、戸塚宏氏を校長とするヨットスクールがある。最近では、このヨットスクールは、家庭内暴力・登校拒否・暴走族などで、家族の手に負えない情緒障害児を、その独自のスパルタ教育により立派に立ち直らせることで、全国にその名を知られ、入学希望者が常に数百人、入学の順番を待っているという盛況である。

情緒障害児

今日の情緒障害児は、最近三十年にわたって、幸運にも続けられた経済の高度成長の幸の中からは生れたという特徴がある。然し、日本の経済は高度成長の時代が終って、低成長乃至ゼロ成長の

時代に移ったようである。今迄の、高度成長を可能にしてきたものの美意識が進むにつれて、日本が今日置かれている危機的様相が、漸く露病根を露にしつつある。日本人はこの三十年間、道を間違えていたような気がする。もう一度、原点に戻る必要があるのではなかろうか。明治維新当時の、或いは終戦直後の素朴な精神を回復しなければ人間として最も大切なものが失われていくのではなかろうか。

先日NHKのテレビで、第一臨調

第三部会の答申案をめぐり関係者の多元討論会の放映があった。今回の行政改革は、日本が現在置かれている危機から脱却する最後のチャンスと思われ、これを護り、育てて行くこととする気魄が感じられないのが私には何よりも不満に感じられた。丁度、家庭内で子供が過保護に甘え、欲望の充足のみを動き、自ら努力を喪失していく情緒障害児同然の、大人の姿があったのである。行政改革は、このように大人を再教育することに始まり、日本人に自ら力立つ意欲と力を与えて終るものと、考えているのである。

千葉と中国支部総会盛大に 交流の花が二つ咲く 感謝の交歓パーティ

国歌斉唱、隊員殉職者に対する黙禱を捧げて内田順夫・千葉支部長が歓迎の挨拶。隊員は入場時に吹奏していた「この世を花にするため」の歌とあり治安維持に日夜精進されている。今後とも支援を続けてゆくこと述べた。

励ます会を代表して鈴木實・副理事長が「あさま山荘事件を契機に、有志がこの励ます会を結成したが、順調に地道に全国に定着してきた。とりわけ千葉県は成田空港を抱えて警備事象が多く、隊員達の苦勞に感謝している。これからも励ます会の輪がさらに大きく広がるよう努力して行く」と力強く語った。

来賓代表として沼田・県知事、大波多・警察本部長と川代・千葉市役所助役がそれぞれ招待を

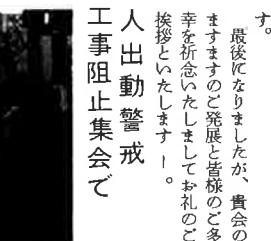


足してから満六年に入った中国支部総会が、六月十八日十七時三十分から機動隊員等百三十名、会員二百名によって、広島県社会福祉会館で盛大に繰り広げられた。

柳本武一・中国支部世話人が「励ます会中国支部は昭和五十二年三月、会員四百六十一名

でスタートしたが、現在は会員数が六百五十三名にふえた。機動隊員も多く警備事象によって平和な生活が送れることに感謝している。今後とも励ます会をさらに拡大していく」と挨拶。これを受けて仲山順一・中国管区警察局長と郡政太郎・広島県警察本部長がそれぞれ励ます会に対する感謝の言葉を、大要次のように述べた。

三里塚・芝山連合空港反対同盟主催の「空港設置閣議決定十六周年弾劾七・四全国総決起集会」が七月四日、千葉県成田市三里塚第一公園で開かれた。小雨の中、集会には主催者発表で九千三百人(警察調べ四千百人)が参加、氣勢をあげた。集会後の午後四時すぎから空港南側周辺で約四キロをデモ行進同六時すぎには空港南側三カ所で古タイヤ約三百本を燃やし、火花やバールを打ち上げた。この集会に先立って七月一日には、東京都内の六カ所警察官派出所で、過激派セクトによる放火があったことから、警察庁は二日から五日の間、五千人の機動隊を出動、警戒に当たった結果、大きな混乱はなかった。



はげまし

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

謝辞にたつた鶴岡・第一機動隊長は、融和と団結で益々精進な部隊作りを行ない、治安維持に専念する決意のほどを披露している。

菅・浦一・支部世話人の乾杯の音頭で和やかな懇親会に移り、正田洋太郎・名古屋支部世話人の万歳三唱、宮川安弘氏の閉会の辞で幕を閉じたが、この国民と隊員を結ぶかけ橋の輪はこれからも長く大きく有志によって引継がれている。



昭和四十五年頃の機動期に比べると、現在は一見平穏のようである。しかし不測の事態に備えて隊員達はきびしい訓練を続けている。これは忍耐を要することだが、国民の平和を守ることに警備の根幹である。百日の訓練が一旦事ある際に即対応できるものと肝に銘じている。

橋本太一郎氏の乾杯の音頭を

きつかけに懇親パーティーに移ったが、会員と隊員の「ご苦労さま」「ありがとうございます」の交歓風景が会の熱気をさらに盛り上げるのに役立った。松田武彦・名古屋支部世話人の万歳三唱で式次第は滞りなく終わったが、こうした励ます会が心の大きく支えられているというのが隊員達の異口同音語声であった。



機動隊員等を励ます会
中国支部総会

八周年記念会場の期待に
八周年記念会場の期待に
八周年記念会場の期待に

八周年記念会場の期待に
八周年記念会場の期待に
八周年記念会場の期待に

戦 挑 若 さ で

警 視 庁 機 動 隊

若さの真つ只中にある機動隊員は、治安維持という大目標の中でそれぞれが切磋琢磨している。自分に合った趣味と情熱を見出してそれに打込んでいる。もしもひとつの試みがうまく

いかなかったとしても、それはひとつ先へ進むための段階であって失敗ではない。なぜならば青春の辞書には、失敗という言葉はないからだ。

油 絵

一機 宮垣正秀

第一機動隊に属して、はや半年が過ぎようとしている。所轄でのマンネリ化した生活から若さが取り柄の機動隊生活に移り、武道小隊での厳しい訓練、警備活動と忙しい毎日にも最近やっと慣れ、余暇を有効に過ごすために、以前からやっていた油絵を始めた。

油絵を始めた動機は、学生時代一枚の絵に出会ったことだ。きっかけ、題名、作者は忘れられ、春の風景画で、絵から感じられる自然の雄大さ、力強さはもちろん作者の気持までも伝わってくるような絵であった。

実際描いてみると、なかなか思った様な色は出ず、描いては消し、描いては消しの連続で、一枚のキャンパスに絵の具をセツトを、全て使いきってしまうこと



ともあった。そのような時、こんな絵はやめてしまおうと思ふこともあったが、それでも苦勞が出てくるうちに一枚の絵が出来ると、とても嬉しく感動する。

しかし何枚ものキャンパスに絵の具を落していきうちに、その時の心の状態によりその絵がやさしくなり、荒々しくなるということがある。また、白い一枚のキャンパスに色々々色を置いていく、いわば自分の世界を描き込めることにかんてくる。

夕食を済ませた後、ラケットを持って、壁にボールを打ち返したり、時を忘れて卓球に没頭したものだ。

卓 球

二機 鈴木一明

去る三月六日に行われた警視庁職員卓球大会に初めて参加した。余り練習も出来なかったが成績は当てにしていなかった。勝負は時の運というが、図らずも準優勝という好成绩で銀メダルを掌中に取ることが出来た。

思えば、私が卓球のラケットを握ったのは小学校六年生のころである。過去を振り返ってみると、小学校時代、自分の憧れな小遣いをためて買ったラケットで仲間達と打ち合った日のことが、きのうのことのように浮かんでくる。

夕食を済ませた後、ラケットを持って、壁にボールを打ち返したり、時を忘れて卓球に没頭したものだ。

も強い魅力を感じる。私の絵は、まだ始めたばかりなので、自分で納得はいってませんが見て感動したり、その絵から若い力を感じたりも出来るまでにはいたらない。私は、うまく描けないが、私の絵から我々機動隊員の若さ、力強さ、さわやかさを感じ取ってもらえるような絵を描くつもりだ。

それ以来、私は卓球に魅せられ、ただ六年間一途に卓球を愛し続け、苦しいこと、楽しいこととどろどろと体感して来た。コートの上におどる小さな白球に全神経を集中し、強烈、柔軟な動きでリズムカルにラリーを続ける楽しさ……これこそまさに卓球競技の醍醐味である。

このような気持ちを持って描いた絵を皆さんから、私の気持ちを汲み取りながら見てもらえたらと思っている。

最後に、自分に合った趣味を持つということが、仕事に対しての励みとなり、機動隊生活に潤いを与えてくれる。この油絵という最高の趣味を末長く続けていきたいと思ふ。



カ メ ラ

三機 玉手輝美

「三つまで若い」と思ふ心と体、三十一歳を迎え、若い時には感じもしなかった若さを感じている頃である。

誰しもが感じる青春時代、そしてその中で養育されたものが以後の人生を大いに左右するものであることを考えるなら、それは人生の道標とも言うべきものである。しかしながら多くの若者は漫然と時を過ごし、「ふけた若者」と化しているのを見るにつけ嘆かわしさを感ずる。

老けることへの抵抗というのか、

何か、趣味を探し方がいたら、是非この「写真」をやってみてはどうかだろうか。私は通動のときもカメラを持って通っている。家庭サービステキな通動のときは、もちろんできるだけいつも肌身離さず持っているように心掛けて。そうすることで、写真技術の向上はもちろん、自分自身を見つめることにもなる。これからはカメラをよき友達としていきたい。



「お、新隊員!! エアーカーとエアソーを持ってこい」とときどきと動く組長から声が飛ぶ。資材車に全力で駆け戻り、ドアを開けると、どこに何が入っているか覚えていない。各ドアを次々に開け資材を捜している組長がやってきた。どこに何が積んであるか、よく覚えておけと大目玉。幹部の的確な現場指揮と先輩の迅速な救助活動により難なく負傷者を救出し、救急隊に引き継ぐ。その間約五分、先輩達の素早い救助活動に感心すると同時に、新隊員とはいえない。半人前の自分がみじめになって、俺だ」と負け気味の強い私には一層やる気がわいてきている。

レ。レスキュー要請事案は交通事故からエレベーター事故まで広範囲にわたる。それだけに救出に必要な専門的知識と確実な応用力が要求される。強じんな体力と技術の向上は、尤もな訓練によって培われる。ロープ一本に我身を託し、高所からのけん垂降下。また高所

機 動 救 助

四機 奥富 正

私は機動救助隊の一年生。初出動は交通事故現場であった。高らかにサイレンを吹鳴し、現場に到着した。交差点の中央で大型トラックと普通乗用車が衝突、付近にガスの破片が散乱し、オイルが道路一杯に流出している。乗用車の運転者は前頭部を負傷、顔面を血だらけにして意識ももうろうとしており、しかも意図的に体をなだめられ脱出不能の状態である。



幸い生命に別状はないようだ。初めてみる凄まじい事故現場に新隊員の私はどうしていいかわからず、ただうろろするばかり。

「おい、新隊員!! エアーカーとエアソーを持ってこい」とときどきと動く組長から声が飛ぶ。資材車に全力で駆け戻り、ドアを開けると、どこに何が入っているか覚えていない。各ドアを次々に開け資材を捜している組長がやってきた。どこに何が積んであるか、よく覚えておけと大目玉。幹部の的確な現場指揮と先輩の迅速な救助活動により難なく負傷者を救出し、救急隊に引き継ぐ。その間約五分、先輩達の素早い救助活動に感心すると同時に、新隊員とはいえない。半人前の自分がみじめになって、俺だ」と負け気味の強い私には一層やる気がわいてきている。

「おい、新隊員!! エアーカーとエアソーを持ってこい」とときどきと動く組長から声が飛ぶ。資材車に全力で駆け戻り、ドアを開けると、どこに何が入っているか覚えていない。各ドアを次々に開け資材を捜している組長がやってきた。どこに何が積んであるか、よく覚えておけと大目玉。幹部の的確な現場指揮と先輩の迅速な救助活動により難なく負傷者を救出し、救急隊に引き継ぐ。その間約五分、先輩達の素早い救助活動に感心すると同時に、新隊員とはいえない。半人前の自分がみじめになって、俺だ」と負け気味の強い私には一層やる気がわいてきている。

「おい、新隊員!! エアーカーとエアソーを持ってこい」とときどきと動く組長から声が飛ぶ。資材車に全力で駆け戻り、ドアを開けると、どこに何が入っているか覚えていない。各ドアを次々に開け資材を捜している組長がやってきた。どこに何が積んであるか、よく覚えておけと大目玉。幹部の的確な現場指揮と先輩の迅速な救助活動により難なく負傷者を救出し、救急隊に引き継ぐ。その間約五分、先輩達の素早い救助活動に感心すると同時に、新隊員とはいえない。半人前の自分がみじめになって、俺だ」と負け気味の強い私には一層やる気がわいてきている。

「おい、新隊員!! エアーカーとエアソーを持ってこい」とときどきと動く組長から声が飛ぶ。資材車に全力で駆け戻り、ドアを開けると、どこに何が入っているか覚えていない。各ドアを次々に開け資材を捜している組長がやってきた。どこに何が積んであるか、よく覚えておけと大目玉。幹部の的確な現場指揮と先輩の迅速な救助活動により難なく負傷者を救出し、救急隊に引き継ぐ。その間約五分、先輩達の素早い救助活動に感心すると同時に、新隊員とはいえない。半人前の自分がみじめになって、俺だ」と負け気味の強い私には一層やる気がわいてきている。

自 主 ト レ

五機 魚住俊彦

これが始まる物語は、全て実話である。「若いね、鍛えられね」魚住青年が道場、バーベルやダンベルを駆使して、体力作りを励んでいる。廊下を通る先輩と同僚から、そりという言葉をかけられる。その時、魚住青年は白い歯をみせてはにかんで、すぐまた体力作りを励んでいる。

それが、警察官となり警察学校を卒業し、所轄でのぼんやりと生活してきて、せい肉青年となっていました。そのせい肉青年にとって機動隊の新隊員訓練から始まった動機は、はっきりいってきついな一言であった。完全装備、大箱携行でのかけ足訓練、柔道、水泳大会そして成田等の警備実施。

今、彼に必要なものは、青春時代の体力であった。負けてはいけな、遅れてはいけない、皆に迷惑はかけられない。そんな気が彼を変えた。彼は決心した。強くなる。体のせい肉を落とす。力をつけよう。それからである。人のよい道場の片隅で彼の姿が見られるようになったのは、以上が今の機動隊での生活である。彼、魚住青年は、この私



今、彼に必要なものは、青春時代の体力であった。負けてはいけな、遅れてはいけない、皆に迷惑はかけられない。そんな気が彼を変えた。彼は決心した。強くなる。体のせい肉を落とす。力をつけよう。それからである。人のよい道場の片隅で彼の姿が見られるようになったのは、以上が今の機動隊での生活である。彼、魚住青年は、この私

である。着陸して強く感じたのは、機動隊員は強くなければいけない。精強であらねばならぬという事だ。

物脂風に少し誇張した面も出てきて書いたが、本当にそう感じる。青春時代は終わったのはなく、まだ青春のど真ん中にあるのだ。

機動隊の在隊期間は三年といわれる。私は、まだ一年が過ぎたばかり、残りの在隊期間は思い切り若さに挑戦したいと思っ

五月の陽光の中、隊長室で：隊長「魚住君はやったね」「二中隊長」やばり、やりましたな「隊長」たいたいのだ。これから頭張るよういって、こんなな話を聞けるように、さあ若さに挑戦しよう。

将棋の心

六機 佐々木孝明

屋外でテニス、野球等のスポーツで盛んに汗を流したりすることが多くなった。私はこれらの体を使うスポーツが好きだが他に前々から好きなのがある。「それは何ぞや」といわれるが何のこはなし、将棋である。他人にいわせれば「そんな面白くないさ」といわれるかも知れないが、将棋のおもしろさ美しさを知らずこれほど興味をそそるものはない。

私が将棋を始めたのは小学三年の時、軍隊あがりの父がやっていた将棋を見よう見まねで覚えたのがきっかけであった。私は決して将棋は強くないが、将棋にある魅力を感じる。それは戦国時代の戦国絵巻を展開してくるからだ。

戦国の武将たちは一にも二にも相手の領土を獲得し、天下を取ると必死だった。それが将棋と似ている。二つの王が陣陣営をとり、いかに早く敵の首の首をとるか、その為には自分の手持ちの駒の動きを敵に読まれないように、また敵の動きを読みながら敵地に進入してゆく、といったふうには味方ではない面白さがある。

では美しさとは何かと言うと、

将棋の一駒に筆で書かれた文字である。そればかりではない、出来ての駒は墨のにおいと木の香りが何とも言えない味を演出してくる。それに付られて駒をさす音の響きは最高だ。

将棋のある名人が「駒は人の通り動き、気が立っていい良の考えも出ない。また、駒を一つ動かすと将棋は出来た。一つづつなら新しい駒をつけたせいでいいか」と思っているが、一つのひしさを全部かえないうつろいがある。そして全部駒をかえれば手にな

このように将棋を始めてから気が落ちつくようになり、物を大切にできるようになって来た。地味で若い人があまりやることではない。若さで挑戦するが、一味違った挑戦のしがいがあり、それを大成出来ればこの上ない喜びと満足感を味わうことが出来るだろう。これかろう一つの趣味を土台に、レクリエーションを増やし、それを勤務にかいし、何事にも挑戦して行きたい。



レンジャー

七機 鈴木 勉

物物い数の警察官が、にぶる光る大楯を構えて二重三重に取囲み、その後方に五八のナイパーがライフル銃を構え、その銃口はすべて前方のビルの上階の窓に向けられている。殺気立った空気に包まれたそのビルの上階の窓から、二つの影が静かに滑るように壁を降りてき



て、三階の窓の両側でビタリと止まる。そのひしりの影が急に壁を蹴り、大きくジャンプしながら両足で窓ガラスを蹴り破って中へ飛び込み、続いてもうひとつの影も吸い込まれていく。しばらくして青色のレンジャー服の男が、窓から狂った様に叫ぶ。「犯人逮捕！人質は無事だ！私がレンジャー部隊に対して抱いていたイメージは、いつもこの様に殺された肉体和技で、緊迫した現場に必ずしもなく出現する「静と動」の姿であった。

昨年十月、「鈴木巡査部長は第一中隊第一小隊第一分隊長」と申告したのがレンジャー隊員としての第一歩で、初めての機動隊勤務の初めのレンジャー小隊と初めてつくしてあり、「何とかなるだろう」とたかをくくって初訓練に参加してみれば、「こりゃ、荷物をまとめて田舎へ帰らなければ」と考えさせられてしまった。

レンジャーは、塔に展開されたザイルを、腰に巻いてミニ虫のように跳びついで渡っていく。垂直な壁をザイル一本で前向きに駆け降りる者、若者、軽重とこなしているその姿は、まさに忍者のようであった。

「たいしたものだ」と感心しながら見とれていた。「さあセーラー渡りやってみよう」と小隊長の声がかかる。レンジャー塔に昇り、下を見たと、思わずしりこみして見ると、そんな気が知らぬかのように「姿勢を取れ」と鬼のような小隊長の声、こわくわくとザイルに腹はにける。「ザイルから手を離して横に揺られる」と手離したら落ちてしまつてはいないか、手を離そうとするが、意に反し

て手がザイルから離れようとして、「早くしよ」と再び小隊長の声。俺が悪いんじゃない、この手が悪いんじゃない、手を離して横に揺られる。ちよと横に揺られたけど何とか姿勢がとれた。ぼつとする間もなく「前へ」の号令、半分もいかないうちにザイルの揺られが激しくなり落ちてしま

一瞬、体の中に冷気が流れたが命綱で宙吊り。ひと苦勞してやっと元の姿勢にもどる。下から同僚の励ましと声がかかるけど聞こえやしない。進んで落ちることを三回も繰り返してやっと渡り終える。腕がカチカチになり、この寒さの中、額に冷汗が滲んでいる。

今日も手のマメをつぶしながらも歯を食いしばり、若さで訓練に励んでいる。

重量挙げ
留置管理課
元八機矢萩美行

「一、二、三、四……」声をかけながら歯をくいしばる。あと残り一セットだ。額からは大粒の汗が流れ落ちる。ランニングの後は、腹筋、腕立て伏せ、ベンチプレス、体力作りと健康のため、毎日、二、三時間をかけて、トレーニングで汗を流す。これを私の日課としている。

初任科以来、警視庁の重量挙げ部の一員として、トレーニングしてきたとき、身体を動かさないと何かも足りない気がした。トレーニングで汗を流した後の気分は実に爽快だ。幸いわが隊には、重量挙げ練習場、そして、トレーニング室があり、器具等の設備が整っている。そこで、自分もトレーニングに励むことが出来る。

機動隊員は常に、体力・気力が充実していなければならない。現在は、混乱した現場での整備はないが、いざ混乱した現場で正しい判断力で適正な警備を行なうには、何よりも、まず、堅固な体力・気力を持っていないければならない。

そのためには、柔剣道、警備訓練で精進し、また、普段の自主トレーニングに励むことである。公私共に訓練に励み、体力・気力を養っている。機動隊員が、たたく自慢できることは、警察官を拜命してから一度の病氣もなく、健康な生活を送って来たことである。これという日も努力し、トレーニングをしっかりと行っている。

奮然と考えたが、時々、病気で「二、三日休んでみたい」と思う程健康である。この世で一番幸福なことは、金銭でも物でもなく、健康な心身で仕事に励み、毎日の生活を送れることではないだろうか。

今までは、若い隊員には負けたくないという気持ちでトレーニングに励んで来た。今後負けたくない、という気持ちでトレーニングに励み、健康管理と体力・気力の充実を図って行きたいと思っ

現在は三十歳を過ぎたが、いつまでも二十歳代の気持で、トレーニングに励み、心身を鍛えて行くつもりである。さあ、今日も若さに挑戦だ。

九機 田辺雄一

私が将棋を覚えたのは小学生のころだ。近所の同級生と初めは歩回り、山くすし、はさみ将棋にふけり、いつの間にか将棋を指すようになった。一、将棋の楽しさ、敬して

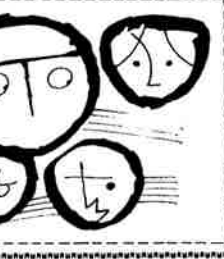
私は将棋は小さな宇宙だと思っ

今まで数知れず指されたプロの棋譜を鑑み並べてみて、どれ一つとして同じ棋譜は残っていない。今やコンピューターの時代である。しかし、コンピューター

私が将棋を覚えたのは小学生のころだ。近所の同級生と初めは歩回り、山くすし、はさみ将棋にふけり、いつの間にか将棋を指すようになった。一、将棋の楽しさ、敬して

私は将棋は小さな宇宙だと思っ

今まで数知れず指されたプロの棋譜を鑑み並べてみて、どれ一つとして同じ棋譜は残っていない。今やコンピューターの時代である。しかし、コンピューター



紹介

警護勤務 (SP)

機動隊員の警護勤務は、重防警戒をとおしての官公邸及び宿舎警護、外国要人の来日に伴う身辺・泊道・行先地警護等及び、昼夜警護に従事していく。近年、外国要人の来日が相次ぎ、加えて内外の警護を取り巻く諸情勢は極めて厳しいものがあり、警護員としての任務は重大である。

指定警護員

昭和三十七年から要人等の警護活動の万全を図るため「指定警護員制度」を定立し、各隊において合気道研修終了を中心として指定警護員を養成している。

警護小隊

昭和四十一年十二月二十六日、各隊の合気道研修終了者を第一機動隊に配置換えし、国策政要人等の身辺警護にあたる警護小隊を第一機動第三中隊に編成換えとなった。各隊においても指定要員十名を警護小隊として特定中隊に配属させ運用して来たところ、特定中隊から十名余の隊員が派遣される中隊運用に支障があるため、各中隊に均等に配属させ現在に至っている。

何故なら、将棋とは創造力・経験・技術・体力・気迫・全ての物が有機的複合的にかみ合って初めて生まれてくるのに対して、コンピューターは人間の仕組みをプログラムによってのみ機能するプログラムが生れ、差ができるのではないだろうか。

というわけで私は、将棋ほど高度なゲームはないと信じている。それだけに相手に勝つための努力たるや並大抵のものではない。よく「一円を笑う者は一円に泣く」と言いが、将棋においても一歩を笑う者は一歩に泣くという。プロの将棋とはこの一歩をめぐってまさに死闘を繰り返している。このように「一歩千金」と呼ばれているのもこうした勝負の厳しさから生まれた格言だと思っ

二、目標設定

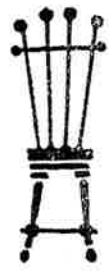
初段を定めたとき、次のように目標を設定した。それは半年で一つ昇段することだった。人間の執念といふのは恐ろしいもので半年で二段、そして約五ヶ月で三段に到達し、更に半年で四段に到達することができた。

このような体験から人間が本當に真剣に物事に對して取りくみ、目標を設定し、実行した成果が得られると信じている。将棋は礼に始まり礼に終る、といわれる紳士のゲームであり、勝つて負けても相手に感謝する気持が大切だと思っ



- 書中お見舞い
申し上げます
- ゴーゴ引越
 - サービス(株)
 - 周東商会
 - (学)嘉悦学園
 - 岡部(株)
 - 光洋商事(株)
 - 次郎丸嘉介
 - 東南貿易(株)
 - 高周波熱錬(株)
 - 市原澤次
 - 高島浩一
 - 西戸栄一
 - 加納鉄鋼(株)
 - 松田鉄鋼(株)
 - 三菱商事(株)
 - 名古屋支店
 - 大和重工(株)
 - 堀口海運(株)
 - 豊鋼材工業(株)
 - 藤田金属(株)
 - 近藤与助工業(株)
 - (株)小山田工業所
 - 北海鋼機(株)

読者の広場



フォークランド

紛争の報道

S・T

この紛争は一体どちら側に理があったのか、あらゆる場所から論議されているが、まずアルゼンチンが国際法を犯して実力占拠したことは事実であり、「百五十年かけても英領に話し合いの誠意がなかった」としても力づくの行動は是認できない。

しかし、だからといって英国が武力で現状を回復したことも正当化されない。「敵対行為の中止・紛争の平和解決」を求めた安保理事会の決議を英国も尊重すべきであり、「ヘイグ米国務長官や国連のデクエアル事務総長の調停工作にも応ずる余地はあった」と思う。

もともと紛争を起したアルゼンチン軍政権には、経済不安という内憂を外部にすり変える意図がうかがえ、挑戦を受けたサッチャー英保守党政権にもここで強気な対応を示さなければ内政がゆらぐという気持ちはあったろう。国民の幸福というより政府の威信のために武力が使われ、近代的ミサイル戦争の影で若者の血が流された。この事実を厳しく戒めなければならぬ。

我々は新緑爛々平和な日本から、この紛争を冷静に眺め、そしてエングゼミサイルや原潜の威力、近代ミサイル戦争の様子など、数多くの事柄を学ぶことができた。その中で特にニュース報道のあり方についての教訓を取り上げてみたい。

まず第一に、双方が発表した



戦果が違ひすぎるということがある。……我々も過去において「大本営発表」として報道管制の弊害をイヤというほど体験させられた。昔の悪夢を思い起こす感である。第二は、体制の違いによる報道のあり方である。……アルゼンチン軍政権下で徹底した報道管制がひかれ、「キャベラ大破か」「インビンブル沈没寸前」などと常々国民の士気を鼓舞することに努めた。一方英国は事実をできるだけ公平に報道すべく、良識ある人々が中心となって周囲の冷やかな眼にめげず、涙ぐましい努力が払われたという事実を自由主義の先覚者、と心から賛美を称えてもよいのではないだろうか？

九州に住んでいる友人から、近くの町に「茶のみ友達相談所」が出来て話題になっていると聞いた。ボランティアが始めた真面目な会で、開店のかた毎日、電話が鳴り続けているという。

「茶のみ友達」を国語辞典でひくと「茶のみ仲間、または老年になつてからの連れ合い」である。英語の字引には「companion in ones' old age」とあり、こちらのほうが表現としては格好がいい。

ところが問題は、この会の入会資格で、「男五十五才、女五十才以上で配偶者のいない人」となっていることである。つまり、私の場合、もし寡婦であれば、私も有資格となるわけで、これを聞いて何となく急に淋しくなった。

私と同世代の人に、言葉の知恵者が居るらしく、私に言葉が出て来ない頃には「ロマンスグレイ」という表現が發明されていたし、五十になる頃は、おじさま族とかいう言葉の出現で、何となく華やかな感じを持たせて頂いた。今はまた、熟年という便利な言い方が出来るようになったから、当分、まだまだ老け込まずに済みそうなる状況であった。

英国国民の「自由」に対する自信と誇りを代弁するものと受けとめた。

我々日本人はともすれば、熱しやすく冷めやすい。そして一億総動員とか一億玉砕とか団結の強さを売り物にしている。英国で見られるこの「報道の自由」を堅持する姿勢を我々も今後の糧として、我々自身の手で大切に育てていかねばならない。

そして公平な報道に基づく国民一人一人の判断で世論を盛り上げ、剣よりも強いものにしなければならぬ。世界平和を守るために……。

茶のみ友達相談所

関 憲 克

ヨーロッパの諺に「四十台は青春の老年であり、五十台は老年の青春である」というのがあった。私は、五十になつてからの相談員がいないとき、兄弟姉妹および代議者(お、めい)ーただしB・Cの相談員がいないとき

◎相談員
相談員が配偶者と子どるとき(各二分の一)

A 配偶者(内縁は含まない)
B 子および代議者(孫など)
C 直系尊属(父、母、祖父祖母など)ーただしBの相談員がいないとき

D 兄弟姉妹および代議者(お、めい)ーただしB・Cの相談員がいないとき

◎相談員
相談員が配偶者と子どるとき(各二分の一)

「この会(茶のみ友達相談所)の趣旨」というのが目についた。それによれば「たえ二人が意気投合して結びついても、結婚や入籍にはそれだけの必要はない」といふので、分かった。

これこそ「茶のみ友達」の現代的本義なのである。

つまり、私の到達した解釈はこうだ。茶のみ友達相談所のいう「茶のみ友達」とは、体力的限界をこえた人の状態をさすのでなく、社会的価値のある人間同志のつき合いなのだ、なのである。……一例をあげると、遺産相続の問題がある。

相続問題を念のためにさらすると、次のようになる。

◎相続人



相続人が配偶者(三分の二)と直系尊属(三分の一)のとき
相続人が配偶者(四分の三)と兄弟姉妹(四分の一)のとき

さて、相続問題をわざわざ書いたのは、弁護士との領分を侵す意図するものではない。これを御覧になると、自然に「茶のみ友達」の社会的意義と、「相談所」の意義が分かります。

たえは子供のない男が結婚したあとで妻より先に死ぬと、男の兄弟姉妹の相続分は、四分の一に減ってしまふ。

「私には幸いにして遺産相続のブツがない。従つてトラブルの起こりようもない。」

しかし、ひとごとながらここに思いを致すとき、「茶のみ友達」問題は、いずれにせよ、お寒い話である。いや、やはり私の年代は、どこから見ても「日暮れの山道」なのである。

県警便り

ハイジャック訓練
格闘逮捕
愛知県警察

愛知県警察は五月三十一日夕、名古屋空港で実際の飛行機を使用した大がかりなハイジャック総合演習訓練を行った。

同空港でのハイジャック訓練は五十四年六月まで四回行なわれたが、今回は県警本部や空港周辺の西枇杷島、春日井、小牧、名古屋市内各署から計八百八十人の警官が出動、これまでの中で最大の規模となった。

訓練は、短銃と日本刀で武装した二人組がハイジャックしたという想定、D-11C名古屋間の国際線の日航DC8から乗客が降りたあと、機体を使い、午後五時二十分、模擬乗客十九人と犯人役の警官が乗り込んだ。犯人は警察との無線交信の中

「三十分以内給油を済ませろ」「現金三億円を用意しろ」と次々に要求。警察側は航空会社職員に変装した二人の捜査員に現金一億円を持たせて機内に向かわせ、二人が成実となって乗客全員を解放が成功した。

さらに調査官が「エンジン・トラブルを起したので、別の飛行機に乗りかえて欲しい」と巧みに説得、これに応じて機外に降りてきた犯人を、雨の中、ジュラルミンの桶を手身に身を潜めていた県警機動隊、機動捜査隊員十数人が、隊長の号令で一斉に飛びかかり、大格闘の末に犯人を逮捕した。

あさま山荘事件
十周年植樹
長野県
警察本部

長野県警は六月、長野県軽井沢町のあさま山荘事件顕彰碑「治安の礎」前の広場で、同事件十周年の植樹を行なった。

植樹には、高橋弘・警察本部長ら県警幹部、地元町長らが出

廣 顕彰碑に参拝したあと、常緑樹の「いちい」を植樹し、殉職された内田・高見両隊長の遺徳を偲ぶとともに、治安維持への決意を新たにした。

記念植樹に出席した地元元唐沢・軽井沢署長は「おふたがの御冥福を祈り、尊い遺徳を永久に哀れむことなく、大切に守り育てていきたい」と語った。

島根県警機動隊 隊長、舟木俊夫(警視)は、このほど舟艇操法の訓練を実施した。

松江市生馬町高専艇庫前から佐陀川を南進して宍道湖側まで約五キロのコースを、四隻の舟艇にそれぞれ乗組んで出発。日頃体力に自信のある隊員も手書きにはいささか苦労した様子で、手に豆を作りながらも黙々と頭張り、約一時間かかって目的地へ到着した。

艇長以下一九名としてのチームワークを要する舟艇訓練を終え、さらに団結の絆を深めることができた、と参加隊員は語っている。

ゴムボート
操法訓練
大分県警機動隊

災害救助用ゴムボートは、激流でどのように操法すればよいか。大分県警機動隊は六月、各分隊対抗のゴムボート操法訓練を実施した。

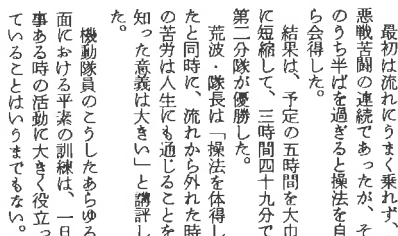
県下、大野川の二十五キロを前半と後半に分けて、一個分隊二班のりレー形式をとって、午前九時四十三分、一斉にスタートした。

最初は流れにうまく乗れず、悪戦苦闘の連続であったが、そのうち半ばを過ぎると操法を自ら会得した。

結果は、予定の五時間を大分縮短して、三時間四十九分で第二分隊が優勝した。

荒波・隊長は「操法を体得したと同時に、流れから外れた時の苦勞は人生にも通じることを知った意義は大きい」と講評した。

機動隊員のこうしたあらゆる面における平素の訓練は、一旦事ある時の活動に大きく役立っていることはいまでもない。



今月の言葉

日本人にはあまり馴染みのない「おとり捜査」という言葉と共に日米間の軋轢が表面化しているが、これが単に法文化の違いから来るものか、国家間の熾烈な争いを意味するものか、今暫く事の推移を見守る必要があらうかと思われる。

それにしても、何やらヤクザが行うという「ソノモト」を連想させるような、甘い誘惑にノコノコついていたら、出て来たのはコウ・イオニさんではなくてFBI、というのでは「ヤリ口が汚れえやないか」という声が出て来るのが、日本人の感覚としては当り前の感じである。

いくら対共産圏対策か何か知らなく

いが、心の中にそりという思いがあること自体が罪があるという論拠なら、心に思うだけで暴行罪でひっ立てられるんじゃないだろうかとか、ついつまらぬ心配もしてしまふ。

このあたりが正に、人間はすべて

隠しかつめるものならば当事者だけで隠し事をする方が賢明であるとする恥の文化の日本のと違ひであろうか。

目的さえ良ければ、手段として一善なまじんネスマンを欺した罪など

の義理人情的な感覚が生まれ、これを裏切った場合には正義の義と云え、心情的にはすい分後味の悪さといふものを感ずるのではないだろうか。これが時たま、何でも批判屋のマスコミにかかると、警察と暴力団

行動は、一九七〇年代に始まった超大国アメリカの国力の衰えがかなり重くのたか、あるいはなかり振り構わぬ踏んばりや再版世界の雄として復活してくる前兆か、興味深いことである。

それにつけても日本の国力・地位が相対的には大きく上昇したことをたけは紛れのない事実で、安全であったり前、衣食住が足りて当り前もつと良くなって当り前、という無責任感覚の蔓延だけは何としても阻止しなければならぬ。

これが出来なければ、アメリカの底力の前には、ほんのひととき、甘い夢を見せられても、た東洋の小国としてしか歴史に残らないかも知れない。

「おとり捜査」という言葉と共に日米間の軋轢が表面化しているが、これが単に法文化の違いから来るものか、国家間の熾烈な争いを意味するものか、今暫く事の推移を見守る必要があらうかと思われる。

それにしても、何やらヤクザが行うという「ソノモト」を連想させるような、甘い誘惑にノコノコついていたら、出て来たのはコウ・イオニさんではなくてFBI、というのでは「ヤリ口が汚れえやないか」という声が出て来るのが、日本人の感覚としては当り前の感じである。

いくら対共産圏対策か何か知らなく

おとり捜査

その時、あなたは どうする 災害警備訓練の積み重ね 有事に迅速な救助活動

九月一日は「防災の日」である。大正十二年九月一日、関東地方の各家庭では「かまど」に火を入れ、昼食の準備に忙しかつた。突如としてマグニチュード七・九の大地震、一瞬のうちには地獄絵図と化してしまつた。死者九万九千九百人、行方不明者四万三千九百人……こうした地震だけでなく他の諸々の天災・地災・人災をも防ぐ心構えを忘れないように「防災の日」が昭和三十五年に閣議で定められた。

自然災害のツメあと

「地震・台風・集中豪雨」はわが国の「宿命」ともいわれる。地象的には「環太平洋地震帯」にすっぽり入り、気象的には「温帯季節風地帯」に位置しているため、自然災害でこれまでおびただしい犠牲者や損害を蒙りつてきた。

去る七月二十三日の長崎県を中心とする九州西北部の集中豪雨、また台風十号で死者行方不明多数の大災害になったのは、まだ記憶に生々しいが、最近数年の主な大雨災害をかみても、五



備えあれば憂いなし

現在の科学技術をもってしても、地震の発生を的確に予知することは困難であり、台風や大雨の襲来を防止することは不可能である。しかし、こうした自然現象による被害を最小限に止めることは、人々の知恵によって可能である。

「備えあれば憂いなし」善後から住民の一人一人が災害に対処する十分な心構えを持ち、「いざ」という時に行動がとれるよう訓練することが必要だが、これと合わせて機動隊員の活躍が被害を最少限に食い止めてくれる。

十年八月東北北部の集中豪雨渦で死者・行方不明二千七十八、五十一一年六月の鹿児島県下で死者・行方不明三十一人、五十五年八月九州北部で行方不明十七人、五十六年八月北海道の石狩川はらんで死者・行方不明七人など被害の惨状は痛ましい。

さきほどの長崎豪雨でも、長崎県警は機動隊員千七百八人を出勤させて救助活動を行なったが、こうした災害警備のため、機動隊ではこれに備えて訓練の積み重ねを怠らない。

全国都道府県の各機動隊とも、この警備体制を整えているが、ここは警視庁の風水害警備合同訓練にスポットをあててみよう。



訓練に怠りない機動隊

日頃の訓練成果をみる警視庁の風水害合同訓練が去る七月十五日、東京・江戸川区江戸川右岸河川敷で行なわれた。台風風の接近に伴い、東海・関東地方が集中豪雨に見舞われ、江戸川の堤防が決壊し、居住者の一部が中州に孤立しているという想定のもとに出勤命令が出された。

機動隊及び特科車両隊千八、ヘリコプターも四機出勤、被害者の救出や水防工事に鍛えた腕が振るわれた。

第四・第五機動隊による長手三段積工法、シートを堤防の面に広げて張るシート張りがあり九機動隊、長フルコンに土砂をつめたもので堤防を保護する第一機動隊、マンホール噴出防

止の特科車両隊、第八機動隊が木流し工法、第六機動隊は埋没家屋からの救助、救命索利用による救助が第三機動隊、多目的災害活動車による救助と避難路を確保する第二機動隊、第七機動隊及び航空隊がヘリコプター・舟艇による救助をそれぞれ披露した。

警視庁・機動隊員の島部警察署に接道は、今年も七月九日から八月二十六日までの四十九日間行なわれた。派遣人員二百九十六人、延べ三千五百四十八人。

大島、新島、根根島、神津島、三宅島、八丈島、小笠原の伊豆七島は、夏期になると素朴な静けさから一変してミニ東京、くわくわく若者の大移動で都会並みの混雑と喧嘩に転じる。

伴う事故、暴行、窃盗などが続出するが、この夏の祭典の裏方として、機動隊員は今年も黙々と秩序維持の黒衣の役割りを果たした。

**道場せましと腕競う
第58回柔剣道大会**

警視庁主催の第五十八回柔剣道大会が、七月十九日から二十二日まで日本武道館で開かれた。警察官とりわけ機動隊員は、いずれも柔剣道の有段者揃いである。一旦事ある時は、テロ・ゲリラという陰謀な手段による攻撃を受けて立たなければならぬ。それにしても強健な心身の鍛錬が必須条件となるのである。

日頃からの自己研鑽の結果を競い合うわけだが、この中の機動隊対抗試合では、柔道部門で第四機動隊が、また剣道部門で第五機動隊がそれぞれ優勝、警視總監より優勝旗を手渡された。ちなみに優勝は昭和三十年以来、五機は五十二年以来の優勝でその感激も格別であった。

**夏の祭典の裏方
島部派遣**

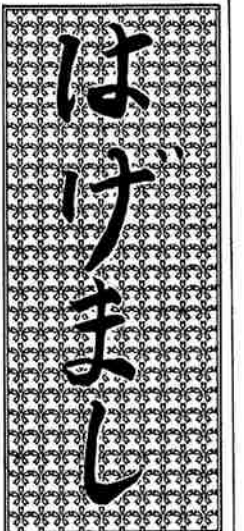
警視庁の機動隊対抗ポト競技大会で、第三機動隊が三年連続して優勝の栄冠を獲得した。これは舟艇競技を通じて舟艇漕法・操作技術の習熟向上と気力・体力の錬磨を期し、合わせて土気の高揚をはかることを目的とするもので、去る七月五日東京・江戸川区篠崎三丁目目で開催された。

江戸川の右岸から左岸(中州)までの往復で、各隊五組、各組の選手は五名で編成して腕を競った結果は、三機が十五分一秒で優勝した。

**三機が三年連続優勝
対抗ポト競技**

警視庁の機動隊対抗ポト競技大会で、第三機動隊が三年連続して優勝の栄冠を獲得した。これは舟艇競技を通じて舟艇漕法・操作技術の習熟向上と気力・体力の錬磨を期し、合わせて土気の高揚をはかることを目的とするもので、去る七月五日東京・江戸川区篠崎三丁目目で開催された。

江戸川の右岸から左岸(中州)までの往復で、各隊五組、各組の選手は五名で編成して腕を競った結果は、三機が十五分一秒で優勝した。



発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)



「部隊の動きや資器材の活用等を通じて、平素の訓練成果が十分にうかがえた。有事の際は関係機関・団体と一体になって、災禍の拡大を防いで欲しい」と訓示したが、国民の機動隊にかける期待は大きい。

査閲官の柴田善憲、副査監が「部隊の動きや資器材の活用等を通じて、平素の訓練成果が十分にうかがえた。有事の際は関係機関・団体と一体になって、災禍の拡大を防いで欲しい」と訓示したが、国民の機動隊にかける期待は大きい。

査閲官の柴田善憲、副査監が「部隊の動きや資器材の活用等を通じて、平素の訓練成果が十分にうかがえた。有事の際は関係機関・団体と一体になって、災禍の拡大を防いで欲しい」と訓示したが、国民の機動隊にかける期待は大きい。

査閲官の柴田善憲、副査監が「部隊の動きや資器材の活用等を通じて、平素の訓練成果が十分にうかがえた。有事の際は関係機関・団体と一体になって、災禍の拡大を防いで欲しい」と訓示したが、国民の機動隊にかける期待は大きい。

読者の広場



戦略と「見切り」の心得

高倉隆一

願すれば昭和三十四年に敗戦国日本は、戦後僅か十年余にして世界の覇者をして「不死鳥日本」と言わしめ、前年度比十七パーセントという世界一の成長率を成し遂げた。

当時予見されたのがテレビブーム、乗用車ブームの到来であり、消費革命の進行が始まった。この頃から敗戦の痛み「飢え」「疲れ」「不安」は次第に忘却され始めた。

以来、文字通り高度成長期が続くことになったが、その過程の中に石炭産業に見た如く失業率という日かげの分野もあつた。これは繁栄と貧困の結び日本経済の二重構造の所産である。

その頃の出来ごとであったと思うが、父親の失業と病気のため、生活苦に堪えきれず、一家心中の悲劇に没した小学五年の少年の生前の一節を紹介すれば

「朝ごはんのとき、かあちゃんか梅ぼしを出した」
「とあきどうしたの」とか
「おらあ梅ぼしはいやだ」といってかあちゃんから目から涙がでた。
「ぼくはすぐ「梅ぼししてよ」といって」
梅ぼししか出せない母親の悲しみと、母の気持を察した幼心のいじらしさ、失業のなせる痛ましさを一面であるが、他人ごとではすまされぬ。

それから既に四分の一世紀の

歳月が流れた今日、日本経済は昭和初期の大恐慌に匹敵するかの如き大変動に遭遇し、供給過剰は再び「日なた」「日かげ」の経済構造を一段色濃く、暗雲たれこめる世情となった。

私が子供の頃、よく耳にした時勢を象徴する言葉も最近よく思い出す。

「大学は出たけれど」「青白きインテリ」「ルンペン」

「溶鑪の火は消えたり」等々。今年の大卒の就職戦線はいとも狭き門となつたと報道されているが……一九三〇年の大恐慌の時は国民経済は乏しさを極めていたように思う。庶民の懐に金はなかつた。然し今は当時とは異なり、平均的に貯えがあり、消費三昧の生活習慣は「恐慌」といふ現象に直面してはいない。高度成長のつけの「借金」といふ現象に直面してはいない。人間を鈍化させてはいまいか。

今、経済戦争は国内の内外を問わず重大局面を迎えて、攻守両面作戦と雖も実戦は至難である。然し取捨選択を余儀なくされるであろう。

話は遠く、関ヶ原合戦で西軍の最も優れた戦略眼を持っていたのは、石田三成の重臣島左近であった。大決戦を前にしての軍議に於て「徳川勢が関東から長途の行軍で疲れて果て着陣したその日の夜討こそ勝機」とする島左近の必勝戦略は、宇喜多秀家等の諸將に容れられず、後日の大合戦で島左近は乱戦の中

に最後を遂げている。

この時、島左近は軍議の直後に敗戦と「見切り」を討つ討死を「覚悟」し、信頼の家臣に命じて左和山の城中から老母を連れ出させたと聞く。周到な準備の怠りなし。

今、経済戦争の火中に在る企業も、関ヶ原の関頭に立たされ

正に時代背景が根柢からゆらぎ、且つ風雲急を付けている。今の情勢下では、甘えの精神構造が許されるところか、文字通り追い詰められて来た。「造るものが無くなった」と言えれば言い過ぎである。いざ戦わん哉。「攻撃か、後退か」「拡大か、

汚職入門

猪飼勲

ロッキード裁判も大詰めに近づきつつある昨今だが、ある地方自治体で小さな汚職事件が起きた。

金額的にはロッキードの千分の一にも及ばないが、何分にも田舎のことで大騒ぎとなった。そこで人事課が急遽「汚職入門書」を作成して職員に配布し、ひたすら反省の意のあるところを示した。もちろん入門書といつても、防止が目的なのだが、そのパンフレットが私の手許にある。さる友人が「面白い読物だよ」といって冗談半分に私に呉れたのだが、読んでみると、成程巧まざるユーモアがあつた。まずはじめは、汚職についてその説明である(カッコ内は筆者の注記)

「賄賂とは職務に関する不当な利得であつて、金銭や品物だけではないのです。判例では「金や物にかぎらず、人の欲望をみたす一切の有形・無形の利益を含む」となっており、例えば次の例は全て賄賂に該当します。

○異性と情交の機会を提供してもらうこと、結婚相手を出してもらうこと、初夜



縮小か)誰もが、どの企業もが必死に苦悩に苦悩を重ねて戦いをめぐって居る中で、対象はさまざまであらうが、その中で「見切り」をざるを得ないものがあるのではあるまいか。蓋し生き残る為には、人金「見切り」の対面となる。用意周到、密なる計画が「見切り」断行の必須の前提であることとは論を俟たないが、その深底が明暗の分岐点、自分の置かれた情勢判断に幻想を捨て、大の祭物、覚悟を定める処に道は自ら明かになるであろう。

「見切りのつけどき」こそ大切である。いざ戦わん哉。昨今である。いざ戦わん哉。



さて皆さんはどうだろうか。全然該当せず、という人が居たら、何のために生きて居るので、何かと聞きまわると、

しかし、若しかりに、そういう人が居たとする。職場でやり手でなく、情にもろくなく、人の言いにやられぬ人。変な男である。こんなお役人ばかりだと、ワイロでも使わぬ限り、印鑑証明一枚貰えないのではな

「収入の部」
取崩額 四十万円
支出の部
追徴金 四十万円
退職手当 約千二百万円
支給なし
年金 年金額の八割(支給制限)
逸失利益 年収五百万円、五十七才まで八年間で約四千万円

――多分読者の皆様も同感だろうが、民間に比べて退職手当(この場合貰えないにせよ)がかなり大きい。それと、それでも年金のなにかが貰えるというところか、いかに公務員らしい。(差引勘定)としては、ただひとつ「大赤字」と書いてあるのが面白い。

しかし、いざにせよ、ロッキードの日那業に比べれば、何ともスケールの小さいことである。

各地のたより

機能別特別訓練を実施

岡山県警はこのほど十日間にわたつて、管区機動隊を含めた全隊員が参加した特別訓練を実施した。

この訓練は、スキューバー及びレンジャー隊並びに通信・記録広報・写真各班の専門知識と技術の習得を目指して行なつたもので、特に新人隊員は必ずスキューバー又はレンジャーの何れかの訓練科目を履修しなければならぬ。

従来から「訓練で泣いて実戦で笑え」をモットーにすべての訓練に励んでいるが、隊員の間では「隊員は3回泣く」とも言ひ伝えられている。入隊直後の訓練の苦しさ厳しさをいまだに覚えている隊員も少なくなく、最後は除隊時に苦しく泣きながら訓練の思い出とともに、戦友と愛情に満ちあふれた隊内生活



「オース」という元気のいい声が私の方に飛んできた。事務室の空気が、何んともいえない若者の集団そのものように感じている。一線警士とは、一味違う何か小気味のよい七年振りの異国気分であった。

入隊式も順調に進み、司令官の「指揮権授け」の発声で緊張した隊員の前になつた私に、隊長は一本の真新しい紫の房のついた指揮棒を差し出した。

何気なく受け取るうとするところか、この指揮棒には、君の中隊員九十八人の命がかかっている。あやうそかにすることなく、しっかりと握ってこれよう。

この時、自分でもよく分らないが、その指揮棒の重さというか、神聖さというか、何か言ひ知れないものを感じさせられたのである。

授けられた指揮棒を手に、新中隊長の「一度目の機動隊生活が始まり、その間メーデー警備、そしてまた、陸上自衛隊他方面区演習隊隊舎警備等種々の警備実施に東奔西走して行く次第である。

私は、この警備実施で指揮棒を振っていたが、一線警士で振っていたのと形状は同じであるが、感じが少し違う。それは私が振っている指揮棒には、第一中隊員の熱い視線が感じられているからだ。混乱した現場でも、更に強まるのを感じたのも事実である。

指揮官たる者が、ただ指揮棒を高く上げ、そして前後左右に振ってはいればよいのではない。この時、隊員が教えてくれた。これまでのどの警備実施でも、隊員の熱い視線から「指揮棒を振る者はかくあれ、中隊長しっかりと」(と)いう無言の伝達を受ける。

☆香川県警管区機動隊の菅原宣典隊員が八月七日、入隊訓練中に殉職されました。当勤ます会から花輪と弔慰金を謹前に捧げご冥福をお祈りしました。

お知らせ

☆香川県警管区機動隊の菅原宣典隊員が八月七日、入隊訓練中に殉職されました。当勤ます会から花輪と弔慰金を謹前に捧げご冥福をお祈りしました。

今月の言葉

イタリヤのナポリに近いサレルノ陸軍歩兵大隊兵舎の軍用トラックが八月末ナポリ近郊に突撃され、兵士八人が殺傷された。左翼過激派「赤い軍団」によるものだが、この前にもローマ郊外の空軍兵舎が襲われ、行方不明の電話は「さらに四つの民間テレビ局を襲う」との不意味な予告までついていた。

これに先立って七月下旬にはロンドンでも、都心で連続爆破事件が起きた。駐軍中の乗用車に仕掛けられた爆弾が破裂して進行中の騎馬兵と市民を巻き添えにし、その後、この爆弾は軍隊演習場のスタンド下に仕掛けられた爆弾が破裂、この二つの事件で九人が死に五十人が負傷した。

事件後、カトリック系強硬派組織「アイルランド共和国軍」(IRA)も

外国の連続爆弾テロ

こうした無謀なテロ行為を含めた犯罪の発生率は、その国の近代化工業化の度合に比例するといっている。各国専門家の間では通説となっており、どの国においても、都市化は犯罪を激発する一方、犯罪の温床をつくりあげているという現象に頭を痛

める。実際、ある統計によれば日本の凶悪犯罪発生率はアメリカと比べて、殺人が五分の一、強盗は百分の一以下でしかない。しかも犯罪者の検挙率は、アメリカが二十強なのに比べて、日本では七十強にも達している。夜間ともなれば夜警や番犬、防犯

ベル、何重もの鍵で固くガードされた家の中にたてこもるようになっていなければならぬ他国の市民にとっ

た、英国が抱えているIRA問題でみるような他民族との軋轢に悩まされることのないという有利さも事実だろう。しかしながら、「安全を国日本」を現実に支えているのは、日本の警

察の地道な努力であるといえることも否めない事実である。全国の駐在所・交番から警察庁・警視庁に至るまでの防犯体制の完備、警察官の質と職業意識の高さ、警察に対する市民の協力的姿勢については、国内よりも国外からの賞賛の声が高い。

日本人の多くは、自国警察の優秀性をそれほど意識していないようにも思える。しかし、これは裏返せばそれだけ警察が市民生活に深く浸透している証左ではないだろうか。治安維持の理想は、平時時には空気のようになり、一般市民にその必要性をさして感じさせず、一旦有事の際にその有り難さを痛感させるという観点に立つと、わが国の機動隊を中核とする警察力は、その理想に近づきつつあるといえよう。

怠りない震災警備 迅速・的確な活動

機動隊が各地で機動性

スワノ地震シノ火災、その時あなたはどうする? 東海地震に対する危機感が高いが知識は少ない。地震が発生したら自分には適切な行動をとる自信はあるが、他人は信頼できない! 警視庁警備部が八月末にまとめた大地震についての意識調査で、首都圏市民のこのような平均像が浮かび上がった。調査の分析に当たった花沢成一日大教授は、「危機感だけあって知識に欠ける場合、不安・恐怖感からパニックが起きやす」と警告している。

真剣に防災の日

九月一日は防災の日として昭和三十五年の閣議で定められているが、本年も八月三十日から九月五日までを防災週間とし、九月一日にはマグニチュード8の東海地震を想定して中央防災会議(議長・鈴木首相)は大規模地震対策特別措置法に基づく大がかりな総合防災訓練を実施した。

この訓練には、かなりの被害が予想される首都圏も昨年からは本格的に加わり、一都九県合計千三百万人が参加する広域的な合同防災訓練となった。訓練は、東海地域から送られてくる気象庁の観測データに異常が現れ、午前七時に判定会が招集され、九時に警戒宣言の発令、十時半に地震が発生したとの想定で行われた。

地震発生の際階から防災対策強化地域では東海地震備えての防災訓練、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・横浜市・川崎市・六都府市では、南関東地震を想定しての合同訓練に移った。

習熟した震災警備

情報伝達、パニック防止訓練、実際に乗客の参加を求めたの階段規制や誘導など混雑防止対策、車・鉄道の交通規制、また児童生徒の避難等も整然と進められた。

参加者達は改めて、大地震時にいかに身を守るかを思い直したが、と同時にその場に臨んで実際に整然と避難できるといふ不安を抱く向きも多かった。しかし、そこは災害警備を重

大な任務とする警察、その中核部隊である機動隊の出番である日頃から鍛えた腕と技を発揮し

に、国内よりも国外からの賞賛の声が高い。最近の国際空港をとりまく情勢は、反対同盟の呼びかけに対して極左暴力集団は「二期工事反対」同盟切り崩し攻撃部隊を呼び、政府・公団との実力対決を示し、過激闘争への傾斜を強めている。こうした中で空港警備がさらに重要視され、気迫に満ちた隊員の出向が要請されるわけだが、出向期間は一年、満期後は元の都道府県に帰任する。

警視庁の壮行会

警視庁からの出向は、本年で第五回目になるが、その壮行会が九月六日第一機動隊で行なわれた。警視総監以下幹部が出席、警視庁音楽隊が「出動の歌」を演奏するなか、警視庁幹部や機動隊員が見送られて新任地へ出発したが、こうした精鋭部隊によって空港の治安警備は万全である。

はげまし

発行所 社団法人 機動隊員等を助ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)



警視庁・整理誘導訓練を実施

て、国民の安全を守る頼もしい訓練の成果が、この日も各地で繰りひろげられた。警察職員約十万人、ヘリコプター二十一機、車両約四千九百両を動員して、迅速的確な震災警備実施活動はすでに習熟している。

実力発揮の機動隊

紙面の関係上、警視庁の訓練にスポットをあてると、その訓練内容はきめ細かく、一共通訓練としては判定会招集情報及び招集命令伝達、広招(召集)者受付と部隊編成、各級警備本部設置と運営、通信、広報、人集交通、実施、公安、捜査、防犯特命、通信と分けて、その中の実施部隊訓練では駅対策、警備・警護配備視察訓練一を重点的に行なった。



災害警備も重大任務の機動隊

新東京国際空港の警備万全 都道府県から精鋭隊員出向

新東京国際空港警備隊へ、本年も警視庁から百名、全国各府県から約百五十名、合計ざっと二百五十名の機動隊員が出向した。昭和四十一年七月四日の閣議で、新東京国際空港の開設が決定してから五十二年五月二十日開港までの十余年間、反対派のゲリラ闘争などで殉職者五名、負傷者多数という犠牲を払ってきた。

警視庁からの出向は

警視庁からの出向は、本年で第五回目になるが、その壮行会が九月六日第一機動隊で行なわれた。警視総監以下幹部が出席、警視庁音楽隊が「出動の歌」を演奏するなか、警視庁幹部や機動隊員が見送られて新任地へ出発したが、こうした精鋭部隊によって空港の治安警備は万全である。

誇るレスキュー隊

岡山県警機動隊

岡山県警機動隊（レスキュー隊）は、機動救助隊（レスキュー一部隊）と水難救助隊（レスキュー二部隊）を中心に、精鋭隊員をまとって編成されている。台風・集中豪雨等の自然災害、転落・交通事故、閉じ込め、ガス爆発等の都市型災害に本年々出動回数が増加傾向にある。救助機能の迅速・適確な推進を図るべく我が隊にレスキュー車も配置された。昨年中の出動回数四十四回（内、水難二一回）、人命救助者四名（一週間に一回は出動しているという実績を持つている。「災害時人命救助」）、その使命達成のため、救助隊員は機動隊員の中から特に気力・体力・技術の優れた者が任命されている。特務訓練を年間勤務計画に組み入れて計画的に訓練されているのは勿論のこと、隊員個々については、「一人を助けるんだ」という気概に燃え、人一倍の体力・技術の磨練に毎日精進している。

多くの出動事故の中でも

昭和四十七年から始まった二次・三次と続いた暴力団抗争事件取締り、昭和四十四年の広島大学封鎖解除、昭和四十五年のシーボルト事件、昭和四十七年の三次市内、鶴岡太水書での救助活動、本年三月の反核二十万人集会警備、あるいは、毎年行なわれている平和祈念式典警備等の重要警備事業に出動し、多大な成果をあげている。これら厳しい各種警備実施を通じて、諸先輩の血と汗と涙で築かれた教訓が「練磨」「明朗」「奉仕」である。

「練磨」とは、警備活動最後

の岩である機動隊は、いかなる事態に遭遇しても不動の備えで悪を打ち砕かなくてはならず、その為厳しい訓練により実力を蓄え、又自己研鑽により人格を磨き、教養を身につけ、文武両道を兼ね備えた精強な部隊にすること。「明朗」とは、一糸乱れぬ団結を要求される部隊にあつては常に明るく健全な職場でなくてはならない。その為に隊員一人一人が明朗活発であり、かつし手を取り合つて結束すること。「奉仕」とは、いつの時代にかなる事案に直面しても警察使命の原点に立ち、奉仕の信念を失つてはいけない、ということとを意とするのである。

これら厳格な訓練は

歴代機動隊員に引継がれ、隊員の心の中に脈々と流れ、より精強な部隊を目指すして日夜訓練に励んでいる。

救助隊の活動は、数多い警察

組織の中でも、ソフトでサービシ的な分野ではあるが、県民の要望に応えるため、災害警備実施のシンタタンクとなるべく今日も躍動している。

多くの出動事故の中でも

昭和三十七年から始まった二次・三次と続いた暴力団抗争事件取締り、昭和四十四年の広島大学封鎖解除、昭和四十五年のシーボルト事件、昭和四十七年の三次市内、鶴岡太水書での救助活動、本年三月の反核二十万人集会警備、あるいは、毎年行なわれている平和祈念式典警備等の重要警備事業に出動し、多大な成果をあげている。

この厳格な訓練は

歴代機動隊員に引継がれ、隊員の心の中に脈々と流れ、より精強な部隊を目指すして日夜訓練に励んでいる。

救助隊の活動は、数多い警察

組織の中でも、ソフトでサービシ的な分野ではあるが、県民の要望に応えるため、災害警備実施のシンタタンクとなるべく今日も躍動している。

血と汗と涙の教訓

岡山県警機動隊は、昭和二十七年に発足以来常に警察部隊の中核として活躍してきた。

広島県警機動隊

多くの出動事故の中でも、昭和四十七年から始まった二次・三次と続いた暴力団抗争事件取締り、昭和四十四年の広島大学封鎖解除、昭和四十五年のシーボルト事件、昭和四十七年の三次市内、鶴岡太水書での救助活動、本年三月の反核二十万人集会警備、あるいは、毎年行なわれている平和祈念式典警備等の重要警備事業に出動し、多大な成果をあげている。

肉体の限界に挑戦する

「肉体の限界に挑戦する」というのが、「早朝自主トレニング」だ。これは我が隊が他に誇る素養の一つに伝承されている。昭和四十四年の学生運動、安保闘争等が開始された治安警備出動から得た教訓は、実施部隊が強いれば強ければ国民から得られる信頼もまた深く強いのである、ということであった。

右翼の妨害に実力

香川県は小さな県であるが、その割に警備出動の多いところである。というのも右翼団体が多いためである。この数年は、デモ等に対する警備より、右翼に対する警備、集会・デモの妨害行為に対する警備実施がほとんどといってよい位である。

達磨で自己反省

「十年ひびき」という言葉があるが、我が隊は十一年前前から自目をしっかりと開けて隊員一人一人の成長を促している。この達磨の横には大きな貯金箱が置かれ、忘れ物や失物など、その隊員が達磨に向かおうとするたびに貯金箱に入れ、これを返すたびに貯金箱に入れる。これを達磨の横には大きな貯金箱が置かれ、忘れ物や失物など、その隊員が達磨に向かおうとするたびに貯金箱に入れ、これを返すたびに貯金箱に入れる。

高知県警機動隊

我が隊は昭和二十七年発足以来、三十五年の三池争議、三十九年から数回にわたる米原潜伏世帯入港阻止闘争、四十四年の九大封鎖解除、そして近年では四回にわたる成田空港応援派遣と常に大規模警備事業で中核部隊として活躍してきた。

福岡県警第一機動隊

我が隊は昭和二十七年発足以来、三十五年の三池争議、三十九年から数回にわたる米原潜伏世帯入港阻止闘争、四十四年の九大封鎖解除、そして近年では四回にわたる成田空港応援派遣と常に大規模警備事業で中核部隊として活躍してきた。

葉隠の四誓願

佐賀県警機動隊は、郷土・佐賀を守る精鋭部隊として隊の信を保持し、日夜精神を鍛え、技を磨き、有事に即応できる部隊づくりに目標を定めている。「強く、明るく、愛される。学（の機動隊）が、当該の伝統ある隊訓である。これは旧鍋島藩士山本神右衛門常朝の、自己完成を期する人間形成の書「葉隠」の中に四誓願、すなわち、一、武士道に於ておくれ取り申すまい誓願。二、主君の御用に出つべき誓願。三、親に孝行するべき誓願。四、大慈悲を起し人の為になるべき誓願。

佐賀県警機動隊

我が隊は昭和二十七年発足以来、三十五年の三池争議、三十九年から数回にわたる米原潜伏世帯入港阻止闘争、四十四年の九大封鎖解除、そして近年では四回にわたる成田空港応援派遣と常に大規模警備事業で中核部隊として活躍してきた。

長崎県警機動隊

昭和二十七年九月十五日に発足した我が隊は、三十年の歴史を持つが、この間の代表的な警備出動をあげると、諫早大水害警備をはじめとして、松浦放火事件、諫早大水害警備、原潜入港並びに原子力空母エンタープライズ入港警備、「むい」入港警備等、また県外応援派遣警備など、三池争議警備、新東京国際空港開港警備、サミット警備等がある。

合言葉と情操教育

昭和二十七年九月十五日に発足した我が隊は、三十年の歴史を持つが、この間の代表的な警備出動をあげると、諫早大水害警備をはじめとして、松浦放火事件、諫早大水害警備、原潜入港並びに原子力空母エンタープライズ入港警備、「むい」入港警備等、また県外応援派遣警備など、三池争議警備、新東京国際空港開港警備、サミット警備等がある。

精神性と団結

昭和四十九年七月三日、県下光善警察管内で警察官三名を殺害して射殺した犯人が、主犯三名を伴って山中に逃れ、三日間を匿ってたところという凶悪事件（いわゆる「光事件」）が発生した。出動した我が隊は、灌木の密生する山林の中で銃を持った犯人を捜索し、人質を救出すると、

肉体の限界に挑戦する

「肉体の限界に挑戦する」というのが、「早朝自主トレニング」だ。これは我が隊が他に誇る素養の一つに伝承されている。昭和四十四年の学生運動、安保闘争等が開始された治安警備出動から得た教訓は、実施部隊が強いれば強ければ国民から得られる信頼もまた深く強いのである、ということであった。

右翼の妨害に実力

香川県は小さな県であるが、その割に警備出動の多いところである。というのも右翼団体が多いためである。この数年は、デモ等に対する警備より、右翼に対する警備、集会・デモの妨害行為に対する警備実施がほとんどといってよい位である。

達磨で自己反省

「十年ひびき」という言葉があるが、我が隊は十一年前前から自目をしっかりと開けて隊員一人一人の成長を促している。この達磨の横には大きな貯金箱が置かれ、忘れ物や失物など、その隊員が達磨に向かおうとするたびに貯金箱に入れ、これを返すたびに貯金箱に入れる。

高知県警機動隊

我が隊は昭和二十七年発足以来、三十五年の三池争議、三十九年から数回にわたる米原潜伏世帯入港阻止闘争、四十四年の九大封鎖解除、そして近年では四回にわたる成田空港応援派遣と常に大規模警備事業で中核部隊として活躍してきた。

福岡県警第一機動隊

我が隊は昭和二十七年発足以来、三十五年の三池争議、三十九年から数回にわたる米原潜伏世帯入港阻止闘争、四十四年の九大封鎖解除、そして近年では四回にわたる成田空港応援派遣と常に大規模警備事業で中核部隊として活躍してきた。

葉隠の四誓願

佐賀県警機動隊は、郷土・佐賀を守る精鋭部隊として隊の信を保持し、日夜精神を鍛え、技を磨き、有事に即応できる部隊づくりに目標を定めている。「強く、明るく、愛される。学（の機動隊）が、当該の伝統ある隊訓である。これは旧鍋島藩士山本神右衛門常朝の、自己完成を期する人間形成の書「葉隠」の中に四誓願、すなわち、一、武士道に於ておくれ取り申すまい誓願。二、主君の御用に出つべき誓願。三、親に孝行するべき誓願。四、大慈悲を起し人の為になるべき誓願。

佐賀県警機動隊

我が隊は昭和二十七年発足以来、三十五年の三池争議、三十九年から数回にわたる米原潜伏世帯入港阻止闘争、四十四年の九大封鎖解除、そして近年では四回にわたる成田空港応援派遣と常に大規模警備事業で中核部隊として活躍してきた。

長崎県警機動隊

昭和二十七年九月十五日に発足した我が隊は、三十年の歴史を持つが、この間の代表的な警備出動をあげると、諫早大水害警備をはじめとして、松浦放火事件、諫早大水害警備、原潜入港並びに原子力空母エンタープライズ入港警備、「むい」入港警備等、また県外応援派遣警備など、三池争議警備、新東京国際空港開港警備、サミット警備等がある。

合言葉と情操教育

昭和二十七年九月十五日に発足した我が隊は、三十年の歴史を持つが、この間の代表的な警備出動をあげると、諫早大水害警備をはじめとして、松浦放火事件、諫早大水害警備、原潜入港並びに原子力空母エンタープライズ入港警備、「むい」入港警備等、また県外応援派遣警備など、三池争議警備、新東京国際空港開港警備、サミット警備等がある。

精神性と団結

昭和四十九年七月三日、県下光善警察管内で警察官三名を殺害して射殺した犯人が、主犯三名を伴って山中に逃れ、三日間を匿ってたところという凶悪事件（いわゆる「光事件」）が発生した。出動した我が隊は、灌木の密生する山林の中で銃を持った犯人を捜索し、人質を救出すると、

読者の広場



自由の有り難さ

嘉悦 康人

航空機の発達で地球を狭くし、人工衛星とテレビによる情報化時代の到来はさらにそれを促進しているというのに、いまだに世界の共産主義化を唱える人々がいるという事は、いわば二十一世紀のブラック・ユーモアである。

昔縁と存じの方もいらっしやると思うが笑話をご紹介しよう。

ある晴れた日曜日、公園のベンチでアメリカの青年とソ連の青年が、お互いに自分の国の自慢話をしていた。まずアメリカの青年が自慢して、「ぼくの国は自由で明るい国だから、ホワイト・ハウスの前で『レイン・ガン』は大統領をやめる、お前は能なしだ』と叫んでも絶対に逮捕などされないだろうね」と胸を張った。

これ聞いていたソ連の青年は、これまた胸を張らたいと自慢

短い手紙と長電話

A・O生

短い手紙の例として昔から知られているものに「火の用心おせん泣かすな、馬肥やせ」というのがある。武士が留守宅の妻へ宛てたものである。

逆に留守宅の妻から夫に宛て



「冗談じゃないよ。ぼくの国だって自由はありあるほどある。ぼくらだって、クレムリンの前で『ブレジネフ書記長ばんざい』と叫んでも絶対に逮捕などされないさ」

言論・表現の自由を大幅に制限されている状況の話であるが、笑話というより痛ましさを感ぜずにはいられない。

他人に迷惑をかけない範囲で、自由にも考え、表現し、行動できる自由主義国日本を、私たちは大切に守り育ててゆきたいのである。

たものでは、南極探検隊の例で「アナタ」がある。夫婦間の機微は第三者に分かるわけがないが、この三文字に込められた内容が長く、そして充実したものに違いない。

各地のたより

機動隊がともに圧勝 全国警察柔剣道大会

昭和五十七年度全国警察柔道大会、剣道選手権大会で、機動隊員が両部門でそれぞれ圧勝、優勝

と準優勝の栄冠を手にした。三井物産柔道部会長に各都道府県から選抜された代表各六十四人が参加して腕を競ったが、そこは猛者揃いの機動隊員

さて、それでは一番短いのは何かあるかというところ。亡くなった向田邦子さんが書いた「字のない葉書」という随筆がある。一終戦の年の四月、当時小学校一年生だった向田さんの末の妹が甲府の学童疎開することになった。妹の学童疎開が決まること、父親が沢山の葉書に自分あての宛名を書き、「元気な日はマルを書いて、毎日一枚ずつポストに入れてなさい」と言いつつ、まだ字の書けなかった妹に渡した。

疎開先からの葉書は、始めのうちには大きな〇が書いてあったが、だんだん小さくなり、ついには×になった。そして×の葉書も来なくなると、母が迎えに行くこと、妹は百日咳を患い、シラミだらけの頭で三畳の布団部屋に寝かされた。

妹が帰って来る日、向田さんと弟は、家庭数圓の南瓜を小さく切ったのを全部取残して、一列に客間に並べた。これ位しか妹を喜ばせる方法がなかった。小さい南瓜に手をのけてと叱る父も、これの何とも言わなかった。連れた帰った妹を見て、父は声をあげて泣いたというのである。

「〇」の細紹介がたいへん長かったが、あれから三十七年私達は敬儀の襲来もなく、家庭菜園の必要もない日々を送っている。ただ何となく思うのだが、向田さんのこの随筆にあるような苦しい時代であればこそ、暖かく美しくあった人のつながりについて何物かが、今の世代には見出し難くなっているような気がする。

通常の一時間の長電話で、一二十字の話をすると、苦しい時代であればこそ、暖かく美しくあった人のつながりについて何物かが、今の世代には見出し難くなっているような気がする。

通常の一時間の長電話で、一二十字の話をすると、苦しい時代であればこそ、暖かく美しくあった人のつながりについて何物かが、今の世代には見出し難くなっているような気がする。

通常の一時間の長電話で、一二十字の話をすると、苦しい時代であればこそ、暖かく美しくあった人のつながりについて何物かが、今の世代には見出し難くなっているような気がする。

最近、とくに若い人達は、手紙を書くことがほとんどなくなってきている。それに電話の著しい普及というところもある。設置費や通話料も収入に比べて相対的に安くなり、電話のない家庭は極めて稀だし、一軒で二台以上の電話も多くなっている。生活保護を受けている若き老人でも、それだからこそということでも無料の電話が設置される。

女性の長電話には昔から在生させられたものだが、昨今では高・中・小学生の長電話で、オヤジさん連中は頭に来ている。キャッチホンの普及ももうすぐころいっただ生活で育った人間達が、手紙を書かない習慣も、テレビ電話が発達してゆけば、この傾向はますます強まるだろう。

女性に長電話には昔から在生させられたものだが、昨今では高・中・小学生の長電話で、オヤジさん連中は頭に来ている。キャッチホンの普及ももうすぐころいっただ生活で育った人間達が、手紙を書かない習慣も、テレビ電話が発達してゆけば、この傾向はますます強まるだろう。

女性に長電話には昔から在生させられたものだが、昨今では高・中・小学生の長電話で、オヤジさん連中は頭に来ている。キャッチホンの普及ももうすぐころいっただ生活で育った人間達が、手紙を書かない習慣も、テレビ電話が発達してゆけば、この傾向はますます強まるだろう。

女性に長電話には昔から在生させられたものだが、昨今では高・中・小学生の長電話で、オヤジさん連中は頭に来ている。キャッチホンの普及ももうすぐころいっただ生活で育った人間達が、手紙を書かない習慣も、テレビ電話が発達してゆけば、この傾向はますます強まるだろう。

女性に長電話には昔から在生させられたものだが、昨今では高・中・小学生の長電話で、オヤジさん連中は頭に来ている。キャッチホンの普及ももうすぐころいっただ生活で育った人間達が、手紙を書かない習慣も、テレビ電話が発達してゆけば、この傾向はますます強まるだろう。

女性に長電話には昔から在生させられたものだが、昨今では高・中・小学生の長電話で、オヤジさん連中は頭に来ている。キャッチホンの普及ももうすぐころいっただ生活で育った人間達が、手紙を書かない習慣も、テレビ電話が発達してゆけば、この傾向はますます強まるだろう。

女性に長電話には昔から在生させられたものだが、昨今では高・中・小学生の長電話で、オヤジさん連中は頭に来ている。キャッチホンの普及ももうすぐころいっただ生活で育った人間達が、手紙を書かない習慣も、テレビ電話が発達してゆけば、この傾向はますます強まるだろう。

女性に長電話には昔から在生させられたものだが、昨今では高・中・小学生の長電話で、オヤジさん連中は頭に来ている。キャッチホンの普及ももうすぐころいっただ生活で育った人間達が、手紙を書かない習慣も、テレビ電話が発達してゆけば、この傾向はますます強まるだろう。

女性に長電話には昔から在生させられたものだが、昨今では高・中・小学生の長電話で、オヤジさん連中は頭に来ている。キャッチホンの普及ももうすぐころいっただ生活で育った人間達が、手紙を書かない習慣も、テレビ電話が発達してゆけば、この傾向はますます強まるだろう。

女性に長電話には昔から在生させられたものだが、昨今では高・中・小学生の長電話で、オヤジさん連中は頭に来ている。キャッチホンの普及ももうすぐころいっただ生活で育った人間達が、手紙を書かない習慣も、テレビ電話が発達してゆけば、この傾向はますます強まるだろう。



全日本選手権へ出場 島根県・藤原隊員が

島根県警機動隊の藤原孝一隊員が、剣道部門で全日本選手権大会出場権を獲得した。

去る七月に、県立武道館で島根県剣道選手権大会が行われ、同隊から出場した。その結果、四段の部では藤原孝一(機動隊)、五段の部は高木弘二(教員)、本年世界選手権日本代表、六段の部が小村美正(機動隊)、七段の部で加藤富章(機動隊)がそれぞれ優勝した。この四人によって全日本選手権選手権のリーグ戦が戦われた結果、藤原隊員が剣の研えをみせ

全日本選手権へ出場 島根県・藤原隊員が

全日本選手権へ出場 島根県・藤原隊員が

全日本選手権へ出場 島根県・藤原隊員が

全日本選手権へ出場 島根県・藤原隊員が

全日本選手権へ出場 島根県・藤原隊員が

全日本選手権へ出場 島根県・藤原隊員が

全日本選手権へ出場 島根県・藤原隊員が

全日本選手権へ出場 島根県・藤原隊員が

全日本選手権へ出場 島根県・藤原隊員が

▽警視庁 レンジャー小隊

発足の経緯

昭和四十年二月から山岳遭難者救助・立寄り事業等に対処するため、一機・五機隊員が自衛隊志野空挺団の指導協力を得て訓練を実施していた。

昭和四十四年一月、調布市へ移転するに伴い、山岳地帯を控えた地理的条件が考慮され、七機・中隊三小隊がレンジャー部隊として発足した。

発足の経緯

発足の経緯

発足の経緯

発足の経緯

発足の経緯

発足の経緯

発足の経緯

発足の経緯

発足の経緯

▽警視庁 水難救助隊

沿革

警視庁水難救助隊の草分けは墨東セロメートル地帯を護つて来た「カッパの二機」で、水難救助と捜査活動としての水中捜索等を目的として、昭和四十五年十月十四日発足した「ポット・アクアラング小隊」である。

昭和四十七年八月三十一日、名称を一新して警視庁水難救助隊として誕生した。当初、第二機動隊のみであった水難救助隊も都内全域の要救助事業等に対応すべく、翌四十八年四月一日、第九機動隊にそれぞれ発足した。

沿革

沿革

沿革

沿革

沿革

沿革

沿革

沿革

沿革

使命を担う若人 頑張れ機動隊

大内俊司 東鋼業(株) 株式会社三榮商会 奥村武正 村山文雄 大洋製鋼(株) 高周波熱錬(株) 石原幸男 木村利秋 橋山和正 浅田弥三郎 東海レベラー鋼業(株) 中京製線(株) 東海鋼材工業(株) 森 英二 広島シャリング工業(株) 石田工業(株) 東海鋼業(株) 金廣鋼材(株) 秋田ドラム工業(株)